

放送大学

教養学部

2022年度第2学期

面接授業時間割表



〈開講期間〉 2022年10月15日(土)~2023年1月29日(日)

目次

I. 科目登録の申請等について	1
II. 開設科目一覧	
学習センター別面接授業開設科目一覧	11
科目区分別面接授業開設科目一覧	19
III. 案内図・授業概要	
福岡学習センター	22
北九州サテライトスペース	36
佐賀学習センター	40
長崎学習センター	48
熊本学習センター	58
大分学習センター	68
宮崎学習センター	78
鹿児島学習センター	86
沖縄学習センター	98
IV. 学習センター外面接授業の会場案内図	
福岡学習センター	110
佐賀学習センター	112
宮崎学習センター	115
鹿児島学習センター	119

【巻末資料】

科目追加登録申請書

I. 科目登録の申請等について

この冊子は、九州・沖縄ブロック [福岡（北九州サテライトスペース）、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄] の各学習センターで開設される2022年度第2学期面接授業の時間割表です。

2022年度第2学期面接授業の科目登録に必要な冊子は、次のとおりです。

- 「科目登録申請要項（2022年度第2学期）」（科目登録申請票付）
 - 「2022年度第2学期面接授業開設科目一覧」
 - 「2022年度第2学期面接授業時間割表 [九州・沖縄ブロック版]」（本冊子）
- ※2019年度第1学期より、授業時間帯が変更になりましたので、ご注意ください。(詳細P2)

なお、九州・沖縄ブロック以外の各学習センターにおける開設科目の詳細（授業概要）につきましては、各学習センターに備え付けの時間割冊子または、放送大学ウェブサイト (<https://www.ouj.ac.jp/>) をご利用ください。

〔科目登録・履修にあたっての注意事項〕

1. 科目登録申請票提出後の変更・追加・取消等はできません。慎重に選択のうえ申請してください。
※インターネット（システムWAKABA）で科目登録申請する場合は、科目登録申請期間内であれば、科目登録申請画面において変更・追加・取消等ができます。
ただし、すべて取消することはできませんので、その場合は、本部までご連絡ください。
2. 授業を欠席しても、ほかの科目への振り替え、授業料の返還は行いませんのでご了承ください。
3. 次の場合、申請しても科目登録されませんので、ご注意ください。
 - ① 過去5年以内に単位を修得した面接授業科目と全く同じ科目名の授業を申請した場合
 - ② 過去5年以内に単位を修得した面接授業科目と相互に履修制限の関係にある科目を申請した場合（具体的な科目については全国版「面接授業開設科目一覧」の〈申請上の注意〉でご確認ください）
 - ③ 授業日程が重複する複数の面接授業科目を申請した場合
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
 - ④ 複数の学習センターで開設する科目を受講する際、学習センター間の移動時間として最低1時限分以上の間隔がない場合
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
 - ⑤ 同時に同じ科目名（同じ科目コード）の科目を複数申請した場合
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
 - ⑥ 現在履修中の面接授業科目と全く同じ科目名の授業、または現在履修中の面接授業科目と履修制限の関係にある科目を申請した場合

4. 担当講師は、都合により変更する場合があります。授業日程にやむを得ず変更が生じた場合、受講生の方には電話およびキャンパスメール（学生メール）等によりすみやかにお知らせします。なお、授業日程の変更等の際は、交通費等は補償しませんので、予めご了承ください。講師の病気など、事情により他の講師が代講する場合があります。担当講師変更・日程変更等についてはウェブサイトにて最新情報を随時掲載いたします。
(<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/>)

5. 2022年度第2学期の九州・沖縄ブロック各学習センターの授業実施時間帯は以下のとおりです。下記実施時間と異なる科目もありますので、必ず各々の科目の日程・実施時間欄を確認のうえ受講してください。

[福岡、北九州、大分面接授業実施時間]

1時限： 9：45～11：15
2時限： 11：25～12：55
3時限： 13：40～15：10
4時限： 15：20～16：50

※2日目

4時限： 15：20～16：05
試験・レポート等： 16：05～16：50

[佐賀、宮崎面接授業実施時間]

1時限： 9：30～11：00
2時限： 11：10～12：40
3時限： 13：30～15：00
4時限： 15：10～16：40

※2日目

4時限： 15：10～15：55
試験・レポート等： 15：55～16：40

[鹿児島面接授業実施時間]

1時限： 9：50～11：20
2時限： 11：30～13：00
3時限： 13：50～15：20
4時限： 15：30～17：00

※2日目

4時限： 15：30～16：15
試験・レポート等： 16：15～17：00

[熊本、長崎、沖縄面接授業実施時間]

1時限： 10：00～11：30
2時限： 11：40～13：10
3時限： 14：00～15：30
4時限： 15：40～17：10

※2日目

4時限： 15：40～16：25
試験・レポート等： 16：25～17：10

[鹿児島（鹿児島県立奄美図書館）面接授業実施時間]

1時限： 9：30～11：00
2時限： 11：10～12：40
3時限： 13：30～15：00
4時限： 15：10～16：40
5時限： 16：50～18：05
試験・レポート等： 18：05～18：20

【2日目】

1時限： 9：30～11：00
2時限： 11：10～12：10
3時限： 13：00～14：30
試験・レポート等： 14：30～15：00

6. 受講したい科目の選択にあたっては授業概要をご覧ください。科目によっては、「授業テーマ」を記載しておりますが、授業の進捗状況にあわせて、変更する場合がありますので予めご了承ください。

授業受講に際し必要な図書（授業当日必ずご持参いただくもの）は「教科書」として指定しておりますので、受講生の方各自でご用意をお願いいたします。なお、教科書を指定する授業は、本冊子の授業概要に示してあります。

なお、消費税等の変動により、教科書・参考書の価格が表示価格と異なる可能性があります。

【教科書】：授業で使用します。事前に各自で必ず用意しておいてください。

【参考書】：受講する前に読んでおいた方がよいものや授業を理解する上で参考となるものです。（参考書の購入は、必須ではありません）

7. 面接授業の成績はA～Eの6区分の評価があり、「A～C」の場合1単位が与えられます。授業時間とは別に成績評定のための試験・レポート等*の時間が設定されます。

* 筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当講師の指定する方法により実施されます。（シラバスに記載されているので、必ずご確認ください）

* フィールドワーク等、一部の科目については試験・レポート等がない場合もあります。

8. カリキュラム改正については、本冊子6～7ページをご参照ください。

9. 科目区分の変更に伴う単位の取り扱いについては、本冊子8～9ページをご参照ください。

【心理学実験系科目についてのご注意】

2020年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、閉講、定員削減等の措置から、現時点では、例年にも増して希望者が多く非常に履修しづらい状況です。追加開講やWeb授業「心理学実験（Web）」の複数回実施及び「心理学実験（基礎）」の試行を行ってまいりましたが、限られたクラス数・受講者定員での実施となっています。認定心理士の資格取得にあたり、計画どおりに履修できない可能性が高くなっておりますので、ご理解とご留意をお願いいたします。

2022年度第2学期の面接授業は、全国の学習センター等で開講を予定していますが、新型コロナウイルス感染症対応として定員削減や、対面授業の閉講またはWeb（Zoom等）授業への変更、状況次第では代替措置への切替え、ご自身の居住都道府県外に所在する学習センターでの面接授業の越境受講禁止などの措置を行う可能性があり、状況により返金対応となる場合があります。学習センター、本学ウェブサイト、システムWAKABAにてお知らせいたしますので、定期的にご確認ください。

また、シラバス左下の「実施会場欄」に、“※不測の事態発生時は閉講”または“※不測の事態発生時はWeb（Zoom）授業で実施”と表示していますので、これらの措置が実施される可能性があることをご理解いただき、面接授業の科目登録をご検討ください。

特に卒業見込者、資格取得を主眼とした単位修得を目的とする方は、放送授業やオンライン授業を積極的に受講してください。

〔追加科目登録について〕

1 登録申請方法

科目登録決定後空席のある科目については、追加登録受付期間中に科目の追加登録をすることができます。この機会を活かして面接授業にご参加ください。

(追加登録の受付について)

当該科目を開設する学習センター・サテライトスペースで行います。
空席数よりも申請者数が多い場合は、抽選による選考を行います。

(申請方法)

①窓口申請 または ②郵送申請

※福岡学習センター、北九州サテライトスペースの受付は②郵送申請のみです。北九州サテライトスペース実施科目を申請する場合は、福岡学習センターにご郵送ください。

(必要なもの)

①窓口申請の場合

・追加登録申請書 ・授業料（1科目 5,500円） ・学生証	※希望者が定員を超えた場合、受付初日当日の（10月20日（木））午前10時までに来所の方を対象に抽選を行います。 それ以降は先着順です。 当該学生の学生証をご持参の方であれば、代理人による登録も可能です。
--------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

②郵送申請の場合（現金書留にて郵送してください。）

・追加登録申請書 ・授業料（1科目 5,500円） ・学生証のコピー ・返信用封筒（長形3号・84円切手貼付・宛名明記）	※希望者が定員を超えた場合、受付初日2日前（10月18日（火））までに到着したものは、受付初日午前10時までに各学習センター・サテライトスペースへの来所者分と併せて抽選します。 それ以降は先着順です。
-----------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

※追加登録申請書は、本冊子巻末付録のほか、放送大学ウェブサイトよりダウンロードできます。また、学習センター窓口にも用意しています。

※郵送による申請は現金書留のみでの受付となります。追加登録初日以前に窓口に来所しての受付・お預かりはできません。

※申請の前に空席状況を確認してください。

※期限内に郵便が届かなかったり、申請した科目が満席の場合、あるいは申請内容に不備がある場合は、返送にかかる費用を差し引いた金額をお返ししますので、予めご了承ください。

※授業料は、1科目につき5,500円です。

※科目登録申請（登録）後は、科目の変更・取消、授業料の返還はできませんのでご注意ください。

空席状況の発表：2022年10月15日（土）12時

追加科目登録期間^{*1}：10月20日（木）～科目ごとに定められた追加登録受付期限日^{*2}

（原則として、開講日の1週間前。一部例外あり^{*3}）

最終受付期限日 1月15日（日）

*1 追加登録期間前に開講する科目については、追加登録は行っていません。

*2 各科目の追加登録受付期限日については空席発表時に、放送大学ウェブサイトに掲載します。追加登録の受付開始後は、システムWAKABAで毎日その時々々の空席状況を確認することができます。詳しくは本冊子5ページをご参照ください。追加登録受付期限日の前であっても、定員に達し次第、受付を締め切ります。

*3 授業準備の都合上、追加登録を受け付けられない科目、または1週間前まで受け付けられない科目がありますのでご了承ください。

対 象 者：2022年度第2学期に学籍のあるすべての全科履修生・選科履修生・科目履修生

◎科目登録・追加科目登録にあたっては、「科目登録申請要項（2022年度第2学期）」をお読みのうえ、手続きを行ってください。

● 空席状況の確認

受講したい科目を決めたら、その科目に「空席」があるか確認します。空席状況は、「空席発表日」に学習センター・サテライトスペースでの掲示、放送大学ウェブサイトでお知らせします。10月20日（木）15時以降はシステムWAKABAで空席状況をリアルタイムで確認することができます。

10月15日（土）

10月20日（木）

科目登録申請終了日

① 放送大学ウェブサイト

10月15日（土）12時現在の空席状況を公表

② システムWAKABA

10月20日（木）15時～リアルタイムで空席状況を確認

次の手順で空席状況をご確認ください。

① 10月15日（土）放送大学ウェブサイトで空席状況を公表します。

システムWAKABA



【ログイン方法】

放送大学トップページ→**在学生の方へ**をクリック→**システムWAKABAへログイン**
→**面接授業(該当学期)のページ**→**お知らせ**の「空席状況のお知らせ」に掲載。

② 10月20日（木）15時から、システムWAKABAで空席の状況をリアルタイムで確認できます。

システムWAKABA



【ログイン方法】

放送大学トップページ→**在学生の方へ**をクリック
→**システムWAKABAへログイン**
→**教務情報**→**科目登録申請**→**空席照会**をクリック
→希望の科目を検索

科目番号	科目名称	空席照会
201901 (2019) 10 期 ~ 2019/10/20 (日) 11時	初級英語 (1)	空席照会
201902 (2019) 10 期 ~ 2019/10/20 (日) 11時	基礎英語 (1)	空席照会
201903 (2019) 10 期 ~ 2019/10/20 (日) 11時	英語基礎 (1)	空席照会

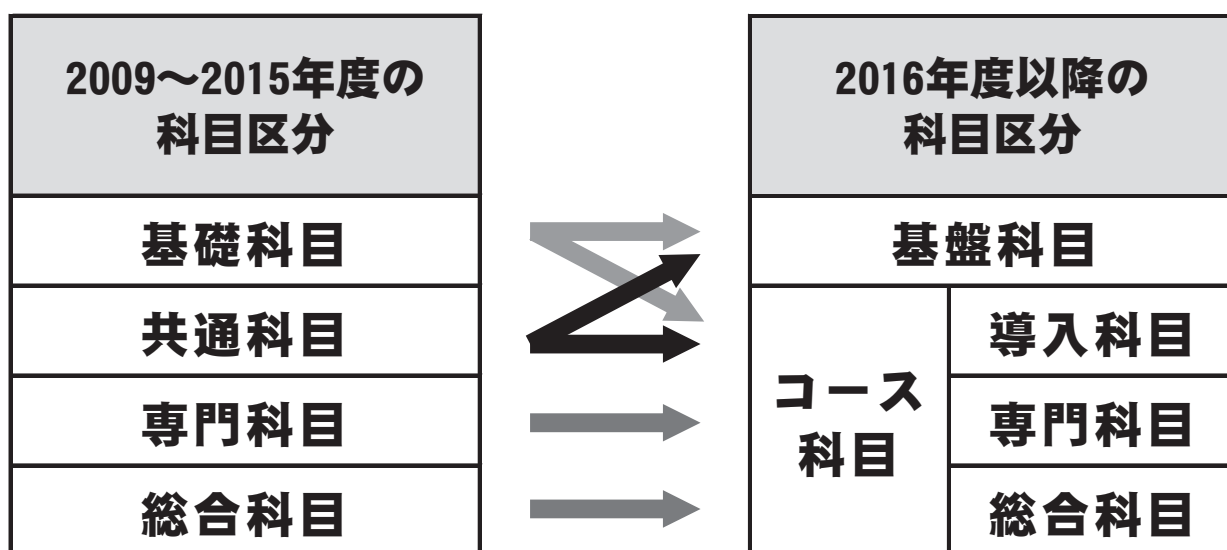
空席状況は、検索された時点のものです。
学習センターで申請される際には、空席状況が変わっている場合もありますので予めご了承ください。
※学習センターによって追加登録の受付方法が異なります。
詳しくは、4ページを確認するか、学習センターへ直接お問い合わせください。

カリキュラム改正について

放送大学は、2016年度から教養学部のカリキュラム全体を見直し、本学の多様な学生ニーズに対応したカリキュラムによる教育を開始しました。

1、2009～2015年度カリキュラムの科目区分と2016年度以降カリキュラムの科目区分の関係

卒業要件に関わる科目区分を2015年度までの「基礎科目、共通科目、専門科目、総合科目」の4つから「基盤科目とコース科目（導入科目・専門科目・総合科目）」の2区分としています。



2016年度以降カリキュラムのそれぞれの科目区分の名称と到達目標（定義）は以下のとおりです。

区 分		目 標
基盤科目		放送大学のすべてのコースにおける学習をするために必要となる基礎的な能力あるいはリテラシーを身に付けること。 あわせて放送大学で学習することの魅力を知り、学習への意欲を一層強めるために、今日の社会における教養の意義、放送大学における教育の体系、生涯学習等についての理解を深めること。
コース科目	導入科目	各コースで開設される科目を効率的に学習するために、コースを構成する各学問領域の導入的知識及びそこで求められる基礎的な能力を身に付けること。
	専門科目	導入における各学問領域の基礎的な知識、能力の修得を前提にして、それをさらに深め、各コースの学問分野についての、専門的な知識、分析手法、思考方法を身に付けること。
	総合科目	学際的な知識、分析手法を身に付け、複数の学問領域から異なる視点に立つ分析を通じて、単一の学問領域内での学習を超えた、教養学部ならではの複眼的な視点を養うこと。

2、ナンバリング制の導入

学生が授業内容やレベルを勘案して授業科目を履修できるように、授業科目に番号を付し、分類するナンバリング制を導入し、履修の順序、学問体系のつながりを示すことで教育体系の「見える化」を実現しました。

ナンバリングレベル表示	初級 (10)	中級 (20)	上級 (30)
総合科目 (400)	410	420	430
専門科目 (300)	310	320	330
導入科目 (200)	210	220	230
基盤科目 (100)	110	120	130

<参考> シラバスの見方について

科目コード		<p>カリキュラムの科目区分およびナンバリングレベルを表示しています。</p>	<p>【授業内容】 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作 (キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル) 第2回 ワードによる文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 (体験版を受講) 第8回 まとめと振り返り (第7回で体験したオンライン授業の感想をオンラインで提出)</p> <p>【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、レポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ (※市販されている一番安価な物で結構です。) 学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ち下さい。</p> <p>【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト (情報リテラシー面接授業タスクフォース (情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/WO/ISBN=なし))</p> <p>【その他 (特記事項)】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」、2008年度以前「共通科目」に該当します。「新・初歩からのパソコン」の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。</p>
学習センター	※ 13B		
学習センターコード	13B		
クラスコード	K		
科目名	新・初歩からのパソコン		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	24名		
担当講師	○○ □□ 放送大学教授		
日程 実施時間	<p>○月○日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20</p> <p>○月○日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 遅れレポート 16:35～17:20</p>	<p>授業概要</p>	
実施会場	東京文京学習センター ※不測の事態発生時は○○○		

新型コロナウイルス感染症のまん延が顕著になり、対面式の面接授業が開講できない場合の切り替え措置を表示しています。
※ 不測の事態発生時は閉講
又は
※ 不測の事態発生時は Web (Zoom) 授業で実施

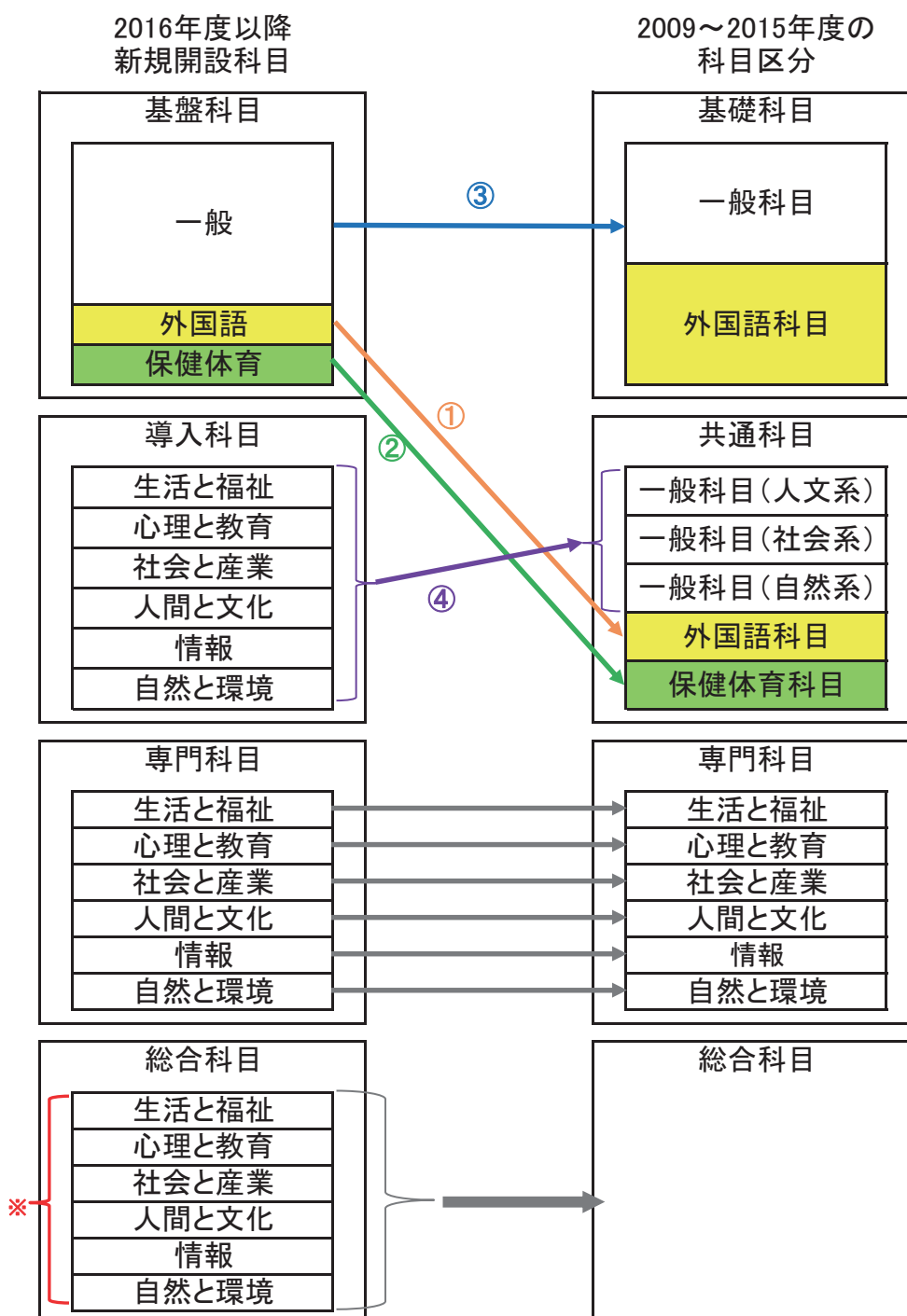
2009～2015年度カリキュラムで該当する科目区分を表示しています。

科目区分の変更に伴う単位の取り扱いについて

2016年度のカリキュラム改正により科目区分が変わりました。この変更に伴う修得単位の取り扱い(以下「読み替え」という)は、入学年度(所属カリキュラム)により以下のとおりとなります。

i) 2009～2015年度入学者が2016年度以降の新規開設科目の単位を修得した場合

- ① 外国語は、共通科目(外国語科目)に読み替える。
- ② 保健体育は、共通科目(保健体育科目)に読み替える。
- ③ 外国語と保健体育以外の基盤科目は、基礎科目(一般科目)に読み替える。
- ④ 導入科目は、共通科目(一般科目(人文系)、一般科目(社会系)、一般科目(自然系)、外国語科目、保健体育科目)に読み替える。



※ 面接授業では、コースを区別せず所属のコース科目として扱います。

ii 2016年度以降の入学者が2015年度以前の開設科目の単位を修得している場合
(2015年度以前の入学者が2016年度の新カリキュラムへ移行する場合も同様)

＜基盤科目への読み替え＞

- ① まず、外国語科目と保健体育科目はすべて基盤科目に読み替える。
- ② この読み替えにおいて14単位を超えなければ、次に、その他の基礎科目と共通科目について単位修得の古い順から基盤科目に読み替える。(外国語・保健体育と合わせて14単位を満たすまで)

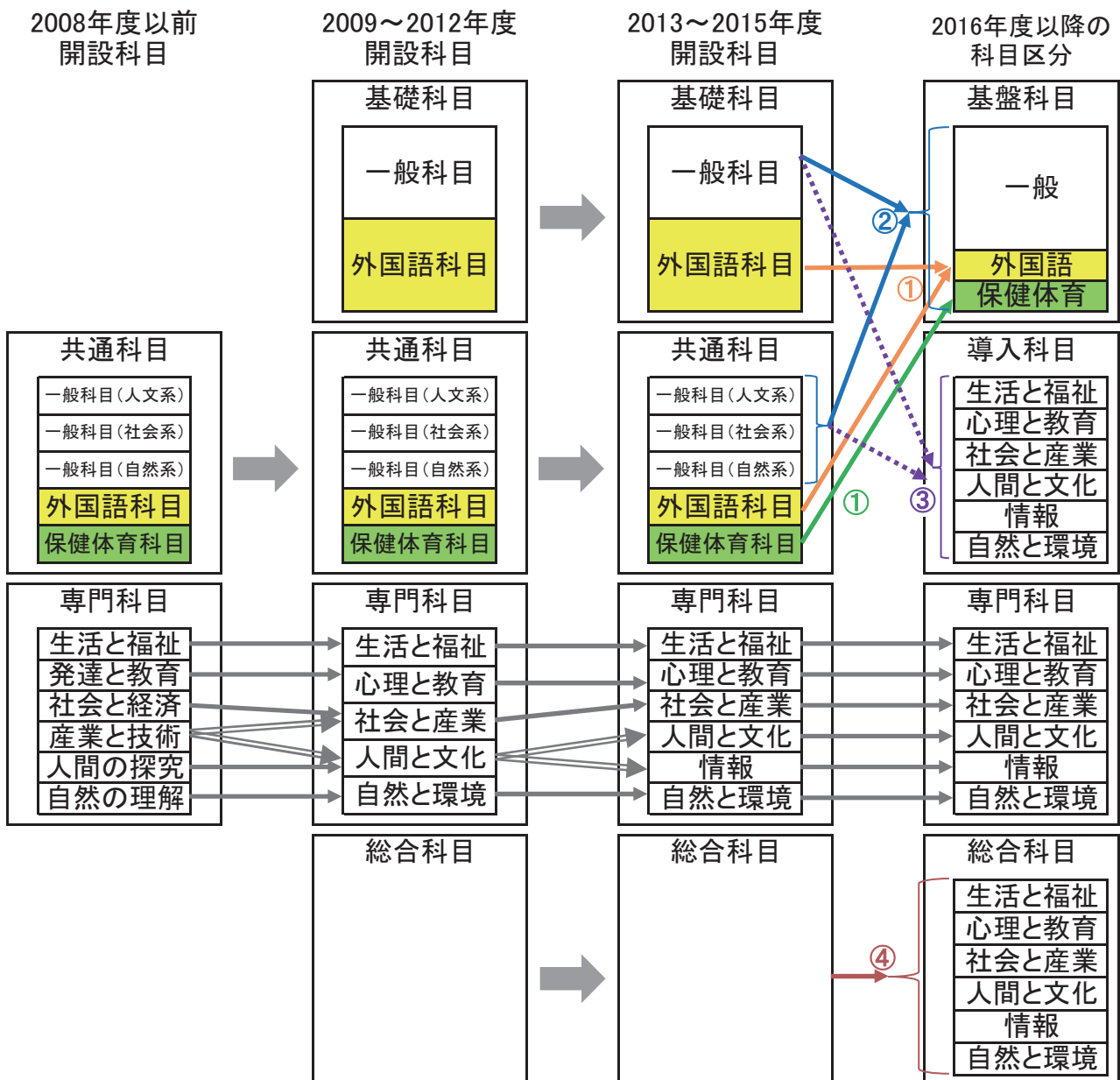
＜導入科目への読み替え＞

- ③ 上記①、②で基盤科目として読みかえられなかった基礎科目と共通科目は、すべて導入科目(自コース開設扱い)に読み替える。

＜総合科目への読み替え＞

- ④ 総合科目は総合科目(自コース開設扱い)に読み替える。

※ 産業と技術専攻の情報系の専門科目は、人間と文化コースの専門科目に読み替える。ただし、2008年度以前の面接授業については、社会と産業コースの専門科目に読み替える。
 人間と文化コース(旧 産業と技術)の情報系の専門科目を2012年度までに修得した場合は、所属コースにより人間と文化コース又は情報コースの専門科目に読み替える。



* ただし、2016年度以降の新規開設科目は、この取り扱いに該当しない。

「同時双方向web授業」通称、

「ライブWeb授業」のご案内



ライブWeb授業とは？

Web会議システム（Zoom）を活用し、全国に散在する学生と同期でコミュニケーションを図り、時宜に応じた内容を扱うことができる同時双方向遠隔授業です。

2021年度第2学期の試行から数えて3回目の実施となりますが、受講者の皆様にも大変ご好評をいただいております。今後も引き続き開講をする予定です。

この授業は、学習センターではなく、ご自宅のパソコン等に受講環境を整え履修するもので、卒業要件上は「面接授業又はオンライン授業」として扱われる単位が付与されます。

受講イメージ

～学習の全てが専用システム上でワンストップに完結します。～

講義日

<Zoomによる講義>

第1回 2021年11月18日（木）14:05-15:35

第2回 2021年11月18日（木）15:50-17:20

第3回

第4回

第5回

第6回

第7回

第8回 2021年12月09日（木）15:50-16:35

課題締切日

<レポート>

第8回 2021年12月09日（木）16:35～2021年12月16日（木）17:00

ライブWeb授業システム
にアクセス
講義日・課題締切を確認



Web (Zoom) 授業

出席登録も、Zoom講義室へのアクセスも、全てが専用システムから、ワンストップで行えます。

レポート・小テスト

練習問題や小テストの出題形式について、正しいものを選択しなさい。

1つ選択してください。

- a. 選択式の問題が出題される
- b. 記述式の問題が出題される
- c. 選択式と記述式の両方が出題される
- d. 選択式または記述式を受験者が選択する



レポートや小テストにより成績評価を行います。

（評価方法は科目により異なります。）

講義資料の掲示



授業が近づくと、講師が作成した講義資料が、アップされます。

（掲示方法は科目により異なります。）

▼第8回 ○○について

【講師】○○○○（放送大学教授）

8-1 出席登録はこちら

8-2 講義

8-3 小テスト

8-4 レポート課題

資料掲示はこちら

履修登録方法・開講科目の公開について

詳細は、8月上旬に下記のご案内ページにて掲載予定です。

登録申請に際しては、面接授業と同様の登録条件に加え、受講環境の準備や、体験版の事前受講が必要となります。上記の掲載公開までは、放送大学ウェブサイト「2022年度第1学期 ライブWeb授業のご案内」や「ライブWeb授業 体験版」をご参考ください。

心身等に障がいのある方への配慮について（修学上の特別措置）

放送大学では、障がいのある学生が、特別な対応がないと学習に支障をきたす恐れがある場合、障がいの特性に応じた配慮とサポートを行っております。（本学では、修学上の特別措置と言います。）この修学上の特別措置は、それぞれの障がいの特性や大学側の状況などを勘案し、希望される方ご自身と本学とが相談・協議のうえ、決定されるものです。詳細は、下記のページをご確認ください。

【ご案内ページ】放送大学ウェブサイト>選ばれる理由>いつでも、だれでも、自由な学び方を>ライブWeb授業

<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/>

【お問合せ先】オンライン教育課 online-sys@ouj.ac.jp

Ⅱ. 開設科目一覧

学習センター別面接授業開設科目一覧

【福岡学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載頁
基盤科目	レポート作成の基本2022	10月22日(土)	渡邊 淳子	25
		11月5日(土)		
基盤科目	新・初歩からのパソコン	10月29日(土)	多川 孝央	26
		11月5日(土)		
基盤科目：外国語	英語で読む日本の企業	10月15日(土)	鈴木 右文	23
		10月16日(日)		
導入科目：人間と文化	大宰府出土の木簡	11月16日(水)	進村 真之 他3名	29
		11月17日(木)		
専門科目：生活と福祉	生活習慣病の予防にむけて	11月19日(土)	樗木 晶子	30
		11月20日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	10月15日(土)	分部 利紘	23
		10月22日(土)		
専門科目：心理と教育	心理学的思考法	10月15日(土)	妹尾 武治	24
		10月16日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	10月29日(土)	花田 利郎	27
		10月30日(日)		
専門科目：心理と教育	犯罪心理学概論	10月29日(土)	大上 渉	27
		10月30日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	11月12日(土)	金子 周平	28
		11月13日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	11月12日(土)	山本 健太郎	28
		11月13日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	12月10日(土)	藤村 まこと	32
		12月11日(日)		
専門科目：心理と教育	リーダーシップの心理学	12月10日(土)	池田 浩	33
		12月11日(日)		
専門科目：社会と産業	エネルギー・環境経済学	10月23日(日)	堀井 伸浩	26
		10月30日(日)		
専門科目：社会と産業	市民生活と保険法	12月17日(土)	李 鳴	33
		12月18日(日)		
専門科目：人間と文化	博物館を学ぶ	11月24日(木)	河野 一隆 他7名	31
		11月25日(金)		
専門科目：人間と文化	大宰府の成立2	12月17日(土)	坂上 康俊	34
		12月18日(日)		
専門科目：情報	社会基盤としてのネットワーク	11月19日(土)	藤村 直美	30
		11月26日(土)		
専門科目：情報	情報化社会における図書館	11月26日(土)	渡邊 由紀子	32
		11月27日(日)		
専門科目：情報	DXデザイン	12月17日(土)	富松 潔	34
		12月18日(日)		
専門科目：自然と環境	微生物と暮らし	10月15日(土)	土居 克実	24
		10月16日(日)		
専門科目：自然と環境	自然災害と防災	11月12日(土)	笠間 清伸 他6名	29
		11月13日(日)		
総合科目	社会物理学と歴史文学の視座	10月22日(土)	谷本 潤	25
		10月23日(日)		
総合科目	創造の思考法	11月19日(土)	池田 美奈子	31
		11月20日(日)		

【北九州サテライトスペース開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載頁
専門科目：生活と福祉	建築と環境	10月15日(土)	福田 裕 美	37
		10月16日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	10月29日(土)	税 田 慶 昭	37
		10月30日(日)		
専門科目：社会と産業	近代日本経済史	11月12日(土)	鷺 崎 俊太郎	38
		11月13日(日)		
専門科目：社会と産業	事例から学ぶ刑事法入門	11月26日(土)	田 淵 浩 二	38
		11月27日(日)		

【佐賀学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載頁
基盤科目：外国語	漢詩で学ぶ初歩の中国語	11月12日(土)	古 川 末 喜	44
		11月19日(土)		
導入科目：人間と文化	武士の生き方、「葉隠」の世界	10月29日(土)	藤 井 祐 介	42
		10月30日(日)		
専門科目：生活と福祉	健康生成論とストレス対処力	10月20日(木)	戸ヶ里 泰 典	41
		10月21日(金)		
専門科目：生活と福祉	看護学への招待	1月7日(土)	古 賀 明 美 他2名	47
		1月8日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	10月15日(土)	岡 嶋 一 郎	41
		10月16日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	10月29日(土)	村久保 雅 孝	42
		10月30日(日)		
専門科目：心理と教育	育ちを支える心理学	12月10日(土)	中 島 俊 思	46
		12月17日(土)		
専門科目：社会と産業	コンピューター援用工学の紹介	11月5日(土)	萩 原 世 也	43
		11月6日(日)		
専門科目：社会と産業	まちを読み解く	11月12日(土)	三 島 伸 雄	44
		11月13日(日)		
専門科目：人間と文化	日本の城と城下町の歴史	11月5日(土)	宮 武 正 登	43
		11月6日(日)		
専門科目：情報	eラーニングと電子出版入門	11月26日(土)	山 田 恒 夫	45
		11月27日(日)		
専門科目：情報	データサイエンスの基礎	12月17日(土)	皆 本 晃 弥	46
		12月18日(日)		
専門科目：自然と環境	微生物による発酵とは？	1月7日(土)	小 林 元 太	47
		1月8日(日)		
総合科目	読む科学と編集デザイン	11月12日(土)	荒 木 博 申	45
		11月19日(土)		

【長崎学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載頁
基盤科目：外国語	韓国・朝鮮の言語と文化	1月7日(土)	新里 瑠璃子	56
		1月8日(日)		
導入科目：情報	プログラミングの学び方と教え方	11月19日(土)	辰己 丈夫	51
		11月20日(日)		
導入科目：情報	多変量解析入門	12月17日(土)	丸山 幸宏	55
		12月18日(日)		
専門科目：生活と福祉	人生100年時代の女性の健康	10月22日(土)	宮原 春美	49
		10月23日(日)		
専門科目：生活と福祉	健康寿命の延長に向けて	11月26日(土)	鎌田 昭江 他7名	52
		11月27日(日)		
専門科目：生活と福祉	児童虐待の理解と対応	12月3日(土)	柿田 多佳子 他3名	53
		12月4日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	11月12日(土)	前原 由喜夫	50
		11月13日(日)		
専門科目：心理と教育	スクールカウンセリング	12月10日(土)	内野 成美	54
		12月11日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	12月24日(土)	加来 秀俊	56
		12月25日(日)		
専門科目：社会と産業	デザイン思考入門	10月22日(土)	西村 宣彦	49
		10月23日(日)		
専門科目：社会と産業	SDGsと未来のエネルギー社会	1月7日(土)	藤本 登	57
		1月8日(日)		
専門科目：人間と文化	伝統的絵画表現	12月3日(土)	牧野 一穂	53
		12月4日(日)		
専門科目：人間と文化	陰陽師安倍晴明の実像について	12月10日(土)	細井 浩志	54
		12月11日(日)		
専門科目：人間と文化	江戸時代の長崎の緋毛氈	12月17日(土)	砂崎 素子	55
		12月18日(日)		
専門科目：情報	SCRATCHで物理現象を再現	11月26日(土)	丹羽 量久 他2名	52
		11月27日(日)		
専門科目：自然と環境	身近にある毒を知る	11月12日(土)	山下 樹三裕	50
		11月13日(日)		
専門科目：自然と環境	火山と災害	11月19日(土)	馬越 孝道	51
		11月20日(日)		

【熊本学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載頁
基盤科目	論文・レポートの書き方	11月5日(土)	田畑博敏	61
		11月6日(日)		
基盤科目	新・初歩からのパソコン	12月3日(土)	中野裕司	64
		12月4日(日)		
基盤科目：外国語	英語を楽しく読む	12月4日(日)	齋藤靖	65
		12月11日(日)		
導入科目：人間と文化	規範倫理学入門	10月22日(土)	田中朋弘	60
		10月23日(日)		
専門科目：生活と福祉	人生の最終段階を考える	10月22日(土)	島村美香 他2名	60
		10月29日(土)		
専門科目：生活と福祉	心臓病への対処	11月6日(日)	副島弘文	62
		12月4日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	10月15日(土)	渡辺功	59
		10月16日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	11月19日(土)	橋口真人	63
		11月20日(日)		
専門科目：心理と教育	「平成時代」の社会学	11月26日(土)	古賀倫嗣	63
		11月27日(日)		
専門科目：心理と教育	発達が気になる子どもの支援	12月10日(土)	大河内彩子	65
		12月11日(日)		
専門科目：心理と教育	解決志向ブリーフセラピー入門	1月7日(土)	橋口真人	67
		1月8日(日)		
専門科目：社会と産業	人口減少時代の地域づくり	10月29日(土)	金岡省吾 他2名	61
		10月30日(日)		
専門科目：社会と産業	近代政治思想史	12月17日(土)	山岡龍一	66
		12月18日(日)		
専門科目：人間と文化	近代の日本文学—異文化との交流	11月12日(土)	坂元昌樹 他3名	62
		11月13日(日)		
専門科目：人間と文化	日本建築史研究のエッセンス	11月26日(土)	伊東龍一	64
		11月27日(日)		
専門科目：自然と環境	宇宙と地球と石ころの不思議	10月15日(土)	西山忠男	59
		10月16日(日)		
専門科目：自然と環境	数学の楽しみ(問題とその背景)	12月17日(土)	古島幹雄	66
		12月18日(日)		

【大分学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載頁
基盤科目：外国語	やさしい中国語入門	10月15日(土)	鈴木 晶	69
		10月16日(日)		
基盤科目：外国語	声に出して学ぶ英作文	12月10日(土)	三重野 佳子	74
		12月11日(日)		
導入科目：生活と福祉	リハビリテーション入門	11月26日(土)	朝井 政治	73
		11月27日(日)		
導入科目：社会と産業	経営学概論	12月3日(土)	鵜崎 清貴	74
		12月4日(日)		
導入科目：人間と文化	博物館・美術館へのいざない	12月17日(土)	田中 修二	75
		12月18日(日)		
導入科目：情報	プレゼンテーション基礎	10月22日(土)	鈴木 雄清	70
		10月23日(日)		
導入科目：自然と環境	はじめて学ぶ香りの科学	11月12日(土)	坂本 幸司 塩 幸樹	72
		11月13日(日)		
導入科目：自然と環境	大分の水と温泉	11月12日(土)	大上 和敏	72
		11月13日(日)		
専門科目：生活と福祉	身体を診る～生活を支えるため	10月29日(土)	山内 豊明	71
		10月30日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	10月15日(土)	森下 覚	69
		10月16日(日)		
専門科目：心理と教育	発達障害の理解と支援	11月26日(土)	佐藤 晋治	73
		11月27日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	12月10日(土)	中村 廣光	75
		12月11日(日)		
専門科目：社会と産業	企業研究入門	12月17日(土)	藤本 武士	76
		12月18日(日)		
専門科目：人間と文化	阿蘇・くじゅうの草原の歴史探訪	10月22日(土)	飯沼 賢司	70
		10月23日(日)		
専門科目：情報	プレゼンテーション応用	10月29日(土)	後藤 善友	71
		10月30日(日)		

【宮崎学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載頁
基盤科目	新・初歩からのパソコン	11月19日(土)	松下 洋一	83
		11月20日(日)		
基盤科目：外国語	コミュニケーション英語	10月22日(土)	福島 三穂子	79
		10月23日(日)		
基盤科目：外国語	韓国語入門	12月3日(土)	韓 壽 燕	84
		12月4日(日)		
導入科目：自然と環境	統計的な考え方の基礎	12月10日(土)	藤井 良宜	84
		12月11日(日)		
専門科目：生活と福祉	薬の作用と副作用入門	10月22日(土)	柳田 俊彦	80
		10月23日(日)		
専門科目：生活と福祉	食と健康：食品の機能を活かす	11月5日(土)	水光 正仁	81
		11月6日(日)		
専門科目：生活と福祉	精神発達学	12月24日(土)	川村 道子	85
		12月25日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	11月5日(土)	井上 浩義	81
		11月6日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	11月12日(土)	小澤 拓大	82
		11月13日(日)		
専門科目：心理と教育	行動論的カウンセリング	12月17日(土)	前田 直樹	85
		12月18日(日)		
専門科目：人間と文化	生業と信仰（狩猟と焼き畑）	10月15日(土)	永松 敦	79
		10月16日(日)		
専門科目：人間と文化	楽しく学ぶ百人一首	11月26日(土)	永吉 寛行	83
		11月27日(日)		
専門科目：情報	情報デザイン	11月12日(土)	森部 陽一郎	82
		11月13日(日)		
専門科目：自然と環境	畜産フィールド実習	10月29日(土)	小林 郁雄	80
		10月30日(日)		

【鹿児島学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載頁
基盤科目：外国語	中国語で話してみよう	10月22日(土)	寺西光輝	88
		10月23日(日)		
基盤科目：外国語	日常で使える英語表現	11月26日(土)	山崎美智子	92
		11月27日(日)		
導入科目：生活と福祉	精神的健康のセルフマネジメント	11月19日(土)	山下亜矢子	91
		11月20日(日)		
導入科目：社会と産業	日常生活に役立つ法知識	10月29日(土)	黒沢佐和美	89
		10月30日(日)		
導入科目：社会と産業	発酵食品のひみつ	10月29日(土)	高峯和則	96
		10月30日(日)		
導入科目：社会と産業	日本経済の概観－現状と課題－	12月10日(土)	石塚孔信	94
		12月11日(日)		
導入科目：人間と文化	近代天皇制から象徴天皇制へ	11月4日(金)	茶谷誠一	90
		11月11日(金)		
導入科目：人間と文化	近代天皇制から象徴天皇制へ	11月4日(金)	茶谷誠一	96
		11月11日(金)		
導入科目：人間と文化	唐詩へのいざない	12月24日(土)	高津孝	95
		12月25日(日)		
導入科目：情報	画像記号による計算機操作の基礎	10月15日(土)	内山博之	87
		10月16日(日)		
導入科目：自然と環境	水族館学入門	12月17日(土)	佐々木章 他2名	95
		12月18日(日)		
専門科目：生活と福祉	認知症と高齢者のこころの病気	10月21日(金)	長友医継	88
		10月28日(金)		
専門科目：心理と教育	心理アセスメントの基礎	10月15日(土)	関山徹	87
		10月16日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	11月12日(土)	田爪宏二	91
		11月13日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	11月19日(土)	有倉巳幸	92
		11月20日(日)		
専門科目：社会と産業	鹿児島の地域課題と政策1	11月5日(土)	西啓一郎 他3名	90
		11月6日(日)		
専門科目：人間と文化	建築のカタチを考える	10月22日(土)	柴田晃宏	89
		10月23日(日)		
専門科目：人間と文化	宮沢賢治の童話を読む	12月3日(土)	村瀬士朗	93
		12月4日(日)		
専門科目：人間と文化	「人新世」時代のイヌイトの挑戦	12月13日(火)	大村敬一	94
		12月14日(水)		
専門科目：自然と環境	鹿児島の自然と土砂災害	12月3日(土)	地頭菌隆	93
		12月4日(日)		

【沖縄学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載頁
基盤科目	新・初歩からのパソコン	11月5日(土)	國田 樹	103
		11月6日(日)		
基盤科目	琉球語概説－しまくとぅばを識る	12月17日(土)	下地 賀代子	108
		12月18日(日)		
基盤科目：外国語	英語総合演習	10月15日(土)	大城 賢	99
		10月16日(日)		
基盤科目：外国語	韓国語でおもてなし	10月22日(土)	長嶺 聖子	100
		10月23日(日)		
導入科目：心理と教育	荒れる子どものナゾを解く	12月3日(土)	丹野 清彦	105
		12月4日(日)		
導入科目：人間と文化	先史・原史時代の奄美・沖縄諸島	11月5日(土)	高宮 広土	103
		11月6日(日)		
専門科目：生活と福祉	怒り解消のアンガーマネジメント	10月29日(土)	大湾 知子	102
		10月30日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	10月15日(土)	古川 卓	99
		10月16日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	10月22日(土)	廣瀬 等	101
		10月23日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	10月29日(土)	古川 卓	102
		10月30日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	12月3日(土)	遠藤 光男	106
		12月4日(日)		
専門科目：心理と教育	脳の機能とその異常の物質的理解	12月3日(土)	山本 秀幸	106
		12月4日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	12月11日(日)	遠藤 光男	107
		12月18日(日)		
専門科目：社会と産業	オペレーションズ・マネジメント	12月17日(土)	松井 美樹	108
		12月18日(日)		
専門科目：人間と文化	史料から読み解く琉球史	10月15日(土)	豊見山 和行	100
		10月16日(日)		
専門科目：人間と文化	16・17世紀の日本と欧州	10月22日(土)	杉森 哲也	101
		10月23日(日)		
専門科目：情報	音と音楽への情報学的アプローチ	12月10日(土)	仁科 エミ	107
		12月11日(日)		
専門科目：自然と環境	沖縄の自然環境と世界自然遺産	11月5日(土)	佐々木 健志	104
		11月6日(日)		
専門科目：自然と環境	やさいの機能性	11月12日(土)	上地 俊徳	104
		11月13日(日)		
専門科目：自然と環境	神経科学入門	11月12日(土)	高木 博	105
		11月13日(日)		

科目区分別面接授業開設科目一覧

【基盤科目】

科 目 名	学習センター	掲載頁
レポート作成の基本2022	福岡	25
新・初歩からのパソコン	福岡	26
論文・レポートの書き方	熊本	61
新・初歩からのパソコン	熊本	64
新・初歩からのパソコン	宮崎	83
新・初歩からのパソコン	沖縄	103
琉球語概説－しまくとぅばを識る	沖縄	108

【基盤科目：外国語】

科 目 名	学習センター	掲載頁
英語で読む日本の企業	福岡	23
漢詩で学ぶ初歩の中国語	佐賀	44
韓国・朝鮮の言語と文化	長崎	56
英語を楽しく読む	熊本	65
やさしい中国語入門	大分	69
声に出して学ぶ英作文	大分	74
コミュニケーション英語	宮崎	79
韓国語入門	宮崎	84
中国語で話してみよう	鹿児島	88
日常で使える英語表現	鹿児島	92
英語総合演習	沖縄	99
韓国語でおもてなし	沖縄	100

【導入科目：生活と福祉】

科 目 名	学習センター	掲載頁
リハビリテーション入門	大分	73
精神的健康のセルフマネジメント	鹿児島	91

【導入科目：心理と教育】

科 目 名	学習センター	掲載頁
荒れる子どものナゾを解く	沖縄	105

【導入科目：社会と産業】

科 目 名	学習センター	掲載頁
経営学概論	大分	74
日常生活に役立つ法知識	鹿児島	89
発酵食品のひみつ	鹿児島	96
日本経済の概観－現状と課題－	鹿児島	94

【導入科目：人間と文化】

科 目 名	学習センター	掲載頁
大宰府出土の木簡	福岡	29
武士の生き方、「葉隠」の世界	佐賀	42
規範倫理学入門	熊本	60
博物館・美術館へのいざない	大分	75
近代天皇制から象徴天皇制へ	鹿児島	90
近代天皇制から象徴天皇制へ	鹿児島	96
唐詩へのいざない	鹿児島	95
先史・原史時代の奄美・沖縄諸島	沖縄	103

【導入科目：情報】

科 目 名	学習センター	掲載頁
プログラミングの学び方と教え方	長崎	51
多変量解析入門	長崎	55
プレゼンテーション基礎	大分	70
画像記号による計算機操作の基礎	鹿児島	87

【導入科目：自然と環境】

科 目 名	学習センター	掲載頁
はじめて学ぶ香りの科学	大分	72
大分の水と温泉	大分	72
統計的な考え方の基礎	宮崎	84
水族館学入門	鹿児島	95

【専門科目：生活と福祉】

科 目 名	学習センター	掲載頁
生活習慣病の予防にむけて	福 岡	30
建築と環境	北九州	37
健康生成論とストレス対処力	佐 賀	41
看護学への招待	佐 賀	47
人生100年時代の女性の健康	長 崎	49
健康寿命の延長に向けて	長 崎	52
児童虐待の理解と対応	長 崎	53
人生の最終段階を考える	熊 本	60
心臓病への対処	熊 本	62
身体を診る～生活を支えるため	大 分	71
薬の作用と副作用入門	宮 崎	80
食と健康：食品の機能を活かす	宮 崎	81
精神発達学	宮 崎	85
認知症と高齢者のこころの病気	鹿児島	88
怒り解消のアンガーマネジメント	沖 縄	102

【専門科目：心理と教育】

科 目 名	学習センター	掲載頁
心理学実験3	福 岡	23
心理学的思考法	福 岡	24
心理検査法基礎実習	福 岡	27
犯罪心理学概論	福 岡	27
心理検査法基礎実習	福 岡	28
心理学実験1	福 岡	28
心理学実験2	福 岡	32
リーダーシップの心理学	福 岡	33
心理検査法基礎実習	北九州	37
心理学実験1	佐 賀	41
心理検査法基礎実習	佐 賀	42
育ちを支える心理学	佐 賀	46
心理学実験1	長 崎	50
スクールカウンセリング	長 崎	54
心理学実験2	長 崎	56
心理学実験2	熊 本	59
心理検査法基礎実習	熊 本	63
「平成時代」の社会学	熊 本	63
発達が気になる子どもの支援	熊 本	65
解決志向ブリーフセラピー入門	熊 本	67
心理学実験2	大 分	69
発達障害の理解と支援	大 分	73
心理検査法基礎実習	大 分	75
心理学実験3	宮 崎	81
心理検査法基礎実習	宮 崎	82
行動論的カウンセリング	宮 崎	85
心理アセスメントの基礎	鹿児島	87
心理学実験2	鹿児島	91
心理学実験3	鹿児島	92
心理学実験2	沖 縄	99
心理学実験3	沖 縄	101
心理学実験2	沖 縄	102
心理学実験1	沖 縄	106
脳の機能とその異常の物質的理解	沖 縄	106
心理学実験1	沖 縄	107

【専門科目：社会と産業】

科 目 名	学習センター	掲載頁
エネルギー・環境経済学	福 岡	26
市民生活と保険法	福 岡	33
近代日本経済史	北九州	38
事例から学ぶ刑事法入門	北九州	38
コンピューター援用工学の紹介	佐 賀	43
まちを読み解く	佐 賀	44
デザイン思考入門	長 崎	49
SDGsと未来のエネルギー社会	長 崎	57
人口減少時代の地域づくり	熊 本	61
近代政治思想史	熊 本	66
企業研究入門	大 分	76
鹿児島県の地域課題と政策1	鹿児島	90
オペレーションズ・マネジメント	沖 縄	108

【専門科目：人間と文化】

科 目 名	学習センター	掲載頁
博物館を学ぶ	福 岡	31
大宰府の成立2	福 岡	34
日本の城と城下町の歴史	佐 賀	43
伝統的絵画表現	長 崎	53
陰陽師安倍晴明の実像について	長 崎	54
江戸時代の長崎の緋毛氈	長 崎	55
近代の日本文学—異文化との交流	熊 本	62
日本建築史研究のエッセンス	熊 本	64
阿蘇・くじゅうの草原の歴史探訪	大 分	70
生業と信仰（狩猟と焼き畑）	宮 崎	79
楽しく学ぶ百人一首	宮 崎	83
建築のカタチを考える	鹿児島	89
宮沢賢治の童話を読む	鹿児島	93
「人新世」時代のイヌイトの挑戦	鹿児島	94
史料から読み解く琉球史	沖 縄	100
16・17世紀の日本と欧州	沖 縄	101

【専門科目：情報】

科 目 名	学習センター	掲載頁
社会基盤としてのネットワーク	福 岡	30
情報化社会における図書館	福 岡	32
DXデザイン	福 岡	34
eラーニングと電子出版入門	佐 賀	45
データサイエンスの基礎	佐 賀	46
SCRATCHで物理現象を再現	長 崎	52
プレゼンテーション応用	大 分	71
情報デザイン	宮 崎	82
音と音楽への情報学的アプローチ	沖 縄	107

【専門科目：自然と環境】

科 目 名	学習センター	掲載頁
微生物と暮らし	福 岡	24
自然災害と防災	福 岡	29
微生物による発酵とは？	佐 賀	47
身近にある毒を知る	長 崎	50
火山と災害	長 崎	51
宇宙と地球と石ころの不思議	熊 本	59
数学の楽しみ（問題とその背景）	熊 本	66
畜産フィールド実習	宮 崎	80
鹿児島の自然と土砂災害	鹿児島	93
沖縄の自然環境と世界自然遺産	沖 縄	104
やさいの機能性	沖 縄	104
神経科学入門	沖 縄	105

【総合科目】

科 目 名	学習センター	掲載頁
社会物理学と歴史文学の視座	福 岡	25
創造の思考法	福 岡	31
読む科学と編集デザイン	佐 賀	45

Ⅲ. 案内図・授業概要

福岡学習センター (コード：40A)



【所在地】 〒816-0811 春日市春日公園6-1(九州大学筑紫キャンパス内E棟4・5階)

【交通アクセス】

(1) JR大野城駅西口から徒歩7分 (JR博多駅から快速9分・普通20分)

(2) 西鉄白木原駅から徒歩20分

※**土日**に限り、九州大学筑紫キャンパス内の駐車場を利用できます。(入口は「春日公園3」1カ所です)

※大野城門からは徒歩のみ通行可。

【その他連絡事項】

(教科書について)

・各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。福岡学習センターでは販売していません。

(出欠について)

・教室内に準備している「出欠確認表」に各自署名してください。「出欠確認表」は時限毎に準備していますので1日4枚(2日間で8枚)となります。署名忘れは欠席扱いとなりますので忘れず署名してください。

(昼食について)

・平日・土曜日については、九州大学筑紫キャンパス内の学食をご利用いただけます。

(利用時間: 火～金10:30～15:00・17:00～20:00、土 10:30～14:00 **※日曜日は休み** ※変更が生じる場合があります。)

・福岡学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

(宿泊施設について)

・JR大野城駅周辺には、宿泊施設はありません。JR博多駅周辺の宿泊施設をご利用ください。福岡市内のホテルは、コンサート等のイベント開催により、予約を取ることが難しくなる場合がありますので、早めの予約をお勧めします。(南福岡、二日市、鳥栖、久留米エリア等の宿泊施設もご確認ください)

科目コード	2611830	授 業 概 要	<p>日本の製造業に関する15章から成る英文教科書を講読します。日本のものづくり企業の歴史を中心に、製品開発や社会活動など、さまざまな側面について読み進めます。大学英語用教科書であり、英文のレベルは標準的なものです。各章はひとつの企業等に絞ったものになっており、適宜参考情報を提示しながら、ものづくりや英文の内容について意見を出し合いながら進めます。可能な限りの予習により、より深く学ぶ準備をしていただくと助かります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 自動車製造業からマツダ、食品製造業からハウス 第2回 水まわり製造業からTOTO、自転車製造業からシマノ 第3回 デザイン関係でマツダ、飲料製造業からUCC 第4回 マテハン業界からダイフク、筆記具製造業からサクラクレパス 第5回 重機製造業からヤンマー、ヤンマー創業者 第6回 調味料製造業からオタフク、衣類製造業からトンボ学生服 第7回 部材製造業から日東電工、菓子製造業からモロゾフ 第8回 企業博物館等</p> <p>【学生へのメッセージ】 教科書は本文の部分だけの利用であり、練習問題等は扱いません。</p> <p>【受講前の準備学習等】 教科書を一読して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 教科書、筆記用具。プレゼン画面を見ていただくので眼鏡等の必要な方は御注意ください。</p> <p>【教科書】 <i>Outstanding Monozukuri Companies in Japan</i> 知られざる日本の「ものづくり」企業の世界 (吉野成美、Justin Harris、井上治、Paul Leeming / 松柏社 / ¥2,200 / ISBN=9784881987445) オンライン書店になく一般書店で発注する場合、時間がかかることがありますので、可能な限り早めに発注してください。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	英語で読む日本の企業		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	30名		
担当講師	スズキ ユウブン 鈴木 右文 九州大学大学院 言語文化研究院教授		
日程実施時間	10月15日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月16日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室 I ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2601451	授 業 概 要	<p>心理学における実験法について学ぶため、代表的な実験を3つ実施します。受講生の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加した上で、得られたデータの解析とレポートの作成を行います。そのため、8コマ全ての授業への出席、ならびに3つの実験全てについてのレポートの作成が必要となります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 実験法の基礎およびレポート執筆の概説 第2回 触2点閾の測定 第3回 データの解析とまとめ 第4回 ストループ効果 第5回 データの解析とまとめ 第6回 鏡映描写 第7回 データの解析とまとめ 第8回 全体のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 “こころ”は目で見たり手で触れたりすることができないものです。そのような“こころ”を心理学ではどのようにして捉えるのでしょうか？本講義をもとに、ともにその術を学んでいきましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 触2点閾では閾値、ストループ効果では自動化、鏡映描写では転移について、それぞれ事前に調べておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、レポートをパソコンで作成する予定の方はUSBメモリを用意しておくとう便利です。レポート作成用としてパソコンを持参しても構いません。但し、持参したパソコンから講義室内にあるプリンターに出力印刷はできません。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験3		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ワケベ トシヒロ 分部 利紘 西南学院大学 人間科学部准教授		
日程実施時間	10月15日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月22日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05		
実施会場	福岡学習センター PC実習室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2611872	授	心理学、生理学、脳科学、仏教、哲学、アート、文学、これらには一貫性があります。それは心理学的決定論という相似形が必ず現れるということです。異なるアプローチ法によっても、たどり着く到達点は常に同じでした。それは、我々の自由意志とは錯覚であり、幻想であるという事実です。我々の行動は全て事前に決まっています。環境と自己との相互作用による脳の働きによって、必然的で不可避な一つの行動に、我々は導かれます。我々は神の操り人形ですが、その神とは自分自身と世界（外界）との相互作用のことなのです。
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	心理学的思考法		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	セノ オ タケ ハル 妹尾 武治 九州大学大学院 芸術工学研究院准教授		
日程実施時間	10月15日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50	業	【授業テーマ】 第1回 自由意志：自由意志は錯覚である。自由意志を否定する心理実験の紹介。 第2回 犯罪心理学：脳の暴走である犯罪は、意志の力で止められるのか？脳から見る犯罪。 第3回 AI：AIは心に対して何をもちたすのか？ 第4回 知覚：五感に基づく世界の理解。我々は何を見ているのか？ 第5回 VR：この世界は神によるVRゲームなのか？リアルとは何か？ 第6回 量子論：シュレーディンガーの猫、二重スリット問題から世界を捉え直す。 第7回 哲学：ベルクソン、そしてマルクス・ガブリエル。実在論について。 第8回 アート：アートから見た心理学的決定論とは何か？
	10月16日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		【学生へのメッセージ】 2021年3月刊行の自著、『未来は決まっており、自分の意志など存在しない。心理学的決定論』を一読しておいてもらいたいです。この内容に即して、講義を行います。本を読んで、興味を持たれた方に受講をお勧めします。 【受講前の準備学習等】 教科書を一読しておいてもらいたいです。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。（レポート課題）授業を受けて自分で考えたこと、感想。
実施会場	Web (Zoom) 授業	要	【受講者が当日用意するもの】 教科書 【教科書】 未来は決まっており、自分の意志など存在しない。心理学的決定論（妹尾武治／光文社新書／¥990／ISBN=9784334045296） 漫画 人間とは何か？（マーク・トウェイン／文響社／¥1,848／ISBN=9784866514611）※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。 【参考書】 脳は、なぜあなたをだますのか：知覚心理学入門（妹尾武治／ちくま新書／¥858／ISBN=9784480069092） おどろきの心理学（妹尾武治／光文社新書／¥968／ISBN=9784334039042） 売れる広告 7つの法則（妹尾武治／光文社新書／¥1,034／ISBN=9784334044428） “僕という心理実験”で検索してください。（妹尾武治／光文社）講師が光文社にて連載中の記事です。夏頃に単行本になり出版されますが、現時点ではこの情報のみになります。

科目コード	2611856	授	本講義では、私たちの生活や健康に深く関係する微生物について、分類、生態、構造などの基本的知識と、バイオテクノロジーなどの応用技術、微生物を用いた産業、微生物による疾病と微生物を用いた治療、微生物と環境との関わりなどについて学習します。
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	微生物と暮らし		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ド イ カツ ミ 土居 克実 九州大学大学院 農学研究院教授		
日程実施時間	10月15日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50	業	【授業テーマ】 第1回 微生物の分離・分類・増殖 第2回 微生物の構造・代謝・遺伝情報 第3回 微生物各論：原核微生物・真核微生物 第4回 微生物各論：ウイルス・バクテリオファージ・プラスミド・トランスポゾン 第5回 微生物を用いた産業 発酵 第6回 微生物を用いた産業 遺伝子組換えとバイオテクノロジー 第7回 微生物による疾病と微生物を用いた治療 第8回 微生物と環境との関わり
	10月16日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		【学生へのメッセージ】 微生物学は、生物学のカテゴリーに属しますが、化学反応の知識も必要ですので、化学式、分子種や酸化・還元などの化学反応などの基礎的な化学の学習をお願いします。 【受講前の準備学習等】 参考書等を活用し、微生物学の基礎内容について情報を収集しておくことをお勧めします。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	要	【受講者が当日用意するもの】 特にありません（資料は配布する予定です） 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 応用微生物学 第3版（横田 篤、大西 康夫、小川 順（編集）／文永堂出版／¥5,500／ISBN=9784830041310） 基礎から学ぶ遺伝子工学 第2版（田村 隆明／羊土社／¥3,740／ISBN=9784758120838）

科目コード	2611821	授 業 概 要	<p>本授業は、文章作成の基本となる「何を」「どう書くか」という2つの観点から進めていきます。文章が論理的であるとはどういうことかということから説き起こし、序論・本論・結論からなる文章の基本構成、テーマ設定から執筆に至るまでの手順、情報の要約や言い換えの仕方、文章のマナー等を随所に盛り込みながら、論理的な文章の作成に取り組みます。なお、授業は4～5人編成のグループ学習の形を取ります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 レポートの基本構造 第2回 レポートのテーマ「課題」の説明 第3回 文献の読み込み 第4回 考える（問いと答え）・要約と言い換え 第5回 パラグラフで考える / 主張を考える（目標規定文をつくる） 第6回 わかりやすい文を書く・レポート作成のマナー 第7回 序論と結論を書く 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 「書く」行為は「考える」行為に他なりません。講義を通じて論理的に考える習慣を身につけましょう。授業では、レポートを完成するために学生自らが関連資料を探し、読みこんだ後に、グループディスカッションに臨むことになります。</p> <p>【受講前の準備学習等】 指定した教科書は、100ページ程度の分量ですから、事前に目を通しておけば、授業での理解も深まるはずですよ。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、国語辞典（電子辞書可）を持参してください。</p> <p>【教科書】 大学生のための論文・レポートの論理的な書き方（渡邊淳子／研究社／¥1,430 / ISBN=9784327384708）※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 授業は、2021年度第2学期に開講した「レポート作成の基本2021」の内容と一部重複します。</p>
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	レポート作成の基本 2022		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	120		
定員	30名		
担当講師	ワタナベ ジュンコ 渡邊 淳子 熊本保健科学大学 アカデミックスキル支援センター准教授		
日程実施時間	10月22日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月5日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室 I ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2611988	授 業 概 要	<p>本講義では数学と統計物理学に基づき複雑な実社会現象にアプローチする手法として、近年の学際領域で着目されている「社会物理学」の概論を述べます。社会物理学とは、人間—環境—社会システムをモデル化し、それに基づく予測評価を与えることで、社会システムの設計に有用な情報を与える枠組みのことです。このような理工学「ど真ん中」の話題にもかかわらず、随所に顔出す歴史・文学への関連。本講義では、皆さんがお持ちの歴史・文学への興味を振り所に、数学と物理学に裏付けられた科学の frontline を垣間見ようとの挑戦です。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 人間—環境—社会システムと社会物理学 第2回 環境問題と私たちの社会；地球環境問題、都市環境問題 第3回 社会効率性の評価の私たちの効用構造 第4回 社会ジレンマと進化ゲーム理論 第5回 実社会における社会ジレンマ；自己欲求の実現 vs 公共性の追求は両立するか？ 第6回 シミュレーションとは何か？ 第7回 大江戸から東京へ；都市問題と歴史・文学の一コマ 第8回 われらが将来にサステナブル社会はあるか？</p> <p>【学生へのメッセージ】 歴史・文学と科学は対極にある学問ではありません。両極の端部はループされていて、意外にも両者は親和性が高いのです。このことを脱線交じりの科学最前線の話題で実感しましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は所属コースのコース科目に該当します。</p>
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	社会物理学と 歴史文学の視座		
科目区分	総合科目		
ナンバリング	420		
定員	40名		
担当講師	タニ モト ジュン 谷本 潤 九州大学大学院 総合理工学研究院教授		
日程実施時間	10月22日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月23日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	Web (Zoom) 授業		

科目コード	2611902	授 業 概 要	<p>エネルギー・環境問題の理解には技術面の知見もある程度必要なため、やや敬遠される嫌いがあります。しかし気候変動対策で化石燃料利用が制約を受ける一方、原発の再稼働も進まず、太陽光も地域で設置反対運動が頻発したりしています。新聞報道などの議論に欠けているのは、この問題を考える上で実は経済的要素が非常に重要だという点です。本講義は経済学の視点を応用し、世上の議論の問題点をあぶり出し、より良い制度設計は何かを考えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 エネルギーと経済成長、環境との関係：SDGsから考える 第2回 環境経済学の基本視点：限界概念、対策資源の稀少性、機会費用 第3回 我が国のエネルギー構造の変遷：歴史の回顧と直面している課題 第4回 再生可能エネルギー導入の経済学的考察 第5回 電力自由化の功罪、原子力をどうするか？ 第6回 経済成長と環境の両立を目指す道筋：中国の状況 第7回 討論：現実的なエネルギー・環境問題の解決法について考える 第8回 まとめ：エネルギー・環境経済学を学ぶ意義</p> <p>【学生へのメッセージ】 エネルギー・環境問題に対する定見、加えて経済学の根底にある視点について現実の事例を踏まえて理解頂けるよう丁寧に説明します。第7回の授業は過去の授業で評判の良かった履修者の皆さんによる討論を通じて、エネルギー・環境経済学の現実への貢献の可能性を実践的に理解してもらえればと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 日本のエネルギー・環境問題に関して何が問題になっているのか、ニュースや新聞、ネット記事などで結構ですので、授業前に調べて問題意識を持って授業に臨んで下さい。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	エネルギー・環境経済学		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ホリイ ノブ ヒロ 堀井 伸浩 九州大学大学院 経済学研究院准教授		
日程実施時間	10月23日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 10月30日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅲ ※不測の事態発生時はWeb(ZOOM)授業で実施		

科目コード	2601311	授 業 概 要	<p>これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作(キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル) 第2回 Wordによる文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り(第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出)</p> <p>【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ(※市販されている一番安価な物で結構です。) 学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ち下さい。</p> <p>【教科書】 新・初歩からのパソコンテキスト(情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学)授業当日に配付します。</p> <p>【参考書】 新・初歩からのパソコン電子版テキスト(PDF)ダウンロード方法は授業で説明いたします。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。 『新・初歩からのパソコン』の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。</p>
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	新・初歩からのパソコン		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	18名		
担当講師	タガワ タカ ヒロ 多川 孝央 九州大学 情報基盤研究開発センター准教授		
日程実施時間	10月29日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 11月5日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	福岡学習センター PC実習室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2601486	授 業 概 要	<p>医療、教育、福祉等の現場において用いられる心理検査について考えます。人間のパーソナリティ（性格および知能）や発達等の心理的諸側面を、標準化された手続きと基準により量的に把握する心理検査の基本（特長や限界）について、実際に性格検査等を体験したり、発達検査や知能検査を基にした課題に取り組んだりしながら理解を深めます。</p> <p>8回の授業全てに出席し、各実習・演習および全体のまとめのレポートを作成し提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 オリエンテーション（意義、種類） 実習1：心理測定尺度集より「自意識尺度」</p> <p>第2回 演習：発達検査（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法）</p> <p>第3回 演習：発達検査（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法）</p> <p>第4回 実習2：性格検査（質問紙法、TEGⅢ）</p> <p>第5回 実習2：性格検査（質問紙法、TEGⅢ）</p> <p>第6回 実習3：知能検査（グッドイナフ人物画知能検査）</p> <p>第7回 実習3：知能検査（グッドイナフ人物画知能検査）</p> <p>第8回 まとめ（テストバッテリー、検査の倫理）</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>課題の中には、心理検査を実際に体験し自分自身の結果を分析するもの、グループディスカッションを行うもの等もありますので、あらかじめご了承の上、受講してください（著しく負担になる場合は受講をお控えください）。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>実習・演習として取り上げる個々の検査についての予習はお控えください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>鉛筆（HBまたはB）、赤鉛筆（または赤ペン）、はさみ、携帯用手指消毒液</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ハナダ トシロウ 花田 利郎 西南学院大学 人間科学部教授		
日程実施時間	10月29日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月30日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05		
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2611880	授 業 概 要	<p>本講義では、犯罪心理学の基礎的な知見や理論を学びます。具体的には、犯罪・非行の発生から、捜査、裁判、矯正までの刑事司法プロセスに沿って、犯罪・非行の原因となるさまざまな危険因子（社会的要因、心理学的要因、生物学的・神経生理学的要因）や、犯人の特定・逮捕の心理学的支援（ポリグラフ検査、犯罪者プロファイリング、事情聴取）、加害者の再犯防止・更生支援などを実証的知見に基づいて概説します。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 犯罪心理学とは何か</p> <p>第2回 さまざまな犯罪と特徴（殺人、窃盗、強盗、放火、性犯罪など）</p> <p>第3回 犯罪・非行の原因1（生物学的・神経生理学的要因）</p> <p>第4回 犯罪・非行の原因2（心理学的要因）</p> <p>第5回 犯罪・非行の原因3（社会的要因）</p> <p>第6回 捜査支援の心理学1（事情聴取と取調べ）</p> <p>第7回 捜査支援の心理学2（ポリグラフ検査と犯罪者プロファイリング）</p> <p>第8回 加害者の再犯防止と更生支援</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>犯罪心理学は、皆さんの興味・関心は高いものの、本格的に学べる機会が限られた学問でした。この講義によって、知られざる犯罪心理学の実態を学べば、少なくとも事件報道や刑事ドラマの見方がこれまでとがらりと変わります。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>授業で用いるスライドには一部不快な画像などが含まれていますのでご注意ください。また個人的な事件・事故の相談や助言などには応じられません。</p>
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	犯罪心理学概論		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	オオ ウエ ワタル 大 上 渉 福岡大学 人文学部教授		
日程実施時間	10月29日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月30日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2601486	授	心理検査は、その人らしさを形成している心理的な特徴を多方面から捉えるために用いられます。本授業では様々な心理検査の理論や仕組みについて学び、その目的や方法、倫理問題について理解を深めます。また、実際に複数の心理検査を体験し、それぞれについてレポートを提出する過程で、自己理解を深めつつ、心理検査の手続きやアセスメントの方法について学ぶことを目的とします。受講生は8コマすべてに出席し、4つの検査それぞれについてのレポートと、総合的なまとめのレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	L		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	カネコ シュウヘイ 金子 周平 九州大学大学院 人間環境学研究院准教授		
日程実施時間	11月12日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50	概	【授業テーマ】 第1回 心理検査の目的、方法、倫理問題 第2回 心理検査の種類とテストバッテリー 第3回 質問紙検査 (TEG 3・BDI-II) 第4回 投映法検査 (バウムテスト) 第5回 質問紙検査 (矢田部ギルフォード性格検査) 第6回 報告書や所見の書き方と活かし方 第7回 子ども・高齢者の心理検査 第8回 心理面接におけるアセスメントと心理検査
	11月13日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05		【学生へのメッセージ】 心理検査は十分に吟味した上で実施されるものです。今回はご自身で心理検査を体験することで、自己理解を深めつつ、検査の目的や方法を具体的に学びます。ご自身の体験やデータを大切に扱い、決して軽い扱いをされないようにしてください。
			【受講前の準備学習等】 臨床心理学の概論についての学習を行なってください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ	要	【受講者が当日用意するもの】 当日は、HBの鉛筆2~3本、消しゴム、定規(小さいもので良いです)を持参してください。
	※不測の事態発生時は閉講		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 心理アセスメントの理論と実践(高瀬由嗣・関山徹・武藤翔太/岩崎学術出版社/¥3,960/ISBN=9784753311668) 更なる学習や、学習の補助として用いる参考書として推薦します。 子どもの発達検査の取り方・活かし方(樋口隆弘/誠信書房/¥2,200/ISBN=9784414416800) 子どもの検査を実施する際の様々な配慮を学ぶ参考書として推薦します。
			【その他(特記事項)】 この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。

科目コード	2601761	授	本授業では、基礎的な心理学実験の体験と、科学論文形式のレポートの作成を通して、心理学研究に必要な基礎的知識と技術の修得を目指します。 取り上げるテーマは、「ミュラー・リヤー錯視」、「アイコニックメモリ」、「心理尺度」です。 単位の修得には全ての回に出席し、その3つの全てのテーマに関してそれぞれレポートを作成・提出することが求められます。
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験1		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ヤマモト ケンタロウ 山本 健太郎 九州大学大学院 人間環境学研究院講師		
日程実施時間	11月12日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50	概	【授業テーマ】 第1回 心理学における研究手法 第2回 ミュラー・リヤー錯視：実験・解説 第3回 ミュラー・リヤー錯視：データ整理 第4回 ミュラー・リヤー錯視：レポート作成法の解説とまとめ方 第5回 アイコニックメモリ：実験・解説 第6回 アイコニックメモリ：データ整理・レポートのまとめ方 第7回 心理尺度：実験・解説 第8回 心理尺度：データ整理・レポートのまとめ方
	11月13日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05		【学生へのメッセージ】 心理学では科学的な手法を用いて研究を行うことで、人のこころや行動の仕組みについて検討が行われています。この授業を通じて、心理学の方法論を学んでみましょう。
			【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
実施会場	福岡学習センター PC実習室	要	【受講者が当日用意するもの】 実験データや授業中に作成した図表を持ち帰るため、USBメモリ等の記録媒体をご準備ください。レポート作成用としてパソコンを持参しても構いません。但し、持参したパソコンから講義室内にあるプリンターに出力印刷はできません。
	※不測の事態発生時は閉講		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 心理学レポート・論文の書き方 演習課題から卒論まで(板口典弘、山本健太郎/講談社/¥2,090/ISBN=9784061548091) 【その他(特記事項)】 なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2611970	授 業 概 要
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	自然災害と防災	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	<p>カサ マ キヨ ノブ 笠 間 清 伸 九州大学大学院工学研究院教授</p> <p>カジ タ ユキ ヒデ 梶 田 幸 秀 九州大学大学院工学研究院准教授</p> <p>タ イ アキラ 田 井 明 九州大学大学院工学研究院准教授</p> <p>ハヤシ ヒロ ノリ 林 博 徳 九州大学大学院工学研究院准教授</p> <p>ミ タ ヌ ヒロ 三 谷 泰 浩 九州大学大学院工学研究院教授</p> <p>アサ イ テル 浅 井 光 輝 九州大学大学院工学研究院准教授</p> <p>ナカ ヤマ ヒロ フミ 中 山 裕 文 九州大学大学院工学研究院准教授</p>	
日程実施時間	<p>11月12日(土)</p> <p>第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50</p> <p>11月13日(日)</p> <p>第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50</p>	
実施会場	福岡学習センター 講義室 I	
	※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	
<p>私たちが住んでいる日本は、地震、火山活動が活発な環太平洋変動帯に位置し、地理的、地形的、気象の諸条件から、台風、豪雨、豪雪等の自然災害が発生しやすい国土となっています。自然災害を未然に防ぎ、災害による被害を最小限に抑えるための法・組織体系、国や県による防災計画、災害・防災情報の収集・伝達システム、住民および企業が出来る防災活動など私たちが安心・安全な暮らしをするのに不可欠な防災・減災に関する総合的な社会システムについて学習します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ガイダンス+日本の防災体制(笠間) 第2回 地震と防災(梶田) 第3回 洪水災害時の避難行動について(田井) 第4回 河川と洪水災害(林) 第5回 防災と情報(三谷) 第6回 災害シミュレーション、地震・津波(浅井) 第7回 災害廃棄物の処理(中山) 第8回 地盤災害(笠間)</p> <p>【学生へのメッセージ】 日本各地で自然災害が頻発し、私たちの生活は常に災害の脅威にさらされています。私たち、友人や家族が、安心して安全に生活していくために、災害や防災に関することを勉強しませんか！</p> <p>【受講前の準備学習等】 災害時における「自助」、「共助」および「公助」の意味と役割について調べてみてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 講義2日目の最後に書いていただくレポートの提出方法については、原稿用紙に執筆して提出する方法と、パソコン等で作成して提出する方法を選択することができます。 パソコン等で作成する場合は、ノートパソコン、タブレット、スマホなどをご持参ください。ただし、講義室に電源はありませんので、あらかじめ十分な充電等を行ってきてください。 また、学内のWi-Fiを使用したい場合は、事前に所属学習センター事務室へ申請してください。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p>		

科目コード	2611848	授 業 概 要
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	大宰府出土の木簡	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	25名	
担当講師	<p>シン ムラ マサ ユキ 進 村 真 之 九州歴史資料館参事補佐</p> <p>コ ジマ アツシ 小 嶋 篤 九州歴史資料館技術主査</p> <p>サカ イ ヨシ ジ 酒 井 芳 司 九州歴史資料館参事補佐</p> <p>コ バヤシ アキラ 小 林 啓 九州歴史資料館技術主査</p>	
日程実施時間	<p>11月16日(水)</p> <p>第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50</p> <p>11月17日(木)</p> <p>第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05</p>	
実施会場	九州歴史資料館、 大宰府市内現地研修 福岡県小郡市三沢5208-3、 大宰府市 (案内図P110参照)	
	※不測の事態発生時は閉講	
<p>昭和45(1970)年、大宰府史跡で初めて9点の木簡が見つかりました。現在までに1300点以上が出土しており、令和元(2019)年には、このうち113点が国の重要文化財に指定されています。 この講義では、大宰府出土の木簡を中心とした文字資料をもとに、大宰府の歴史を紐解いていきます。また、普段、接する機会の少ない木製品の保存処理についてもご紹介いたします。 2日目は、大宰府史跡の現地視察を行い、実際に木簡が出土した場所を巡ります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 大宰府史跡について(小嶋) 第2回 大宰府に関連する遺跡(進村) 第3回 大宰府出土の木簡(酒井) 第4回 木製品の保存処理(小林) 第5回 視察研修① 大宰府跡(進村・小嶋) 第6回 視察研修② 太宰府天満宮(進村・小嶋) 第7回 視察研修③ 水城跡(進村・小嶋) 第8回 視察研修④ 客館跡(進村・小嶋)</p> <p>【学生へのメッセージ】 木簡は文書や付札、習書など様々な用途で使用されました。これらの木簡から古代大宰府の役人の日常業務をのぞいてみませんか。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業2日目は現地研修を行うため、運動に適した服装・靴を着用して下さい。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 大宰府史跡発掘50年記念特別展「大宰府への道」展示図録(九州歴史資料館/九州歴史資料館/¥1,000)九州歴史資料館で販売。通販可。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 ・授業料とは別に2日目の現地研修で利用するバス代(2,000円程度)が必要です。バス代は当日徴収します。受講生には別途、詳細をお知らせします。 ・集合・解散場所は、1日目は九州歴史資料館、2日目は西鉄二日市駅東口となります。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.17参照)</p>		

科目コード	2611864	授 業 概 要	<p>世界でトップの長寿国である日本の平均寿命は男女とも1位ですが、健康寿命は男性で9年、女性で12年間、平均寿命より短いといわれています。この間は何らかの介護支援を受けて生活しています。健康寿命を短縮する一番の原因は生活習慣病の中でも心血管疾患や糖尿病、肥満に起因する疾患です。生活習慣病の予防に向けて日本人に頻度が高い高血圧、糖尿病、脳卒中、メタボリック症候群、虚血性心疾患、睡眠時無呼吸症候群などについて基礎的な内容を説明します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 健康寿命について 第2回 高血圧について 第3回 糖尿病について 第4回 高齢者に多い心房細動と脳梗塞について 第5回 虚血性心疾患について 第6回 メタボリック症候群について 第7回 睡眠時無呼吸症候群と生活習慣病について 第8回 口腔の健康と全身の健康について</p> <p>【学生へのメッセージ】 受講生の方々の健康管理にも役に立つような話をしたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	生活習慣病の予防にむけて		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	チシャキ アキ コ 樗木 晶子 福岡看護大学教授		
日程実施時間	11月19日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 11月20日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室I ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2611945	授 業 概 要	<p>現在、世の中で使用されている固定電話、携帯電話などの通信基盤に加えて、次に示すような、インターネットに関する基本的な知識・技術等について、利用者とアプリケーションの視点から論じます。</p> <p>OER (Open Educational Resources) 社会制度、電子決済 固定・移動電話、格安SIM インターネット、 IPアドレス、ドメイン名、 電子メール、ウイルス 暗号化通信、セキュリティ、ファイヤウォール 公開鍵暗号、SSH、SSL</p> <p>【授業テーマ】 第1回 OER (Open Educational Resources) 第2回 社会制度、電子決済 第3回 固定電話、移動電話 第4回 インターネット 第5回 IPアドレス、ドメイン名 第6回 電子メール、ウイルス 第7回 ファイヤウォール、セキュリティ、暗号化通信 第8回 公開鍵暗号、SSH、SSL</p> <p>【学生へのメッセージ】 いつも気にせず使用している様々な仕組みとその課題を改めて考えてもらいます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 下記サイトをご参考ください。 Web (ICER) Network as the Base of Social World http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/infra_network2015/</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 講義ではパソコンを使用しての作業は行いません。(個人のパソコンを持参し習ったことを講義時間外で試していただいても構いません)</p>
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	社会基盤としてのネットワーク		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	フジ ムラ ナオ ミ 藤村 直美 九州大学名誉教授		
日程実施時間	11月19日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 11月26日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室III ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2611996	授 業 概 要	<p>従来の枠組みでは捉えきれない無数の課題に直面している現代、専門知を集め、学際的な思考をめぐらし、多面的な視点に立って判断し、社会実装につなげられる創造性が求められている。この授業では、創造性に富んだ思考から実践、実装までをつなぐ思考方法について学ぶ。デザイナーの実践的な思考を応用したデザイン思考、アーティストの洞察力に着目したアート思考、散在する情報をつないで新たな文脈をつくる編集思考、さらに生物学のアナロジーに基づく進化思考など、新しく創出された思考の理論を理解するとともに、それらを活用できる方法を身につける。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 創造的な思考とはなにか 第2回 デザイン思考の理論 第3回 デザイン思考の実践 第4回 編集思考の理論 第5回 編集思考の実践 第6回 アート思考の理論 第7回 アート思考の実践 第8回 進化思考を考える</p> <p>【学生へのメッセージ】 創造性を磨き、既成概念にとらわれない豊かな発想を引き出す思考のプロセスを実践し、違った視点で世界を見てみましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 日常生活で気になったモノやコトの写真を数点スマートフォンなどで撮影し、データをUSBなどに保存して持参するか、前日までに下記にアップロードしてください。 https://share.iii.kyushu-u.ac.jp/public/SfLQgADIUA_At1ABSkl_vvV9ZiMD0VYqknMyCLKQI-5A</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は所属コースのコース科目に該当します。</p>
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	創造の思考法		
科目区分	総合科目		
ナンバリング	410		
定員	30名		
担当講師	イケダ ミナコ 池田 美奈子 九州大学大学院 芸術工学研究院准教授		
日程実施時間	11月19日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 11月20日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2611929	授 業 概 要	<p>博物館には「文化財の公開展示」「文化財の保存修復」「文化財の調査研究」「教育普及」の機能があります。これらの4つの機能について、それぞれの立場から研究員・職員が授業を行います。講義や展示室の見学等を通して、国立博物館としての使命・機能について学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 博物館の使命(河野) 第2回 博物館の平常展(文化交流展)(一瀬) 第3回 特別展のマネージメント(川畑) 第4回 博物館の環境管理(木川) 第5回 文化財の保存と修理(志賀) 第6回 開かれた博物館への取り組み(西島) 第7回 文化財の保管と収集(森實) 第8回 博物館の教育普及(室井)</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、九州国立博物館HP等での自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、学生証を持参してください。また、施設観覧料が発生する場合(数百円程度)は自己負担となります。受講者には別途詳細をお知らせします。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【その他(特記事項)】 ※11/24(木)の閉館は17:00、11/25(金)の閉館は20:00です。 (新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、閉館時間が変更になることがあります) 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.17参照)</p>
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	博物館を学ぶ		
科目区分	専門科目:人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	カワノ 一 隆 九州国立博物館学芸部長 イチノセ トモ智 九州国立博物館展示課主任研究員 カワバタ フリ子 九州国立博物館企画課特別展室長 キカワ リカ 九州国立博物館博物館科学課環境保全室長 シガサト シ智史 九州国立博物館博物館科学課保存修復室長 ニシジマ アキ子 九州国立博物館企画課主任研究員 モリザネ クミ子 九州国立博物館文化財課資料登録室長 ムロ マサト 九州国立博物館交流課主任研究員		
日程実施時間	11月24日(木) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 11月25日(金) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	九州国立博物館1階研修室 太宰府市石坂4-7-2 (案内図P111参照) ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2611953	<p>いまや図書館は単に本を借りたり、自習したりするだけの場所ではなくなっています。本授業では、最近の公共図書館や大学図書館などの具体的な事例を紹介しながら、情報管理組織の一つである図書館の機能やサービスについて解説します。また、実際に九州大学附属図書館の筑紫図書館を見学します。講義と見学を通じて、現代の情報化社会における図書館の存在意義や可能性について共に考えていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 図書館とはなにか 第2回 図書館の基本的な機能とサービス 第3回 多様化する図書館の情報資源 第4回 大学図書館の実際 第5回 図書館による情報サービス（1） 第6回 図書館による情報サービス（2） 第7回 特徴のある図書館 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 大学図書館員としての実務経験も交えてお話をします。図書館について学び、より積極的に図書館を活用できるようになりましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 ・1日目第4時限に九州大学附属図書館筑紫図書館の見学を予定しています。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）</p>
学習センター（コード）	40A	
クラスコード	K	
科目名	情報化社会における図書館	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ワタナベ ユキコ 渡邊 由紀子 九州大学附属図書館准教授	
日程実施時間	11月26日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月27日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター講義室Ⅰ および九州大学附属図書館 筑紫図書館 （1日目4時限） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2602164	<p>心理学における実証的研究法について学ぶため、基本的な心理学実験を3つ実施します。受講者の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加した上で、得られたデータの整理と分析、レポート作成を行います。そのため、8コマすべての授業の出席、ならびに3実験すべてのレポート提出が必要となります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学研究法ならびにレポートの書き方の概説 第2回 実験1：印象形成（中心特性の働き） 第3回 実験1：結果の整理とまとめ 第4回 実験2：運動技能学習におけるフィードバック 第5回 実験2：結果の整理とまとめ 第6回 実験3：要求水準 第7回 実験3：結果の整理とまとめ 第8回 全体のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 私たちの心の動きを心理学ではどのように理解し、測定しようとしているのでしょうか。実験を通して、心理学の世界に触れてみましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 アイマスク、電卓、定規</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター（コード）	40A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	フジムラ 藤村 まこと 福岡女学院大学 人間関係学部准教授	
日程実施時間	12月10日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月11日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05	
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2611899	<p>チームや組織が高い成果を上げ、そして持続的に発展していくためには、メンバーが意欲的に取り組むだけでなく、チームや組織レベルでのチームワークが必要不可欠です。それを担うのがリーダーです。本講義では、リーダーシップの本質を理解しながら、効果的なリーダーシップのあり方について最新の学術的な知見を紹介すると共に、リーダーシップに関わるグループワークや映像資料を交えて多面的に理解することを目指します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 リーダーシップを科学する：リーダーシップ研究の意義と歴史 第2回 効果的なリーダーシップ：どのようなリーダーシップが成果を上げるのか 第3回 組織変革とリーダーシップ：組織に再び活力を与えるリーダーシップとは 第4回 共有型リーダーシップ：チームワークを醸成して機能させるチーム・リーダーシップ 第5回 サバント・リーダーシップ：メンバーを下から支える奉仕型リーダーシップ 第6回 モチベーション・マネジメント：自律的なモチベーションを引き出すリーダーシップとは 第7回 リーダーシップのダークサイド：なぜ権力はリーダーを傲慢にするのか 第8回 リーダーシップ開発：リーダーはいかに経験から成長するか</p> <p>【学生へのメッセージ】 本講義では、現場の事例や映像資料、受講者との対話を取り入れながら授業を進めていきます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 モチベーションに火をつける 働き方の心理学（池田浩／日本法令／¥1,760／ISBN=9784539728116） 産業と組織の心理学（池田浩（編）／サイエンス社／¥2,585／ISBN=9784781914107） 社会心理学におけるリーダーシップ研究のパーспекティブII（坂田桐子（編）／ナカニシヤ出版／¥4,950／ISBN=9784779512155）</p>
学習センター（コード）	40A	
クラスコード	K	
科目名	リーダーシップの心理学	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	イケダ ヒロシ 池田 浩 九州大学大学院 人間環境学研究院准教授	
日程実施時間	12月10日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月11日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室 I ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2611910	<p>本講義は、生命保険契約法を中心に保険法、生命保険の基本的知識の修得、およびそれを前提とした問題解決のための応用力の育成を目的とします。民法の契約法理・親族法・相続法等に対する理解が深まることも期待されます。</p> <p>毎回の講義においてプリントを配付するとともに、講義の狙い・キーワードを示します。講義中、とどころに保険実務の現場で起きやすいトラブルや重要な判例・裁判例を取り上げて説明を加えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ガイダンス&保険法総論－保険制度、保険の分類、保険法の基礎理論 第2回 生命保険契約総論－当事者と関係者、保険者の補助者、契約の基本概念・類型・主な法的性質 第3回 生命保険契約の成立1－契約成立プロセス、被保険者の同意、責任開始時期等 第4回 生命保険契約の成立2－告知義務制度の意義、告知義務、告知義務違反による解除（生命保険募集人との関係等） 第5回 生命保険契約の指定・変更－保険金受取人の指定・生前の意思表示による変更・遺言による変更（相続財産との関係等） 第6回 生命保険契約の終了1－保険金受取人の死亡（相続人との関係等）、保険契約者側による解除 第7回 生命保険契約の終了2－保険者の免責、重大事由による解除（故意事故招致・保険金詐取行為との関係）等 第8回 復習、事例研究（遺言による保険金受取人の変更に伴う諸問題）</p> <p>【学生へのメッセージ】 本講義は受動型ではなく、参加型にします。8回の講義は、皆さんにとって緊張感、充実感、そして達成感を得られるものとなるよう努めますので、受講者の皆さんからもご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の確認問題への解答、課題への取り組み姿勢、質疑応答への参加等を総合的に判断して行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 六法（小型のものでかまいません。）</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 保険法 第4版（山下友信・竹濱修・洲崎博史・山本哲生／有斐閣アルマ／¥2,310／ISBN=9784641221291） 逐条解説保険法（宮島司編著／弘文堂／¥13,200／ISBN=978433536049）</p>
学習センター（コード）	40A	
クラスコード	K	
科目名	市民生活と保険法	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	リーミン 李 鳴 放送大学教授	
日程実施時間	12月17日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月18日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室 I ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

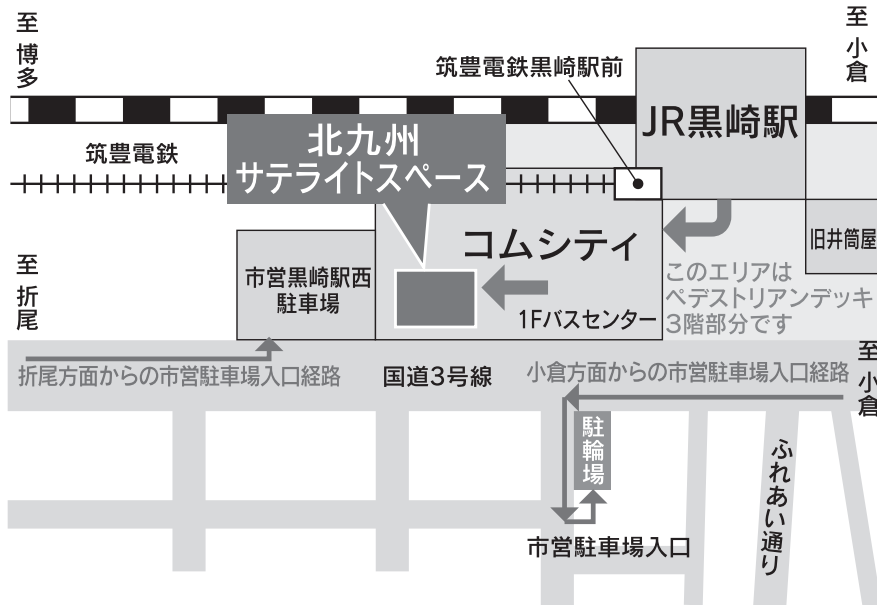
科目コード	2611937	授 業 概 要	<p>大宰府は律令国家において西海道の九国三島を統括した巨大な官庁です。白村江の敗戦とその後の古代山城の築造、また壬申の乱や浄御原令、大宝令の制定・施行という激動の7世紀史のなかで、どのような経緯で律令制の大宰府が出来上がってきたかについて、大宰府史跡の発掘の最新の成果をまじえながら解説し、ついで8世紀の大宰府の機能について、鴻臚館・客館や官衙遺跡の調査、更に木簡等の出土文字資料に触れながら解説していきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 古代山城の造営 金田城、鞠智城、大野城、基肄城、その他 第2回 西海道における官衙の成立1 筑後国府、豊前国府、日向国府、肥前国府 第3回 西海道における官衙の成立2 小郡遺跡、下高橋遺跡、阿恵遺跡、有田遺跡 第4回 西海道における官衙の成立3 第1期大宰府政庁と蔵司地区 第5回 大宝以前の西海道行政 国分松本遺跡とその出土木簡 第6回 大宰府の行政システムと外交 第7回 鴻臚館と客館 第8回 大宰府の景観</p> <p>【学生へのメッセージ】 福岡のみなさんには身近な存在である大宰府史跡ですが、律令制の大宰府の成立過程は、まだあまり解明されているとは言えません。古代史の常として多数の学説が並び立っておりますが、史料を精読し、遺跡の調査成果とあわせ考えることで、おおよそどのようにイメージすれば良いのか、皆さんと一緒に考えてみましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 参考書に予め目を通して頂ければ、より深い理解が得られるでしょう。主として大宝令以前のお話ですので、それぞれ数十ページ程度です。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 太宰府市史 古代資料編（太宰府市／ぎょうせい／¥5,000）近辺の図書館には備えてあると思います。 太宰府市史 通史編1（太宰府市／ぎょうせい／¥5,000）近辺の図書館には備えてあると思います。</p>
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	大宰府の成立2		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	33名		
担当講師	サカ ウエ ヤス トシ 坂上 康 俊 九州大学名誉教授		
日程実施時間	12月17日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月18日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2611961	授 業 概 要	<p>教育、医療、行政など社会サービスのさまざまな分野でサイバーリアルの融合が進んでいます。このような社会環境のDX(デジタルトランスフォーメーション)化では、当事者が主体的に、デジタル技術を活用して、社会のニーズを基に、主体的にサービスやビジネスモデルを変革する必要があります。授業では、人間とコンピュータの共生を描くようなインタラクションデザインをベースとして、デジタル変革を必要とする企業組織の当事者自らが行うニーズ発見や課題解決、デジタル化の構想やプロトタイプ制作などのDXのデザイン方法を学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、デジタルトランスフォーメーションとは 第2回 DXの理解、共創デザイン、グループブレインストーミング 第3回 事例紹介、DXデザインを取り巻く世界の状況 第4回 シェアリングサービスのデザイン、デジタルプラットフォーム 第5回 ビジョンドリブン、デザインを先導するメディアアート 第6回 インセンティブのデザイン、ナッジデザイン、ソーシャルクレジット 第7回 次世代のコンピュータ環境、ポストスマートフォンのデザイン 第8回 オンラインツールを用いたディスカッション</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業では、地域や組織の当事者としてデジタルトランスフォーメーションの将来像を描き、実現するための方法を議論します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 地域や組織の当事者として、デジタルトランスフォーメーションの課題についてスマートフォンのカメラを使って取材しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 スマートフォン</p> <p>【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 学内のWi-Fiを使用したい場合は、事前に所属学習センター事務室へ申請してください。</p>
学習センター（コード）	40A		
クラスコード	K		
科目名	DXデザイン		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	トミ マツ キョウ 富 松 潔 九州大学名誉教授		
日程実施時間	12月17日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月18日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター PC実習室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

北九州サテライトスペース

(コード：40S)

北九州サテライトスペース案内図 ☎093-645-3201



【所在地】

〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3
(黒崎コムシティ3階)

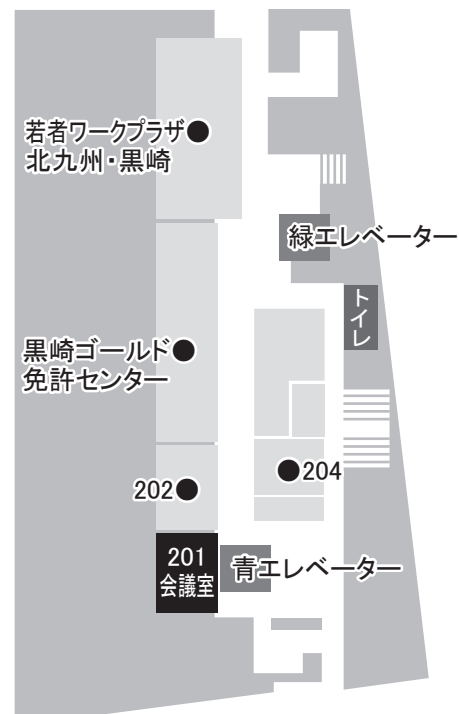
【交通アクセス】

- JR黒崎駅から徒歩5分
- 西鉄バス：黒崎バスセンターから徒歩3分

【その他連絡事項】

※会場には駐車スペースはありません。
※面接授業に必要な教科書は北九州サテライトスペースでは販売していませんので、各自書店等で事前に購入してください。

2階201会議室



科目コード	2612003	<p>生物の快適性や安全性などを満たす建築は、建築される環境や、建築に求められる機能について理解した上で、計画される必要があります。本講義では、美しく快適で安全な建築について、人間・建築・環境の視点から学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 建築とは、地理的環境と建築の機能 第2回 日本の建築の構造と変遷 第3回 風土・暮らしと建築 第4回 建築の美しさ、象徴性、法規 第5回 人間の心理・生理と建築 第6回 建築による環境制御 第7回 建築環境のシミュレーション 第8回 地球・都市環境と建築</p> <p>【学生へのメッセージ】 建築について幅広い視点から講義したいと思います。また、各回の講義内容に関連のある、国内外の有名建築も紹介します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	40S	
クラスコード	Q	
科目名	建築と環境	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	25名	
担当講師	フクダ ユミ 福田 裕美 北九州市立大学 国際環境工学部准教授	
日程実施時間	10月15日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 10月16日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	黒崎コムシティ2階201会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 (コムシティ) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2601486	<p>心理検査は個人の心理的傾向について測定するために用いられるものです。この授業では様々な心理検査の理論や仕組みについて学びます。また、心理検査の意義やその限界、倫理的問題についても理解を深めます。さらに、実際に心理検査を体験し、それぞれについてレポートを提出する過程において、自分自身について客観的に理解することも目的とします。受講生のみなさんは8コマすべてに出席し、3つの検査それぞれについてのレポートと最後にまとめのレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理検査の成り立ち 第2回 検査実習1：Big Five尺度 第3回 心理検査の信頼性・妥当性 第4回 検査実習2：バウムテスト 第5回 心理検査の種類 第6回 検査実習3：内田クレペリン検査 第7回 テスト・バッテリー 第8回 心理検査のまとめ、レポート作成</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取組みとレポートの評点により行います。 (レポート課題) 体験した心理検査の結果とまとめ×3、まとめのレポート×1</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 当日は、HBの鉛筆2~3本、消しゴム、定規(小さいものでよい)、電卓(スマホ機能可)を持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター(コード)	40S	
クラスコード	Q	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	25名	
担当講師	サイタ ヤス アキ 税田 慶昭 北九州市立大学 文学部准教授	
日程実施時間	10月29日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 10月30日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05	
実施会場	黒崎コムシティ2階201会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 (コムシティ) ※不測の事態発生時は閉講	

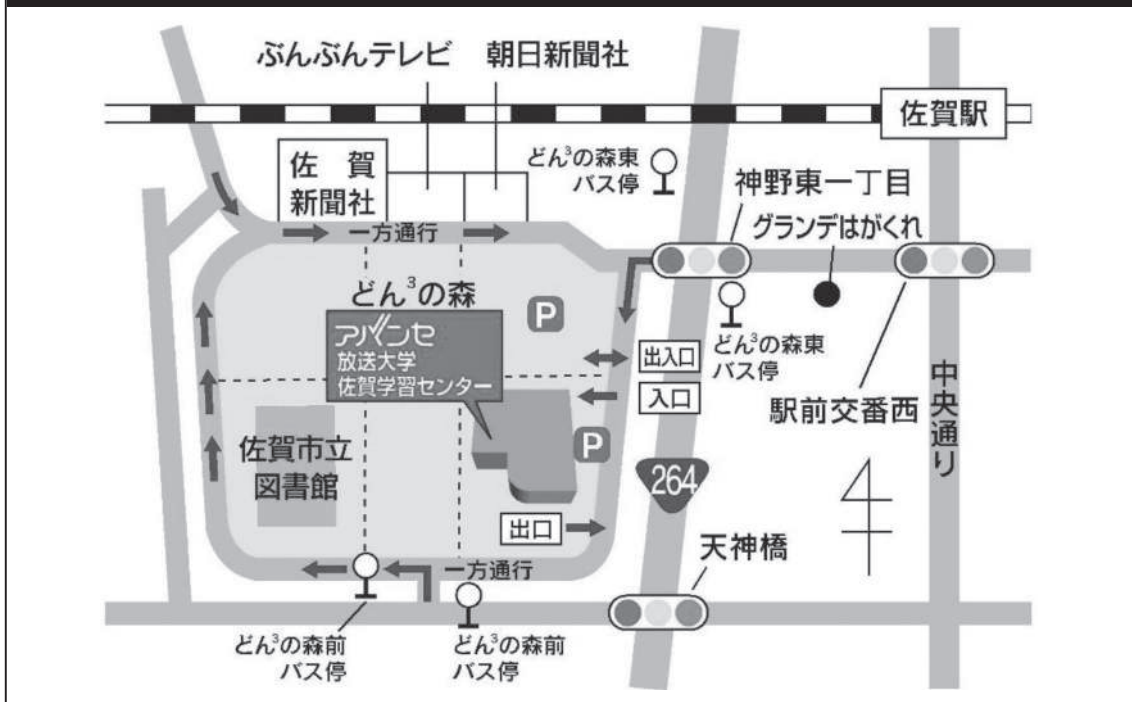
科目コード	2612011	<p>この授業では、幕末開港・明治維新时期から第一次世界大戦終結後までの日本経済の変化を、マクロ的・ミクロ的に概観します。授業では、日本経済の発展パターンおよびメカニズムの解明に重点をおくとともに、九州経済の発展とその経済史的な位置づけについても、できるだけ考察していくことにします。授業は、毎回設定したテーマに沿って、欧米・アジア経済史や現代の日本経済との関連性についても紹介しながら進めていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 近代日本経済史へのいざない ―幕末開港と開放経済への転換― 第2回 明治初期の財政・金融政策 第3回 明治初期の産業政策 第4回 大隈財政と松方財政 第5回 企業勃興と日清戦後経営 第6回 日露戦後経営と日本の植民地化 第7回 第一次世界大戦と日本の重化学工業化 第8回 大衆消費社会の成立</p> <p>【学生へのメッセージ】 近代（明治・大正期）を中心とする日本経済の長期的推移に対して理解するとともに、歴史事実の正確な把握と相対的な解釈が試みられるよう、心掛けて下さい。質問は、大いに歓迎です。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 2019年第1学期に開講した「近世日本経済史」の続きとなります。（また、2020年度第1学期に開講を予定しているながら、コロナ対策のために開講できなかった科目の内容となります。）その時の履修学生はもちろんのこと、今回初めて履修してみようという学生も、わかりやすく説明していこうと思っています。</p>
学習センター（コード）	40S	
クラスコード	Q	
科目名	近代日本経済史	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	25名	
担当講師	ワシザキ シュンタ ロー 鷲崎 俊太郎 九州大学大学院 経済学研究院准教授	
日程実施時間	11月12日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月13日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	黒崎コムシティ 2階201会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 （コムシティ） ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2612020	<p>犯罪をどう処罰するかは人間社会の古くからのテーマです。犯罪は毎日起きており、裁判に関するニュースも身近です。とくに2009年5月からは裁判員制度が開始したことにより、社会の刑事裁判に対する関心は昔より高くなったように思います。そこでこの授業では、刑事法入門と題して、刑法の基本的考え方、刑事訴訟法の目的や特徴、捜査のルールや刑事裁判の流れ、裁判員制度の概要などの学習を通じて、犯罪からの市民生活の安全を守りつつ、誤判・冤罪の発生をどう防いでいけばよいかという問題を考えてみたいと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 裁判員制度の概要 第2回 刑法の基本原則 第3回 犯罪とは何か 第4回 事例から学ぶ① 第5回 事例から学ぶ② 第6回 事例から学ぶ③ 第7回 事例から学ぶ④ 第8回 犯罪被害者の権利</p> <p>【学生へのメッセージ】 犯罪や刑事裁判はテレビドラマではよく取り上げられますが、実際にはあまり身近な問題ではないかもしれません。しかし、刑法は善悪についての基本的な道徳観を反映していると同時に、国が刑罰を濫用しないための仕組みを備えています。さらに裁判員に選ばれると、有罪・無罪を判断し、量刑をしなければなりません。市民の教養として学んでみませんか。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	40S	
クラスコード	Q	
科目名	事例から学ぶ 刑事法入門	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	310	
定員	25名	
担当講師	タ ブチ コウジ 田淵 浩二 九州大学大学院 法学研究院教授	
日程実施時間	11月26日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月27日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	黒崎コムシティ 2階201会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 （コムシティ） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

佐賀学習センター

(コード：41A)

佐賀学習センター案内図 ☎0952-22-3308



【所在地】〒840-0815 佐賀市天神3-2-11

(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター(アバンセ内))

【交通アクセス】

- JR佐賀駅から徒歩10分

JR 佐賀駅の南口から駅前中央通りを南に約 200 メートル進み「駅前交番西」交差点を右折、そのまま400メートルほど進み「神野東一丁目」交差点(国道264号線が交差)付近で左前方にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。

- JR 佐賀駅からバス

佐賀駅バスセンター2番乗り場→58番「中折・クレオパーク鍋島」行き又は59番「鍋島駅・医療センター」行きに乗車→「どん3(どんどんどん)の森前」バス停下車。(所要時間約5分)

【その他連絡事項】

佐賀学習センターの面接授業で使用する教科書は、インターネット・書店にて各自購入してください。時間がかかる場合がありますので早めに準備をお願いします。

佐賀学習センターでは昼食の注文は受付けておりませんので、各自でご準備ください。

科目コード	2601761	授 業 概 要	<p>心理学における実験的研究を3つ（ミュラー・リヤー錯視、対人魅力、情報伝達（パトレットの系列的再生））取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に、実験者または参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、統計処理を含むデータ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、8コマの授業すべてに出席し、3つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験とレポートの構成 第2回 データ分析のための統計法 第3回 実験実習1（ミュラー・リヤー錯視） 第4回 実験実習1のデータ分析とレポート作成 第5回 実験実習2（対人魅力） 第6回 実験実習2のデータ分析とレポート作成 第7回 実験実習3（情報伝達） 第8回 実験実習3のデータ分析とレポート作成</p> <p>【学生へのメッセージ】 実験を実施するためにパソコンを使用します。特別な知識や技術は必要としませんが、マウスを使う、文字を入力するといった初歩的な操作には慣れてほしいです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、できるだけパソコンで文字を打つ機会を作っておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートは、目的・方法・結果・考察を含む執筆をします。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、ルート（√）計算ができる電卓（スマートフォンのアプリも可）、USBメモリ（データ保存用）を持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 心理学実験・研究レポートの書き方—学生のための初歩から卒論まで（B.フィンドレイ 著、細江達郎、細越久美子 訳／北大路書房／¥1,430 / ISBN=9784762820465）</p> <p>【その他（特記事項）】 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験1		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	オカ ジマ イチ ロウ 岡嶋 一郎 西九州大学 子ども学部教授		
日程実施時間	10月15日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月16日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2601796	授 業 概 要	<p>医療・看護・福祉系の現場では疾患の治療や予防という医学生物学的観点だけでなく広い意味での健康の回復、維持、増進という生活や人生といった観点でのアプローチが必要になります。これをストレス対処の切り口で、社会レベルで捉えて整理した健康社会学者アントノフスキーの理論を基礎から分かりやすく解説します。グループワークを交えながら、より良い私たちの生き方・ストレスへの向き合い方、ヘルスプロモーション（健康推進）のありかたについて考えていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 健康管理の歴史と健康生成論 第2回 健康生成のメカニズムとストレス対処力SOC 第3回 ストレス対処力SOCとその測り方 第4回 SOCの形成と強化の理論 第5回 家族・家庭とSOC 第6回 仕事・職場とSOC 第7回 臨床・政策的応用の可能性 第8回 臨床・政策的応用についてのグループ討議</p> <p>【学生へのメッセージ】 保健医療福祉専門職の方から、一般の方まで、また、所属コースを問わず、様々な方の受講を歓迎します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中のグループワークの参加状況及びグループワークでの成果（提出物）により評価します。</p> <p>【教科書】 思春期のストレス対処力（山崎喜比古・戸ヶ里泰典／有信堂／¥2,530 / ISBN=9784842065816）</p>
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K		
科目名	健康生成論と ストレス対処力		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ト ガリ タイスケ 戸ヶ里 泰典 放送大学教授		
日程実施時間	10月20日（木） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月21日（金） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612046	授 業 概 要	<p>享保元年（1716）に佐賀で生まれた「葉隠」は、鍋島家（佐賀藩）の侍として泰平の世をいかに生きるかを説いた書物とも言えます。この講義では、葉隠成立の背景や葉隠がいかに読まれてきたかという歴史を学び、葉隠が説く武士道を考察し、そして、今を生きる我々が葉隠を読んでみると何を感じるのか、というところまで考えてみたいと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 はじめに－葉隠の成立と伝来－ 第2回 葉隠成立の歴史的背景1－鍋島佐賀藩の成立事情－ 第3回 葉隠成立の歴史的背景2－鍋島光茂と山本常朝－ 第4回 葉隠はいかに読まれてきたか－幕末、そして近代－ 第5回 葉隠が説く武士道－覚悟と諫言－ 第6回 天下泰平の武士道－葉隠と忠臣蔵－ 第7回 あらためて読む葉隠 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 「葉隠」が説く武士道とは何なのか。「武士道と云うは死ぬことと見つけたり」という有名なフレーズが真に意味するところとは何なのか。葉隠成立の歴史的背景を知れば、その答えがみえてくるはずです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポート課題は、「講義を受ける前と後での『葉隠』に対するあなたの印象の変化等について述べなさい」です。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 新校訂 全訳注 葉隠（上）（菅野覚明・栗原剛・木澤景・菅原令子／講談社学術文庫／¥2,200／ISBN=9784062924481） 葉隠（中） ¥2,695 ISBN=9784065116425 葉隠（下） ¥2,486 ISBN=9784065138021</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K		
科目名	武士の生き方、 「葉隠」の世界		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	21名		
担当講師	フジ イ ユウ スケ 藤井 祐介 佐賀県立 佐賀城本丸歴史館学芸員		
日程実施時間	10月29日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月30日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2601486	授 業 概 要	<p>心理検査は、知能・発達・適性・性格・対人関係・精神保健・心理診断・精神機能等について客観的に測定し理解と支援の一助とするために用いられます。本講では①心理検査の成り立ちと関連づけ「多次元共感性尺度」②実施者の在り方を兼ねて描画による知能検査「DAM」③ストレスと自己理解のために「J-SACL」を実施します。受講者は全ての授業に出席し、3つの検査の各々についてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理検査の基礎（歴史、目的、作成過程、種類、テスト・バッテリー、検査倫理、バーナム効果等） 第2回 実習1 多次元共感性尺度 第3回 多次元共感性尺度実施に関する検討とレポート作成 第4回 代表的な投影法及び知能検査講義（ロールシャッハ法・ウェクスラー法） 第5回 実習2 DAMグッドイナフ人物画知能検査 第6回 DAMグッドイナフ人物画知能検査実施に関する検討とレポート作成 第7回 実習3 J-SACL（日本語版ストレスチェックリスト） 第8回 J-SACL実施に関する検討とレポート作成</p> <p>【学生へのメッセージ】 心理検査の習得には訓練と熟練が求められるものが多くあります。その中から8校時の基礎実習によって多少は実際に使用できるものを取り上げます。個人作業、グループ討議、意見発表等、積極的に参加して下さい。</p> <p>【受講前の準備学習等】 心理検査における「信頼性」と「妥当性」について調べておいてください。他に、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートは、3つの心理検査の各々について下記内容を簡潔にまとめていただきます。 1. 目的：検査の目的を簡潔に記します。 2. 方法：検査の実施方法や留意点を簡潔に記します。 3. 結果：実習で実施した検査の結果を簡潔に記します。 4. 考察：実習で実施した検査結果を検査の目的に沿って考察します。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具を持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 心理テスト法入門 基礎知識と技法習得のために（第4版）（松原達也 編著／日本文化科学社／¥4,950／ISBN=9784821063603） 「心理テスト」はウソでした。受けたみんなが馬鹿を見た（村上宣寛 著／日経BP社／¥1,650／ISBN=9784822244460）</p> <p>【その他（特記事項）】 この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ムラク ボ マサタカ 村久保 雅孝 佐賀大学 医学部准教授		
日程実施時間	10月29日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月30日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612070	<p>機械はすべてのものづくりに必要不可欠な設備や道具です。その機械を設計・生産することを目的とするのが機械工学です。機械を設計・生産するためには、安全・安心・効率がキーワードになります。近年はコンピューター援用による様々な現象のシミュレーションが機械工学にかぎらず様々な分野、特に防災の分野でも活用されています。これらのことを理解するための解説をして、CADによるものづくり設計も実演します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 安全・安心・エコのための機械工学1 第2回 安全・安心・エコのための機械工学2 第3回 材料力学について1 第4回 材料力学について2 第5回 工学におけるコンピューターシミュレーション1 第6回 工学におけるコンピューターシミュレーション2 第7回 CAD/CAEによる設計1 第8回 CAD/CAEによる設計2</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業を理解するためには、高校卒業程度の数学の基礎的な知識が時々必要になります。わからない方が居られる場合には数学も含めて説明したいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 関数電卓（スマートフォンの無料関数電卓アプリでも可）</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	コンピューター援用工学の紹介	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	21名	
担当講師	ハギハラ セイヤ 萩原 世也 佐賀大学 理工学部教授	
日程実施時間	11月5日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 11月6日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2612097	<p>わが国の城と城下町について、古代から幕末に至るまでの変化と特徴を学びます。佐賀県は日本の城の歴史にとって極めて重要な地域であり、2日目には佐賀城跡で実際の遺構を見ながら、優れた築城技術の内容を探っていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 城の起源と武士団の根拠地（実施会場：アバンセ） 第2回 中世城館の内容と特徴（実施会場：アバンセ） 第3回 信長・秀吉の城郭観（実施会場：アバンセ） 第4回 近世城郭の土木技術－石垣の種類と変遷－（実施会場：アバンセ） 第5回 フィールド・スタディー「徹底解剖」佐賀城跡－その1（実施会場：佐賀城公園） 第6回 フィールド・スタディー「徹底解剖」佐賀城跡－その2（実施会場：佐賀城公園） 第7回 城下町の形とその意味（実施会場：佐賀大学） 第8回 現代社会と城跡－熊本城復旧の今－（実施会場：佐賀大学）</p> <p>【学生へのメッセージ】 中学校「社会」程度の日本史の流れを、基礎知識として持っておくと、受講時の理解に役立ちます。特に、鎌倉→南北朝→室町→戦国→桃山→江戸の各時代の順番を、事前に押さえておいてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 「学生へのメッセージ」をご覧ください、自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具類を持参してください。授業2日目はフィールドスタディーを行うため、歩きやすい服装で帽子を着用し、水分補給ができるものを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 授業2日目の1～2時限目のフィールド・スタディーは、佐賀城公園に現地集合・現地解散となります。細かな集合場所と時間は別途連絡します。 解散後、3時限目以降は佐賀大学での開講となりますので、それぞれ移動手段を工夫してください。 フィールド・スタディーでは、間に休憩を入れて3時間近く歩いて見学しますので、体調管理に十分気を付けてください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）</p>
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	日本の城と城下町の歴史	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ミヤタケ マサト 宮武 正登 佐賀大学 全学教育機構教授	
日程実施時間	11月5日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 11月6日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	11/5(土)佐賀学習センターアバンセ第1研修室 11/6(日)の1-2限目は佐賀城公園(佐賀県佐賀市内1)、 11/6(日)の3-4限目は佐賀大学(佐賀県佐賀市本庄町1) (案内図P112参照) ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2612038	授	中国語発音の基礎をしっかりと身につけます。日本人によく親しまれた漢詩を教材として用います。基本音節の発音練習後、日本語と共通する漢詩中の語彙等を使って、語彙の文法構造を学びます。そのなかに現代中国語の文法の基礎が入っています。漢字を使い漢詩に愛着のある日本人が、中国語を学ぶ有利さを、大いに利用した授業です。最後に中国語で音読してみましょう。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	漢詩で学ぶ 初歩の中国語		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	15名		
担当講師	フルカワ スエキ 古川 末喜 佐賀大学名誉教授		
日程実施時間	11月12日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40	業	【授業テーマ】 第1回 中国語の音節の基本構造 第2回 母音の練習 第3回 子音の練習 第4回 二音節語の練習 第5回 単語の構造 第6回 名詞、動詞、副詞などの品詞の基本 第7回 現代中国語と共通する中国古典詩(漢詩)の基本的な文法構造 第8回 中国語で漢詩を朗読する練習
	11月19日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【学生へのメッセージ】 実際に発音練習する時は、その場で二人一組になって、互いに練習しあいます。恥ずかしがらずに口をはっきり開けて大きな声で発音しましょう。大きい声のほうが早く上達します。疑問点があればどんどん質問して下さい。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。授業への積極的な取り組みの姿勢(授業中の発音練習など)を最大限考慮します。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室	要	【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具を持参してください。また辞書類の代替となるものであれば、スマホ、タブレットなども教室でも自由にお使いください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
	※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2612089	授	歴史、地形、生活などからいかにしてそのまちを読み解くかは、これからのまちづくりを考える上で重要なことです。また、それは、町を訪れることの楽しみにもなります。この授業では、様々な地域について解説しつつ、講師がこれまで20年間まちづくりに協力してきた佐賀県鹿島市肥前浜宿を題材に、そのまちの特徴を解説し、2日目は現地で実際に自分でも考えてみることに取り組み、まちを理解するための方法について理解を深めます。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	まちを読み解く		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	15名		
担当講師	ミシマ ノブ オ 三島 伸雄 佐賀大学 理工学部教授		
日程実施時間	11月12日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40	業	【授業テーマ】 第1回 まちを読み解くことの楽しさ(実施会場：アバンセ) 第2回 京都について(実施会場：アバンセ) 第3回 博多について(京都との共通点)(実施会場：アバンセ) 第4回 佐賀県鹿島市肥前浜宿の町並み(実施会場：アバンセ) 第5回 町並みを歩いて調べる(実施会場：肥前浜宿旧乗田家住宅) 第6回 伝統的建造物の調べ方(実施会場：肥前浜宿旧乗田家住宅) 第7回 まちづくりへの展開(実施会場：肥前浜宿旧乗田家住宅) 第8回 町並みまちづくりの展望(実施会場：肥前浜宿旧乗田家住宅)
	11月13日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【学生へのメッセージ】 授業2日目は、鹿島市肥前浜宿の町を実際に見ながら、そしてみんなで議論しながら考えたいと思います。実物を見ることがその理解を助けると思っています。楽しみながら考えましょう。 ※新型コロナウイルスの感染状況によって、変更する場合があります。 【受講前の準備学習等】 京都の歴史、福岡の歴史、佐賀(特に鹿島市肥前浜宿)の歴史とまちづくりについて、事前学習しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートの課題は、「鹿島市肥前浜宿の特質と活性化」です。
実施会場	11/12(土)は 佐賀学習センターアバンセ第1研修室 11/13(日)は 肥前浜宿旧乗田家住宅 (佐賀県鹿島市大村方甲115) (案内図P113参照)	概	【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、歩きやすい靴でお越しください。詳細は受講者へ別途お知らせします。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 まちを読み解く - 景観・歴史・地域づくり - (西村幸夫、野澤康 編/朝倉書店/¥3,520/ ISBN=9784254266467) まちの見方・調べ方 - 地域づくりのための調査法入門 - (西村幸夫、野澤康 編/朝倉書店/¥3,520/ ISBN=9784254266375)
	※不測の事態発生時は閉講		【その他(特記事項)】 授業2日目は、肥前浜宿で実際の町並みを見ながら行います。 ※新型コロナウイルスの感染状況によって、変更する場合があります。 見学先：肥前浜宿(「継場」他) 〒849-1322 佐賀県鹿島市浜町乙2696 https://saga-kashima-kankou.com/spot/1114 交通アクセスについては、上記ホームページをご覧ください。 現地のゲストハウスに宿泊できます。 宿泊費5000円程度(朝食代込み)、お風呂代(祐徳温泉)500円、昼食代1200円程度、夕食代2000円程度で、着替え、寝巻き、はみがき、タオル等持参です。(はみがき、タオルは現地でも入手可能です。) ※料金等は見込みですので、多少変更する可能性があります。詳細は受講者へ別途お知らせします。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.17参照)

科目コード	2612135	授 業 概 要	<p>ワープロやプレゼンソフトを使用した読みやすく伝わりやすく、なおかつ美しい文書やプレゼンテーションを実践するための原理原則を学びます。知っているようで知らない活字（フォント）の構造や扱い方、画面構成のコツを理解し、効果的で印象的な文書や画面づくりにつなげます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 タイポグラフィ 第2回 フォントの構造と組版ルール 第3回 文書と画面【縦と横】 第4回 実践1 第5回 色と装飾 第6回 図表と画像 第7回 情報の編集 第8回 実践2</p> <p>【学生へのメッセージ】 パソコンによる文書作成、会議や授業での画面プレゼン資料作成が多い人向けです。ワープロやプレゼンソフトの使い方を学ぶ講座ではありません。原理原則をしっかり理解し、正しく使いこなせることを目指します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 これまであなた自身が文書やプレゼンファイルを作成する中で、悩ましかったこと、難しかったこと、不明な点、素朴な疑問などを列記してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートにより行います。なお、両日とも講義の内容に応じた仮想素材を示し、パソコンのアプリケーション上での実践課題とします。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 U S Bメモリー（必携）、個人のノートパソコン（任意／Win/Mac不問／原則として全員に学習センターの学生用ノートPCを用意します）</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は所属コースのコース科目に該当します。</p>
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K		
科目名	読む科学と編集デザイン		
科目区分	総合科目		
ナンバリング	420		
定員	15名		
担当講師	アラキ ヒロノブ 荒木 博申 佐賀大学名誉教授		
日程実施時間	11月12日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月19日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第4研修室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612100	授 業 概 要	<p>eラーニングと電子出版を支える技術をやさしく解説するとともに、情報通信技術を活用した教育改革の最新動向について展望します。教育の質向上を図るため、アクティブ・ラーニング、反転授業、オープン教育資源（OER）、学習者コミュニティやSNSの活用、ビックデータと学習解析、デジタルクレデンシャル（電子学修証明）など新たな方略が提案されています。こうした方略に適合するために、教育情報システムや電子出版がどのような進化を遂げたのか、解説します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 導入：電子出版と電子教科書 第2回 導入：eラーニングとEdTech 第3回 教育×ICT：ブレンディッドアプローチと反転授業 第4回 教育×ICT：オープン教育資源とMOOC 第5回 教育×ICT：学習者コミュニティとSNS 第6回 教育×ICT：教育情報ビックデータと学習解析 第7回 教育×ICT：デジタルクレデンシャル 第8回 展望：これからの生涯学習基盤</p> <p>【学生へのメッセージ】 コンピュータやインターネットを使ったことのない方は事前の予習をおすすめします。また、アクティブ・ラーニングの手法を用い、グループに分かれディスカッションも行います（グループ学習）。</p> <p>【受講前の準備学習等】 授業では、ひとり1台コンピュータを使います。コンピュータやインターネットについて基礎的なリテラシー（ワープロとWEB検索）を身につけていることが必要です。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【その他（特記事項）】 身体に障がいをお持ちの方またはそれに準ずる方で、授業の記録が学修上必要と認められる方は、そのための機器の持ち込み・使用を許可します。事前に申し出てください。</p>
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K		
科目名	eラーニングと電子出版入門		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	15名		
担当講師	ヤマダ ツネオ 山田 恒夫 放送大学教授		
日程実施時間	11月26日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月27日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612062	授 業 概 要	<p>臨床心理学の立場から、子どもたちの成長や発達に関わる知見、理念、さらに保育や母子保健の現場で実際に活用されている技法などを紹介いたします。新生児から乳幼児の発達とその支援、乳幼児健診でおこなわれていること、保育園での育児支援、小学校・中学校でのメンタルヘルスプログラム、大学におけるサポートプログラムなどをテーマとして取り上げます。また実際に育児支援の技法として用いられている子育て支援プログラムを体験することで、育ちに効果的な支援方法を学習します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 発達の基礎的なとらえ方 第2回 発達心理学の諸理論①フロイト・エリクソン 第3回 乳幼児期の社会性の発達 第4回 子育て支援プログラム 1回目 第5回 子育て支援プログラム 2回目 第6回 育児にたずさわる親を支えること 第7回 発達心理学の諸理論②ピアジェ 第8回 育ちを支える様々な心理療法</p> <p>【学生へのメッセージ】 適宜グループディスカッションを行い、個別の応答をもとめることがあります。講義ごとに用いるワークシート等はその都度配布いたします。テキストとして、穴埋め式の紙媒体の資料を配布します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験、口述試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	育ちを支える心理学		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ナカ ジマ シュン ジ 中島 俊思 佐賀大学 教育学部准教授		
日程実施時間	12月10日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 12月17日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612119	授 業 概 要	<p>内閣府が2019年に発表した「AI戦略2019」では、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」として「数理・データサイエンス・AI」が挙げられ、全ての国民が育むことが謳われています。この授業では、「数理・データサイエンス・AI」の初歩を政府のWebページやExcelを利用して学びます。簡単なデータ分析や検索等を通じて、データの見方やAIに対する正しい考え方が身に付けられます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 データサイエンス・AIの概要 第2回 政府統計の総合窓口(e-Stat)と統計ダッシュボードの利用法 第3回 地図で見る統計(JSTAT MAP)および地域経済分析システム(RESAS)とその利用方法 第4回 Excelの基本操作 第5回 Excelによるグラフ作成 第6回 Excelによる基本的な統計量の計算とその意味 第7回 データ間の関係を探る(散布図、相関) 第8回 データから関係を探る方法(クロス集計)</p> <p>【学生へのメッセージ】 数理・データサイエンス・AIを全く知らない人を対象にしますので、数学やプログラミングの知識は不要ですが、パソコンの基本的な操作(キーボードによる文字入力、マウス操作など)が行えるのが望ましいです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、毎回の授業中における課題への取り組み状況および小テストによって行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 スッキリわかる確率統計一定理のくわしい証明つきー(皆本晃弥 著/近代科学社/¥2,970 / ISBN=9784764904835)</p>
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	データサイエンスの基礎		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	310		
定員	15名		
担当講師	ミナ モト テル ヤ 皆本 晃弥 佐賀大学 理工学部教授		
日程実施時間	12月17日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 12月18日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第4研修室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612054	授	<p>人生100年の時代を迎え、多様な生活が認知されるようになってきました。しかし、健康問題を抱える患者やその家族の大切な日常に対する思いや望みが必ずしも尊重されているとは言えません。この科目では、看護職者が患者やその家族がおかれている状況を理解し、支援するための方法について基本的な考えをもとに学習します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 患者のセルフケアを支援する－基礎編－（オレム看護論） 古賀明美 第2回 患者のセルフケアを支援する－応用編－（オレム看護論） 古賀明美 第3回 慢性疾患患者の理解（病みの軌跡モデル） 古賀明美 第4回 慢性疾患患者の支援（病みの軌跡モデル） 古賀明美 第5回 ストレス・コーピング 熊谷有記 第6回 Advance Care Planning 熊谷有記 第7回 クリティカル領域における終末期ケア 武富由美子 第8回 クリティカル領域におけるコンフォートケア 武富由美子</p> <p>【学生へのメッセージ】 難しいと思われがちな看護の理論や概念について、事例を基に学習をすすめます。看護職の皆さんが体験されている困難な事例において、解決策を見出すヒントになれば幸いです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポート、グループワークの評点により行います。</p>
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K		
科目名	看護学への招待		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	古賀明美 佐賀大学医学部看護学科教授 熊谷有記 佐賀大学医学部看護学科准教授 武富由美子 佐賀大学医学部看護学科講師(特定)		
日程実施時間	1月7日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 1月8日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		
		業	<p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 オレム看護論 看護実践における基本概念 第4版（ドロセアE.オレム 著、小野寺杜紀 訳/医学書院/¥4,620 / ISBN=9784260006064） 慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル（ピエールウグ編、Pierre Woog 原著、黒江ゆり子、市橋恵子、實田穂 訳/医学書院/¥2,970 / ISBN=9784260341721） 看護実践に活かす中範囲理論 第2版（野川道子 編著/メヂカルフレンド社/¥4,620 / ISBN=9784839216122） コルカバ コンフォート理論 理論の開発過程と実践への適用（キャサリン・コルカバ 著、太田喜久子 監訳/医学書院/¥3,520 / ISBN=9784260005654）</p> <p>【その他（特記事項）】 本科目は、看護職者を対象とした内容になっています。</p>
		概	
		要	

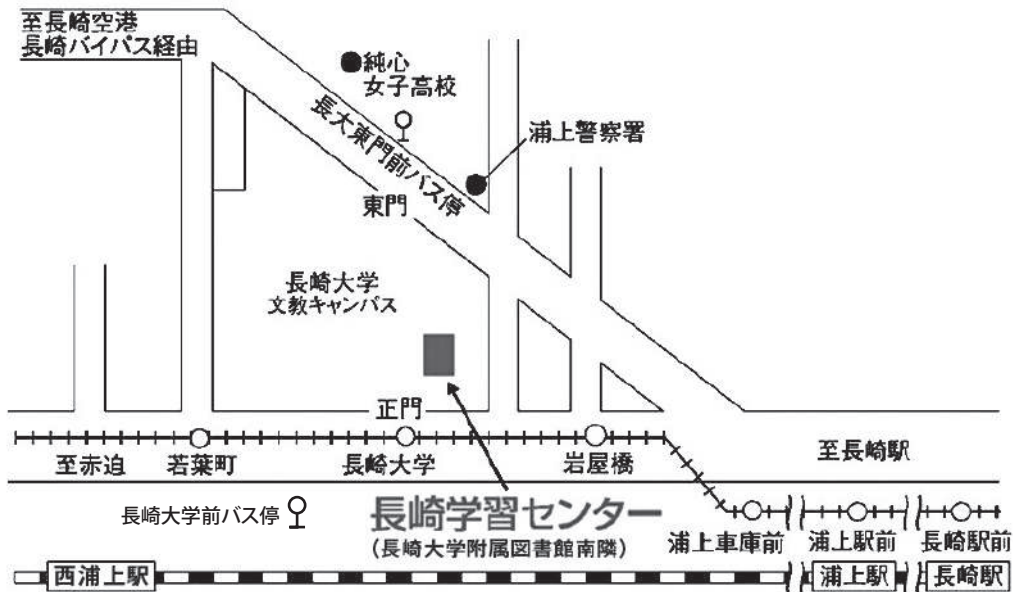
科目コード	2612127	授	<p>発酵は微生物の能力を生かした生産技術の一つです。どうして微生物は発酵現象を引き起こすのでしょうか？微生物の種類や特徴を学びながら発酵に関する理解をより深めましょう。また、お酒は微生物が発見されるずっと昔から我々の生活の密接に関わってきています。そのお酒を造る現場（蔵元）を見学して、微生物が持っている素晴らしい能力を感じてください。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 微生物とは？（実施会場：アバンセ） 第2回 微生物と発酵の関係性（実施会場：アバンセ） 第3回 発酵食品その1（実施会場：アバンセ） 第4回 発酵食品その2（実施会場：アバンセ） 第5回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第6回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第7回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第8回 蔵元見学（実施会場：基山商店）</p> <p>【学生へのメッセージ】 「発酵」という言葉はよく耳にしますが、その本質は何でしょうか？微生物が引き起こす様々な現象を「発酵」というキーワードを基に考えていきましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 身近な発酵食品に関して調べておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポート課題は、「微生物にとっての発酵とは何か？」です。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具を持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 授業2日目は、基山商店で行いますので、現地集合、現地解散となります。利き酒をするので公共交通機関を利用してください。自家用車の方は利き酒はできません。見学先：基山商店 〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦1511 https://www.kihotsuru.com/ 交通アクセスについては、上記ホームページをご覧ください。</p> <p>「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）</p>
学習センター（コード）	41A		
クラスコード	K		
科目名	微生物による発酵とは？		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	310		
定員	15名		
担当講師	コバヤシ ゲン タ 小林元太 佐賀大学 農学部教授		
日程実施時間	1月7日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 1月8日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	1/7（土）は 佐賀学習センターアバンセ第2研修室 1/8（日）は 基山商店 （佐賀県三養基郡基山町大字宮浦151） （案内図P114参照） ※不測の事態発生時は閉講		
		業	
		概	
		要	

長崎学習センター

(コード：42A)

長崎学習センター案内図

☎095-813-1317



【所在地】〒852-8521 長崎市文教町1-14(長崎大学文教キャンパス内)

【交通アクセス】

- JR長崎駅・浦上駅から(長崎駅から約20分、浦上駅から約10分)
 - ・路面電車 ▶ 1番・3番系統「赤迫」行き、「長崎大学」下車 ▶ 徒歩約3分
 - ・長崎バス ▶ 1番系統「滑石」「時津」「長与」方面行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分
 - ・長崎県営バス ▶ 「滑石団地」行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分
- JR(長与経由)▶「西浦上」下車 ▶ 徒歩約15分
- 長崎空港から(長崎空港4番乗場)
 - ・長崎県営バス ▶ 「昭和町・浦上経由 長崎」行き(約45分)「長大東門前」下車 ▶ 徒歩約5分
 - ・長崎バス ▶ 「住吉・道ノ尾経由 長崎」行き(約55分)「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分

【その他連絡事項】

放送大学専用の駐車場はありませんので、原則公共交通機関を利用してください。

※近隣に有料駐車場有。また、土日に関り長崎大学構内に有料で駐車できます。

長崎駅近隣のホテル案内は長崎学習センターウェブサイトに掲載しております。

長崎学習センター窓口では、面接授業の教科書は販売しておりません。(印刷教材は除く。)

科目コード	2612178	授 業 概 要	<p>日本人の平均寿命はどんどん延び、女性は87.74歳で世界1位、男性は81.64歳で第2位となり、男女とも9年連続で寿命が延びています。特に女性は男性に比べて平均寿命で6歳以上も寿命が長く、単に長生きするだけでなく、心身ともにできるだけ健康に生活するための健康寿命を達成できるための人生計画が必要になってきます。この授業では、女性と家族のライフステージごとの健康課題について、人生100年時代の視点で概観します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 女性のライフステージの歴史的変遷と健康 第2回 人生100年とは？ 第3回 幼児期・思春期・青年期の健康課題 第4回 成熟期の健康課題1 第5回 成熟期の健康課題2 第6回 更年期の健康課題 第7回 高齢期の健康課題 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 “私たちはまだ誰も経験していない”人生100年時代”について、これまでやこれからのことについて講義やディスカッションを通して共に考えていきたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	人生100年時代の女性の健康		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ミヤハラ ハルミ 宮原 春美 長崎大学名誉教授		
日程実施時間	10月22日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 10月23日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612216	授 業 概 要	<p>デザイン思考は、価値観が多様化する中で、新しいイノベーションの創出方法として注目されています。この講義ではデザイン思考によるイノベーション創出に関するプロセスを学び、長崎県での新しい観光コンテンツの開発をグループワークの中で実践し、デザイン思考によるイノベーション創出の考え方をより深く理解していただきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 オープニング デザイン思考とは 第2回 顧客を定義する 第3回 顧客に共感する 第4回 アイディアを発想する 第5回 ビジネスに仕上げる(1) 第6回 ビジネスに仕上げる(2) 第7回 ラピッドプロトタイピング 第8回 プレゼンテーション・振り返り</p> <p>【学生へのメッセージ】 この講義はPBL (Problem Based Learning) 形式で、私が一方的に知識をお伝えするのではなく、皆さんがチームとなって私がお伝えする知識を活用しながら価値創造を行います。ただ、講義を受けるだけではなく、自らも発言する方、人の意見を傾聴できる方の参加を求めます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 この講義では長崎県での新しい観光コンテンツの開発をテーマに取り組みます。長崎県の観光の現状や我が国の観光の現状を自治体、観光庁のホームページなどで事前学習しておくことをお勧めします。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、グループワークでの成果(提出物)と授業中のグループワークへの参加状況により評価します。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	デザイン思考入門		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ニシムラ ノブヒコ 西村 宣彦 長崎大学 人文社会科学域(経済学系)教授		
日程実施時間	10月22日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 10月23日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2601761	授	心理学実験の基本的手法を学ぶことは、人の心を科学的に探究する技術を理解し、心理学の学びを深めるためにも重要です。この授業では、3つの心理学実験（ミュラー・リヤー錯視、心理尺度法、目撃証言）を取り上げます。それらの心理学実験を通して、データの分析とレポートの書き方の基礎を習得します。受講生の皆さんは、8コマの授業すべてに出席し、3つの実験すべてのレポートを提出する必要があります。
学習センター（コード）	42A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験1		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	マエハラ ユキオ 前原 由喜夫 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)教授		
日程実施時間	11月12日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10	業	【授業テーマ】 第1回 心理学実験の基礎とレポートの書き方 第2回 心理学統計法とExcelの使い方の基礎 第3回 実験：ミュラー・リヤー錯視 第4回 データの分析とレポートの作成 第5回 実験：心理尺度法 第6回 データの分析とレポートの作成 第7回 実験：目撃証言 第8回 データの分析とレポートの作成
	11月13日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		【学生へのメッセージ】 かなり忙しい授業になるとと思いますので、心して臨んでください。データの分析にはExcelを使いますので、事前にExcelの基本的な使い方を勉強しておいてください。
			【受講前の準備学習等】 実習課題の内容についてあらかじめ調べておく必要はありません。パソコンの基本的な操作はできるようにしておいてください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 なお、提出されたレポートの写しを後日返却します。
実施会場	長崎学習センター 実習室	要	【受講者が当日用意するもの】 必須ではありませんが、USBメモリを持って来ると便利かもしれません。
	※不測の事態発生時は閉講		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会認定心理士資格認定委員会 編／金子書房／¥2,750 / ISBN=9784760830312） 【その他（特記事項）】 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。 いずれの科目からでも受講可能です。 なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。

科目コード	2612275	授	我々の身のまわりには、意外にもたくさんの「毒」があります。毒を正しく理解して、どの様な毒がどの様なものに含まれ、どの様にしてその毒作用を発現するのかを学びます。そして、毒を通して我々（動物）の身体の仕組みについても理解します。
学習センター（コード）	42A		
クラスコード	K		
科目名	身近にある毒を知る		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ヤマシタ キミヒロ 山下 樹三裕 長崎大学名誉教授		
日程実施時間	11月12日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10	業	【授業テーマ】 第1回 毒とはどういうもの？ 第2回 植物由来の毒（1） 第3回 植物由来の毒（2） 第4回 食用物に含まれる毒 第5回 キノコの毒 第6回 動物由来の毒（1） 第7回 動物由来の毒（2） 第8回 まとめ
	11月13日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【学生へのメッセージ】 意外なものにも「毒」が含まれていることがあります。毒を正しく知れば、闇雲に恐れることはなくなります。専門用語も少し出てきますが、できるだけ分かりやすく解説します。分からないことが出てきたら、授業中に質問するなど積極的に授業に参加してください。
			【受講前の準備学習等】 自分が知っている毒を持つ植物や動物について、受講前に少し調べて下準備をしておくこと、より興味を持って学習できます。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	長崎学習センター 講義室	要	【受講者が当日用意するもの】 筆記用具
	※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 毒性学入門（藤田正一（監訳）／技報堂出版／¥3,300 / ISBN=476550221X） 毒性学：生体・環境・生態系（藤田正一（編）／朝倉書店／¥10,780 / ISBN=9784254460223）

科目コード	2612160	<p>内容：プログラミング初心者のための、プログラミング環境「Scratch」を用いて、まず、プログラミングとは何かについて、演習しながら学びます。次に、人工知能などでも利用されることが多い Python を演習しながら学びます。その後、これらの言語を中心に、学んだことを誰かに伝えていく「教え方」について、各自の提案をレビューしながら学びます。</p> <p>対象：プログラミングを学んだことがない人、学んだことがないのに、教えることになる可能性がある人、学ぶことになる子どもたちの保護者。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	プログラミングの学び方と教え方	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	210	
定員	24名	
担当講師	タツ ミ タケ オ 辰 己 丈 夫 放送大学教授	
日程実施時間	11月19日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月20日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	
		<p>【授業テーマ】 第1回 プログラミングの考え方と始め方 第2回 Scratchを利用して基本的なプログラミング 第3回 Pythonを入門 第4回 Pythonを使ったプログラミング応用 第5回 さまざまなプログラミング言語と比較してScratchとPythonの特徴を考える 第6回 プログラミング機材の設定と使い方 第7回 プログラミング教育法の評価 第8回 学習結果のレビュー</p> <p>【学生へのメッセージ】 履修に際しては、課題に取り組むために、自宅にパソコンがあることが必要です。Windows 8.1、Windows 10、あるいは、MacOS Mojave 以降、あるいは Chromebook で、Google Chrome をインストールしておいてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 システムWAKABAにログインできるかどうかを確認しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 キャンパスメールを教室でも読み書きできるようにしておいてください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 キーワードで学ぶ最新情報トピックス2022(佐藤義弘、辰己丈夫、中野由章監修/日経BP/¥1,430 / ISBN=9784296070220) 書店やネットショッピングなどで入手できます。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>

科目コード	2612283	<p>日本には現在111の活火山があり、これは米国、インドネシアに次ぎ世界で3番目に多い数です。様々な恵みをもたらす火山は日本人にとってとても身近な存在と言えますが、火山噴火や災害の実態についてはあまりよく知られていないのが実情ではないでしょうか。この講義の前半では火山の基礎とともに近年注目されている破局噴火について、後半では噴火災害から30年余を経過した雲仙普賢岳噴火を振り返ること等を通じて火山噴火への対応の在り方を学びます。そして最後に、災害伝承の大切さや火山と人との共生について考えます。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	火山と災害	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ウマ コシ コウ ドウ 馬 越 孝 道 長崎大学 総合生産科学域(環境科学系)教授	
日程実施時間	11月19日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月20日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	
		<p>【授業テーマ】 第1回 火山を知る(1) 地球の構造・火山活動の起源・マグマの成因 第2回 火山を知る(2) 火山の地形と構造・溶岩の種類と性質 第3回 火山を知る(3) 噴火のしくみ・様々な噴火現象・火山災害 第4回 破局噴火(超巨大噴火)とは 第5回 1990-1995年雲仙普賢岳噴火を振り返る 第6回 火山噴火への対応事例(1986年伊豆大島噴火など) 第7回 災害の伝承・火山との共生 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 この講義では、火山とその災害に関する様々な知識を身につけるとともに、雲仙普賢岳噴火など過去の事例をもとに、噴火への対応の在り方や伝承の大切さについて考えます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>

科目コード	2612186	授	健康寿命とは、健康上の問題がなく日常生活を支障なく送れる期間のことです。厚生労働省は、日本人の健康寿命が延びてきている要因の一つとして、平均寿命の延びや要介護に繋がりがやすい脳梗塞などの脳血管疾患や関節疾患の減少を挙げています。そのためには、発症からなるべく早期に診断し、治療を開始することがとても重要です。体のだるさや関節の痛み、疲れのせいだと思いこんで、放置していませんか？本講座では放置されがちな症状や病気をご紹介しますので、思い当たるものがあれば、受診に繋げることができます。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	健康寿命の延長に向けて		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320	業	【授業テーマ】 第1回 免疫が自分を攻撃する病気とは？(一瀬) 第2回 慢性関節痛の原因は～関節リウマチを中心に～(岩本) 第3回 この症状は膠原病？～早期診断のために重要なポイント～(清水) 第4回 発熱の原因は～成人発症スチル病、家族性地中海熱を中心に～(古賀) 第5回 生活習慣病と骨粗鬆症(堀江) 第6回 身近な甲状腺疾患(池岡) 第7回 成人に身近な代謝異常～糖尿病～(赤澤) 第8回 万病の元「肥満」とその対策(鎌田)
定員	24名		
担当講師	鎌田 昭江 長崎大学病院糖尿病診療支援センター講師 一瀬 邦弘 長崎大学生命医科学域(医学系)教授 岩本 直樹 長崎大学病院第一内科講師 古賀 智裕 長崎大学生命医科学域(医学系)助教 清水 俊匡 長崎大学病院臨床研究センター助教 堀江 一郎 長崎大学病院第一内科講師 赤澤 諭 長崎大学生命医科学域(医学系)助教 池岡 俊幸 長崎大学病院第一内科助教		
日程実施時間	11月26日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月27日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		
		概	【学生へのメッセージ】 人生100年時代を生きる80歳の自分が、100歳までの20年間をどう過ごすか想像してみてください。生き生きしていますか？未来の自分が心も体も元気であるために、この講座をきっかけに自分の健康について考えてみませんか？
		要	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
		授	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		業	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2612267	授	従来は、三体問題に代表されるような複数の物体が相互作用を及ぼす物理現象は、完全に解き明かすことができない問題と言われてきました。しかし、現在のコンピュータはこの現象を擬似的に再現できるレベルにまで能力が向上していますので、許容できる誤差範囲内でその解を得ることが可能となりました。 本講座では、ビジュアルプログラミング環境 SCRATCH 上で物体の動きを計算する演習に取り組み、重力や風の影響を加味する方法およびその動きを視覚的に表現する技術を習得します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	SCRATCHで 物理現象を再現		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320	業	【授業テーマ】 第1回 PowerPointで手動アニメーション(丹羽) 第2回 Excelで自動アニメーション(鈴木) 第3回 SCRATCH入門(上繁) 第4回 物体移動の軌道計算(鈴木) 第5回 応用例の紹介(上繁) 第6回 風向と風速の影響(鈴木) 第7回 モンキーシューティング(上繁) 第8回 発表(鈴木/丹羽)
定員	24名		
担当講師	丹羽 量久 長崎大学ICT基盤センター教授 上繁 義史 長崎大学ICT基盤センター准教授 鈴木 斉 長崎大学人文社会科学域(経済学系)講師		
日程実施時間	11月26日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月27日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講		
		概	【学生へのメッセージ】 SCRATCHによるプログラミングは、難しいように思われるかもしれませんが、小学校でのプログラミング教育にも使用されているものですので、これまでプログラミングを一切してこなかった方でも安心して受講できます。
		要	【受講前の準備学習等】 SCRATCH の概要を把握されたい方は、NHK for Schoolで提供される「Why!? プログラミング」を視聴しておくといいです。 https://www.nhk.or.jp/school/sougou/programming/
		授	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		業	【受講者が当日用意するもの】 SCRATCHで作成したプログラム関連の成果物はクラウド上に保存することもできます。ご自身のUSBメモリに保存して持ち帰ることも可能です。 パソコンは、学習センターにもありますが、ノートパソコン(Windows)をお持ちの方は、使い慣れているご自身のノートパソコンを持参してください。ノートパソコンを持参される方は、インターネット(有線)へ接続します。LANポートがないパソコンの方はLANアダプターをご持参ください。また、ウイルス対策ソフトがインストールされ、ウイルス定義ファイルを適切に更新し期限切れなく機能しているノートパソコンをご持参ください。 なお、ノートパソコンを持参の際は情報セキュリティ研修(学生用)を受講しておく必要があります。システムWAKABAの学内リンク内にある自己学習サイトから情報セキュリティ研修(学生用)を受講後、修了証を当学習センターへ提出してください。
		授	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2612194	授 業 概 要	<p>毎日のように悲惨な「児童虐待」事例がマスメディアによって報道されています。また、その中には児童相談所等の行政による対応の方法が問題視されていることも多々あります。一方で、我々は社会の一員として、児童虐待の実態、それに対する行政の対応、社会からの関わり、また、被虐待児の状態を十分に理解しているのでしょうか。今回は、「児童虐待」に焦点を当て、現状を知るとともに、社会としてなにができるのかを一緒に考えてみましょう。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 児童虐待とは（概説）（柿田） 第2回 児童相談所の虐待対応について（樋口） 第3回 児童虐待への法的対応について（鮎川） 第4回 関係機関の児童虐待対応について（樋口） 第5回 被虐待児への精神的対応について（1）（加来） 第6回 被虐待児への精神的対応について（2）（加来） 第7回 児童虐待対応としての保護者支援～ペアレント・トレーニングを中心に～（柿田） 第8回 まとめと質疑応答（柿田）</p> <p>【学生へのメッセージ】 講義内容は多岐に渡り、専門用語が頻出しますが、平易な言葉を用いて理解できるようにします。講師によっては、講義中にミニレポートやディスカッションを行う可能性もあります。なお、講義の内容に心理的負担を感じられる方にはお勧めできません。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、各種メディアの情報等にも関心を持ち、自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 2021年度第2学期に開講した「児童虐待を多面的に科学する」と一部内容が重複します。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	児童虐待の理解と対応		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	310		
定員	24名		
担当講師	カキタ タカコ 柿田 多佳子 長崎純心大学人文学部こども教育保育学科准教授 ヒグチ マサミ 樋口 昌巳 長崎県教育委員会スクールカウンセラー アユ カワ メグミ 鮎川 愛 弁護士 カク ヨウ イチ 加来 洋一 長崎こども・女性・障害者支援センター所長		
日程実施時間	12月3日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月4日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612232	授 業 概 要	<p>一般的に日本画と呼称される、伝統的でアカデミックな表現方法を概観し、より深い理解のために実技を行います。はじめに描画材、支持体の特徴・性質を学びます。次に、講師の用意した植物の線描を転写し墨で線を描き、片ぼかし技法を用いながら、明暗をつけ、画面全体のバールを合わせます。次に、箔の性質を学習後、砂子表現を実際に行います。最後に、講評を行い、制作における到達点と課題について、それぞれ考察を行います。受講生の皆さんは、8コマの授業すべてに出席する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 画材とその性質について 第2回 転写 第3回 骨描き 第4回 墨による彩色 第5回 絵具を用いた彩色 第6回 金属箔・砂子の性質について 第7回 砂子表現 第8回 講評と考察：到達点と今後の課題</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業では取返しのつかない工程があります。真摯な姿勢で臨んでください。授業当日に提示した準備すべきものがない場合は制作を行うことができません。膠、ドーサ、砂子筒、砂子筆、箔を用意する必要はありません。当日準備するものは、安価なもの、代用品で可です。日本画の画材をお持ちであれば持参してかまいません。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容についてあらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 色紙（鳥の子、242×272mm）、タトウ紙（制作後、色紙を包むために使用します）、墨（墨汁は不可）、硯、絵具皿（丸皿小8cm程度を3枚以上、プラスチックは不可）、彩色筆（安価なものでも可、2本以上）、面相筆（お持ちであれば1本以上）、筆洗（コップ等で可）、雑巾、文鎮、赤ボールペン、汚れてもよい服装、ハンドスプレー噴霧器、筆記用具、落款（任意） なお、岩絵具と胡粉は学習センターで用意しますが、お持ちであれば、岩絵具の緑青13番～白番（15g）を用意してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	伝統的絵画表現		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	11名		
担当講師	マキノ カズ ホ 牧野 穂 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)准教授		
日程実施時間	12月3日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月4日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612208	<p>教育相談の意義と役割について概観した後、すべての児童生徒に対して行う心理的援助サービスの三段階について具体的事例を挙げながら理解を深めます。また、スクールカウンセラーの学校での役割について、教職員や保護者、専門機関等との連携もふまえて学びます。その際、アセスメントとして主観的データ（観察・面談）だけでなく客観的データ（質問紙等）も活用できるように演習を行います。各回、グループや個人での演習を交えながら児童生徒理解や教育相談の方法についての理解を深めます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 教育相談の意義と役割 第2回 児童生徒理解の方法 第3回 児童生徒の諸問題に関する近年の傾向について 第4回 暴力行為、いじめ問題への理解と対応 第5回 不登校児童生徒への理解と対応 第6回 特別支援教育（発達障害への理解と対応） 第7回 スクールカウンセリングの実際 第8回 授業の総括</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業は講義だけでなく、演習を交えて行います。演習は個人での作業だけでなく、グループでのディスカッションや活動も多く含みます。全員参加型の授業となりますので、積極的な参加をお願いします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	42A	
クラスコード	K	
科目名	スクールカウンセリング	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	12名	
担当講師	ウチノナルミ 内野成美 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)准教授	
日程実施時間	12月10日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月11日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2612240	<p>伝説的な陰陽師として、現代もアイドル的な存在である安倍晴明は、実際はどのような人物であったのでしょうか。この授業では、史料や時代背景を踏まえて晴明の実像を知り、その後、彼のイメージがなぜ膨らんでいったのかを最新の研究に基づいて理解します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 はじめに「安倍晴明」はどのような人物とされるか 第2回 陰陽道の成立と10世紀の転換 第3回 晴明以前の安倍氏 第4回 晴明、陰陽師になる 第5回 官人陰陽師としての晴明 第6回 陰陽師としての活動（1）一天文密奏や古い・呪術・祭祀 第7回 陰陽師としての活動（2）一日時勘申・方違えなど 第8回 おわりに一伝説の陰陽師の誕生</p> <p>【学生へのメッセージ】 安倍晴明の実像は現代のイメージとは異なりますが、別の意味で魅力的な人物で、貴族社会が転換する10世紀を象徴する人物とも言えます。時代を生きた人物としての晴明像をお伝えできればと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 細井浩志「新しい安倍晴明像」の始まり（『現代思想』2021年5月臨時増刊号）、もしくは細井浩志「古代における晴明像の形成」（林淳編『新陰陽道叢書 第五巻 特論』名著出版、2021年）を事前に読んでおくと、授業が理解しやすいはずですよ。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・陰陽道・修験道を考える（現代思想5月臨時増刊号）（細井浩志／青土社／¥3,080／ISBN=9784791714131） 「新しい安倍晴明像」の始まり（細井浩志） ・新陰陽道叢書 第五巻 特論（林淳【編】／名著出版／¥9,900／ISBN=9784626018786） 古代における晴明像の形成（細井浩志） ・安倍晴明—陰陽師たちの平安時代（繁田信一／吉川弘文館／¥1,870／ISBN=9784642056151） ・平安貴族と陰陽師—安倍晴明の歴史民俗学（繁田信一／吉川弘文館／¥2,530／ISBN=9784642079426） ・安倍晴明 陰陽の達人なり（斎藤英喜／ミネルヴァ書房／¥2,860／ISBN=9784623042555）</p>
学習センター（コード）	42A	
クラスコード	K	
科目名	陰陽師安倍晴明の実像について	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ホソイヒロシ 細井浩志 活水女子大学 国際文化学部日本文学学科教授	
日程実施時間	12月10日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月11日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2612143	<p>複数の項目から構成されるデータ、すなわち多変量データの様々な解析法の総称である多変量解析法の使い方について学びます。自然科学のみならず社会科学の多くの分野で用いられている多変量解析法ですが、その数学的理論の厳密性というより、むしろその本質的なアイデアの理解に焦点を当て、解説します。そのため、種々のデータを用いて実際に各手法により分析を行い、それらの手法の習得を目指します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 単回帰分析と重回帰分析 第2回 回帰分析の実践 第3回 主成分分析 第4回 主成分分析の実践 第5回 判別分析 第6回 判別分析の実践 第7回 因子分析 第8回 ロジスティック回帰分析</p> <p>【学生へのメッセージ】 多変量解析法では、数学も使いますが、この授業では各分析方法の内容が理解できるように必要な、初歩的な範囲にとどめます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 基本的な統計学の基礎知識、例えば分散、共分散およびそれに関する事項についての基礎知識は修得しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 ノートパソコン（Microsoft Excelインストール済み）をお持ちの方は、ご自身のノートパソコンを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 すぐわかる多変量解析（石村光資郎・石村貞夫／東京図書／¥2,420／ISBN=9784489023361）</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	42A	
クラスコード	K	
科目名	多変量解析入門	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	220	
定員	20名	
担当講師	マルヤマ ユキヒロ 丸山 幸宏 長崎大学 人文社会科学域（経済学系）教授	
日程実施時間	12月17日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月18日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2612259	<p>毛氈（もうせん）の中でも華やかな赤色の緋毛氈は、長崎くんちの庭みせ、ひな祭りなどのハレの場の敷物として使用されることが多く日本文化の中に定着していますが、授業で扱う毛氈はこの伝統文化のもととなった唐人貿易の輸入品です。授業では毛氈の輸入状況を確認し、モノと文化の受容をみていきます。そして、毛氈を長崎の地場産業にしようとした国策と中国から導入された毛氈技法を考察します。また、毛氈の原材料の羊毛を使った（簡単な）作品を製作し、長崎大学の薬用植物園では毛氈染色材の樹木などを見学します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 毛氈とは？：使用例・特徴・明治期の輸入毛氈と現代の毛氈の観察 第2回 毛氈の原材料「羊毛」：繊維の特徴・特徴を活かした作品製作 第3回 長崎唐人貿易品「毛氈」の実態：量と内容 第4回 毛氈文化の受容：中国の風説書「清俗紀聞」「長崎市史」の考察 第5回 導入された技法：長崎歴史文化博物館蔵の製造書を読み解く 第6回 染料の樹木見学・長崎の地場産業として育成しようとした毛氈 第7回 地場産業育成に必要な環境：立地・職人町との関係・綿羊飼養 第8回 まとめ・SDGs？令和版毛氈作り</p> <p>【学生へのメッセージ】 毛氈＝もうせん＝は、長崎弁で「もう〇〇をしない」という意味ですが、長崎の毛氈の歴史と文化について学んでいきましょう。羊毛を使った製作では、作ること、使うことを楽しみましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 身のまわりにひな祭りの敷物の緋毛氈、書道の下敷、フェルト製品があれば、触れてみておいて下さい。様々な繊維製品も触れてみて違いなどを感じておいて下さい。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具等</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 長崎毛氈モノ語り 近世期の物質文化の受容と技術の導入（砂崎素子／長崎文献社／¥1,650／ISBN=9784888513715）</p>
学習センター（コード）	42A	
クラスコード	K	
科目名	江戸時代の長崎の緋毛氈	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	スナサキ モトコ 砂崎 素子 長崎毛氈研究所所長／ 長崎大学非常勤講師	
日程実施時間	12月17日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月18日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター講義室及び 長崎大学薬学部附属薬用植物園 長崎市文教町1-14 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2602164	<p>心理学の基礎的な実験3種を行います。皆さんはそれらの実験に実験者及び参加者(協力者)として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学研究法と心理学実験 第2回 データ整理とレポート作成方法 第3回 「大きさの錯視」:実験 第4回 「大きさの錯視」:データ整理とまとめ 第5回 「自由再生による記憶の系列位置効果」:実験 第6回 「自由再生による記憶の系列位置効果」:データ整理とまとめ 第7回 「要求水準」:実験 第8回 「要求水準」:データ整理とまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコンの操作(Word, Excel等)は習得されていることを望みます。データ保管用にUSBメモリを持っていると便利です。レポート作成用としてノートパソコンを持参しても構いません。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ、ノートパソコン(レポート作成に必要な方、必携ではありません。)</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目:心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	カク ヒデ トシ 加来 秀俊 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)准教授	
日程実施時間	12月24日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月25日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
実施会場	長崎学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2612151	<p>韓国・朝鮮は日本からもっとも近い国であり、その言語や文化も日本と似通っている部分が多いです。他方、韓国・朝鮮語の文字(ハングル)は日本語とは全く異なり、社会的・文化的にも日本と異なる部分も少なくないのは事実です。この授業では、言語の基本的な構造を理解し、挨拶文などを読むようになることを第一の目標とし、さらに韓国・朝鮮の社会や文化についても学習し理解を深めることを第二の目標とします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ハングルの基礎を学ぼう(母音) 第2回 ハングルの基礎を学ぼう(子音) 第3回 ハングルの基礎を学ぼう(終声) 第4回 街中で見られるハングルを読んでみよう 第5回 韓国・朝鮮語で挨拶してみよう 第6回 韓国・朝鮮語で自己紹介してみよう 第7回 社会と文化について学ぼう(暦、通過儀礼、食文化) 第8回 学んだことを確認しよう(総まとめ)</p> <p>【学生へのメッセージ】 韓国・朝鮮語は意外にも日本語との違いが多く、初めは戸惑ってしまう方も多いかもかもしれません。しかしその難しさを克服すると、非常に興味深い言語文化が皆さんを待っています。一緒に頑張っていきましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 インターネットなどには韓国・朝鮮語に関する多くの情報が載せられています。本授業は入門的な授業ですが、事前に学習しておく、授業の理解度が深まると思います。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目:外国語」に該当します。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	韓国・朝鮮の言語と文化	
科目区分	基盤科目:外国語	
ナンバリング	110	
定員	24名	
担当講師	シンザト ル リ コ 新里 瑠璃子 九州大学 韓国研究センター学術協力研究員 /長崎外国語大学非常勤講師	
日程実施時間	1月7日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 1月8日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

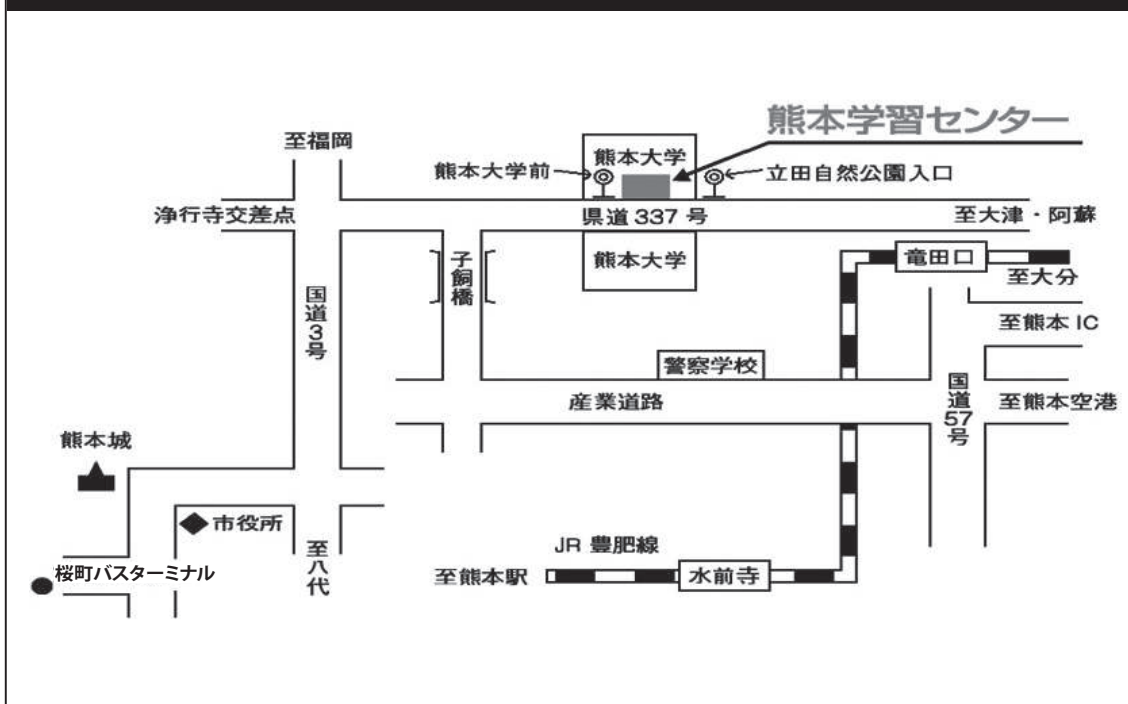
科目コード	2612224	授 業 概 要	<p>SDGsの概要とそれを実現するために必要な考え方を学び、日本のエネルギー需給から将来の私たちの暮らしを考えます。そのために、地球温暖化の現状把握、日本のエネルギー需給の特徴、日本のエネルギー需給の将来計画、カーボンニュートラルな社会に向けた取組み、九州・長崎の未来を再生可能エネルギーから考える、被爆地から原子力を考えることを通して、自らの暮らしや社会を考えます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 SDGsとは？：SDGsの概要を知り、その達成に必要なことを考える 第2回 若者が世界を動かす：地球温暖化の現状とそれへの対応 第3回 エネルギーから見た日本の現状：エネルギー白書からエネルギー需給の特徴を知る 第4回 未来のエネルギー社会を考える：日本のエネルギーの将来計画を描く 第5回 カーボンニュートラルな社会に向けた取組みを考える 第6回 九州・長崎の未来を再生可能エネルギーから考える 第7回 被爆地から原子力を考える：世界と日本の未来を見据えて 第8回 自らの暮らしと地域社会をエネルギーから考える</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>未来のエネルギー社会は企業や行政が作るものではありません。資源の多くを海外に依存する私たちは、世界に思いを馳せる必要があります。技術革新が速い現代社会で、生活者自身が考え、行動し、思いを形にしませんか。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーや環境への取組について、新聞等で見たものを集めてください。 資源エネルギー庁のホームページにはエネルギー白書や関連教材があるので、見てください。 <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】</p> <p>エネルギー白書 2021年度版（経済産業省／日経印刷／¥3,850／ISBN=9784865792959）経済産業省資源エネルギー庁のホームページに、HTML版やPDFがあります。そちらを活用いただいて構いませんし、おそらく最新版の2022年度版が10月ごろには出版されると思います。</p>
学習センター（コード）	42A		
クラスコード	K		
科目名	SDGsと未来のエネルギー社会		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	310		
定員	20名		
担当講師	フジ モト ノボル 藤 本 登 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)教授		
日程実施時間	1月7日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 1月8日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

熊本学習センター

(コード：43A)

熊本学習センター案内図

☎096-341-0860



【所在地】〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1 (熊本大学附属図書館南棟2F)

【交通アクセス】

路線等は変更する場合がございますので、各社HPを必ずご確認ください。

- (1) JR熊本駅→九州産交バス等: 2番乗り場 楠団地、武蔵ヶ丘行き等 約30分
- (2) 桜町バスターミナル→九州産交バス等: 16番乗り場 楠団地、武蔵ヶ丘行き等 約20分
●「熊本大学前」または「立田自然公園入口」下車 徒歩2分
- (3) 自家用車で来所する際は、熊本大学黒髪北キャンパス駐車場をご利用ください。
(駐車スペース以外の区域には車を駐車しないでください。)

【その他連絡事項】

- ・自然災害等の影響で授業の実施について変更が生じた場合は、熊本学習センターHPに、最新情報を掲載いたしますのでご確認ください。
- ・ホテルの手配や予約状況に関するお問い合わせには対応いたしかねます。各自お早目のご予約をお願いいたします。(熊本学習センターHPに近隣情報を掲載していますのでそちらを参考にしてください。)
- ・昼食は各自でご用意ください。学習センターの近辺には熊本大学黒髪北キャンパス学生食堂(日曜定休、その他臨時休業あり)の他、近隣にコンビニエンスストアもございます。
- ・講義中は学生証を携帯してください。

科目コード	2602164	授 業 概 要	<p>心理学における実験的研究を3つ（自由再生による記憶の系列位置効果、記憶範囲、大きさの錯視）取り上げます。受講生の皆さんは実験に参加し、レポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。8回の授業すべてに出席し、3つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ガイダンス 第2回 自由再生による記憶の系列位置効果実験の実施 第3回 自由再生による記憶の系列位置効果実験の結果の整理 第4回 レポートのまとめ方 第5回 記憶範囲実験の実施 第6回 記憶範囲実験の結果の整理 第7回 大きさの錯視実験の実施 第8回 大きさの錯視実験の結果の整理</p> <p>【学生へのメッセージ】 心理学は実証的な方法に基づいて人間の心と行動を研究する科学です。心理学実験を体験することによって、事実と解釈の区別を学ぶとともに、人間の行動についての知識を生み出す過程を学んで頂きたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具のほかに、15cm程度の定規、電卓を持参してください。また、パソコンでレポート作成をしたい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において、心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ワタ ナベ イサオ 渡 辺 功 熊本大学名誉教授		
日程実施時間	10月15日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10		
	10月16日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612410	授 業 概 要	<p>現代宇宙論から石が語る生きた地球の話まで、最先端の地球惑星科学の成果をできるだけ分かりやすくお話しします。雲仙火山の平成噴火や、日本（九州）で発見されたヒスイとダイヤモンドの話など、トピックスも加えて、我々が暮らしているこの地球の営みを理解していただき、この宇宙の不思議について考えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 われわれはどこにいるのかー銀河系の中の地球 第2回 生きている地球1ー地球の形成と進化 第3回 生きている地球2ープレートテクトニクス 第4回 マグマと火山1ーマグマの結晶作用 第5回 マグマと火山2ー火山の脅威と恩恵 第6回 変成作用のダイナミクス1ー生まれ変わる石たち 第7回 変成作用のダイナミクス2ー超高压変成作用 第8回 宇宙の始まりと終わり</p> <p>【学生へのメッセージ】 宇宙や地球、鉱物や岩石、そして火山などに対する知的好奇心をお持ちであれば、楽しく聴いていただけるように努力します。大学教養程度のレベルですが、一部にやや難しいところもあるかもしれません。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断し、関連するテレビの科学番組やニュースを視聴するなど、自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 新しい地球惑星科学（西山忠男、吉田茂生／培風館／¥3,388／ISBN=9784563025229）</p>
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	宇宙と地球と 石ころの不思議		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ニシ ヤマ タダ オ 西 山 忠 男 熊本大学 先端科学研究部特任教授		
日程実施時間	10月15日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10		
	10月16日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612313	授 業 概 要	<p>わたしたちは日ごろから、「正しい」や「善い」というような言葉を用いて、倫理的判断を行っています。この講義では、そうした倫理的判断がどのような規範に基づいているのかを検討します。こうしたアプローチを規範倫理学といいます。この目的を達成するために、規範倫理学で代表的とみなされる義務論、功利主義、徳倫理学、ケアの倫理という四つの考え方を取りあげて、それらがそれぞれどのような特徴を持ち、どのように関係しうるのかを考察します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 規範倫理学とは何かーイントロダクション 第2回 行為に関する理論#1 義務論 (1)ーロス 第3回 行為に関する理論#1 義務論 (2)ーカント 第4回 行為に関する理論#2 功利主義 (1)ーベンサム・ミル 第5回 行為に関する理論#2 功利主義 (2)ーヘア 第6回 行為者に関する理論#1 徳倫理学 (1)ーアリストテレス 第7回 行為者に関する理論#1 徳倫理学 (2)ー現代の徳倫理学 第8回 行為者に関する理論#2 ケアの倫理ーギリガン・ノディングズ</p> <p>【学生へのメッセージ】 理論的な話を中心となりますが、できるだけ具体的な事例を挟みながら進めたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	規範倫理学入門		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	<small>タ ナカ トモ ヒロ</small> 田中 朋弘 熊本大学大学院 人文社会科学部教授		
日程実施時間	10月22日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月23日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612321	授 業 概 要	<p>病院のみならず福祉や教育の現場であるいは地域の中で死を語るということが多くなってきました。自分や自分の大切な人が人生の最終段階をその人らしく生きるために、本授業では1人ひとりの尊い人生について考え、ともに学びを深めていきたいと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 緩和ケアの概念と現状【島村】 第2回 緩和ケアにおける患者の意思決定支援【島村】 第3回 スピリチュアリティ・スピリチュアルペイン①【山本】 第4回 スピリチュアリティ・スピリチュアルペイン②【山本】 第5回 人生の最終段階にある患者の身体的・精神的・社会的ケア【島村】 第6回 在宅医療を取り巻く制度と現状【落合】 第7回 疾患を持ちながら在宅で生活をする人々【落合】 第8回 人生会議【島村】【落合】</p> <p>【学生へのメッセージ】 医療や看護を専門にしない方にわかりやすい形で内容を提供します。講義では、グループワークを数回予定しています。みなさんの経験や思いを共有させていただければと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、色鉛筆またはクレヨンをご持参ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	人生の最終段階を 考える		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	<small>シマ ムラ ミ カ</small> 島村 美香 九州看護福祉大学専任講師 <small>ヤマモト</small> 山本 みゆき EQcollege主宰心理カウンセラー <small>オチ アイ ジュン コ</small> 落合 順子 ハッピータイム代表		
日程実施時間	10月22日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月29日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612372	授 業 概 要	<p>現在の地域づくりは、人口減少が引き起こす地域課題を克服するため、自然・農林水産・伝統技術・先端技術・文化といった多様な地域資源を活用し、地域の様々な職業の人が主役となり、様々な人々が協力しています。ここで重要な能力は、自らが考え、自ら行動するための企画、実践、さらには多様な人の調和を生み出すマネージメント力です。</p> <p>これらの能力を結集することで地域づくりが展開されています。そこで、地域づくりの具体事例より地域が抱える課題を学び、今後の地域づくりのあり方、方法論とその可能性を考えていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション ～新たな地域づくりの世界～【金岡】 第2回 人口減少克服をコミットする地域づくりとそのシステム【金岡】 第3回 地域づくりの最前線1 地域づくりの場づくり①【田中】 第4回 地域づくりの最前線2 地域づくりの場づくり②【田中】 第5回 地域づくりの最前線3 データ分析でみる地域の可視化①【内山】 第6回 地域づくりの最前線4 データ分析でみる地域の可視化②【内山】 第7回 地域づくりの最前線5 ローカルイノベーションによる【金岡】 第8回 総括 人口減少時代の地域づくりとはいかなるものか【金岡】</p> <p>【学生へのメッセージ】 人口減少、少子高齢化などの地域変化により、「地域づくり」の言葉が脚光を浴びていますが、これからの持続可能な地域づくりにはどのような取り組みが求められるのかを、皆さんとともに考えます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 人口減少は地域にどのような変化を引き起こし、その課題解決に向けてどのような地域づくりが取り組まれているか、インターネットを活用し情報収集してみてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	人口減少時代の地域づくり		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	カナ オカ ショウゴ 金岡 省吾 熊本大学熊本創生推進機構教授 ウチ ヤマ タダン 内山 忠 熊本大学熊本創生推進機構准教授 タ ナカ ナオト 田中 尚人 熊本大学熊本創生推進機構准教授		
日程実施時間	10月29日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月30日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター講義室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612291	授 業 概 要	<p>この授業では、職場や学校で求められる文章力について、基礎的な文章作成能力を身につける事を目的とします。まず第1回から第3回の講義で、語彙力・文法力・文章読解力を確かめます。次の第4回から第6回の講義で、論文の構成法や執筆手順・執筆計画の具体例を示します。最後の第7回から第8回の講義で、良い論文を書くための方法を示します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 読み書きの基本(1)：語彙力の基本 第2回 読み書きの基本(2)：文法力の基本 第3回 文章読解の基本 第4回 レポート作成の準備 第5回 卒業論文を書く(1)：テーマの設定と論文の組み立て 第6回 卒業論文を書く(2)：執筆計画と文献収集法 第7回 よい論文を書くには(1)：形式的な条件 第8回 よい論文を書くには(2)：実質的な条件</p> <p>【学生へのメッセージ】 職場・学校で求められるレポート作成力(文章力)を向上させたい方、これから卒業研究を準備される方などの受講をおすすめします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスを熟読して、自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 基礎から学べる！文章力ステップ 文章検準2級対応(公益財団法人日本漢字能力検定協会 編/公益財団法人日本漢字能力検定協会/¥770/ISBN=9784890963515) 大学生のためのレポート・論文術(小笠原喜康/講談社/¥880/ISBN=9784065135020)</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	論文・レポートの書き方		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	120		
定員	30名		
担当講師	タ バタ ヒロトシ 田畑 博敏 鳥取大学名誉教授		
日程実施時間	11月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612330	授 業 概 要	<p>心筋梗塞や狭心症の主要な原因として動脈硬化が挙げられます。生活習慣を改善することで、動脈硬化の進行を抑制することができることはご存知の方も多いと思います。授業では心筋梗塞や狭心症について知り、動脈硬化を予防する方法を理解して、実践してもらうことを一つの目標にしています。また、近年罹患者が増加している心房細動及び、心臓機能の低下を疑う症状について知り、その早期発見の重要性や対処法を理解してもらうことをもう一つの目標にしています。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 日本人の健康状況と動脈硬化性疾患 第2回 狭心症・心筋梗塞の危険因子 第3回 狭心症・心筋梗塞の危険因子の改善法、心筋梗塞予防 第4回 歯周病と動脈硬化の関連 第5回 心房細動と血栓症の関連、脳梗塞予防 第6回 アルコールの害、飲酒量 第7回 心臓の働き、心不全（息切れやむくみ）予防 第8回 循環器疾患関連薬の進歩</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業内容のことだけでなく、受講生の皆さんが日頃感じている健康上の質問にもわかる範囲で答えたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 心疾患に罹患した家族や友人などの自覚症状や経過について知っておくと、授業により興味が持てると思います。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	心臓病への対処		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ソエジマ ヒロフミ 副島 弘文 熊本大学 保健センター准教授		
日程実施時間	11月6日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月4日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612399	授 業 概 要	<p>近代の日本文学は、様々な異文化からの知的受容と相互交流を通して発展してきました。この授業では、近代の日本文学にみる異文化からの知的受容と相互交流について、4人の担当者がオムニバス形式で授業を行います。近代文学にみる異文化交流の導入的課題からはじまり、中国語圏との関わり、英語圏との関わり、フランス語圏との関わりそれぞれのトピックを通して、近代文学と異文化交流の諸相を考えていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 近代の日本文学—異文化との交流の諸問題(1)【坂元】 第2回 近代の日本文学—異文化との交流の諸問題(2)【坂元】 第3回 近代の日本文学—中国語圏との関わり(1)【西楨】 第4回 近代の日本文学—中国語圏との関わり(2)【西楨】 第5回 近代の日本文学—英語圏との関わり(1)【福澤】 第6回 近代の日本文学—英語圏との関わり(2)【福澤】 第7回 近代の日本文学—フランス語圏との関わり(1)【濱田】 第8回 近代の日本文学—フランス語圏との関わり(2)【濱田】</p> <p>【学生へのメッセージ】 近代文学にみる異文化との交流についてわかりやすくお話しします。受講に際して、近代文学についての予備知識は、特に必要としません。本テーマに関心を持っている受講者であれば、どなたでも受講できます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 授業概要・授業テーマから判断して、必要に応じて自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	近代の日本文学—異文化との交流		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	サカモト マサキ 坂元 昌樹 熊本大学大学院人文社会科学部教授 ニシ マキ 西楨 偉 熊本大学大学院人文社会科学部教授 フクザワ キヨシ 福澤 清 熊本大学名誉教授 ハマダ アキラ 濱田 明 熊本大学大学院人文社会科学部教授		
日程実施時間	11月12日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月13日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター講義室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2601486	授 業 概 要	<p>心理検査は、パーソナリティの個人差を測定するために用いられるものです。本授業では、心理検査の理論的背景も含めた基礎知識を学んだうえで、3つの心理検査を体験します。また、各種心理検査の特徴と限界を把握することと合わせて、実習から自己理解を深めることを目的とします。それらを通し検査自体が有効な支援技法ともなりうることを修得します。受講生のみなさんは、8回の授業すべてに出席し、3つの検査それぞれについてのレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理検査の基礎知識（歴史、種類と分類、目的など） 第2回 心理検査実習1 特性的自己効力感尺度 第3回 心理検査実習2 矢田部ギルフォード性格検査 第4回 所見の書き方、実習1・2のレポート作成 第5回 心理検査実習3 バウム・テスト 第6回 実習3のレポート作成 第7回 テスト・バッテリー、結果の報告の仕方 第8回 心理検査における倫理</p> <p>【学生へのメッセージ】 心理検査に関して問題意識を持ち、積極的な態度で受講してください。本授業が、自分自身を見つめ直す機会となれば幸いです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、定規（15cm以上）、電卓、黒ボールペン、蛍光ペン、4B鉛筆、消しゴムを持参してください。また、パソコンでレポートを作成したい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 心理検査の実施の初歩（願興寺礼子、吉住隆弘 編／ナカニシヤ出版／¥2,860／ISBN=9784779503870）</p> <p>【その他（特記事項）】 この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位以上修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ハシグチ マサヒト 橋口 真人 熊本県・熊本市 スクールカウンセラー		
日程実施時間	11月19日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月20日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612348	授 業 概 要	<p>1989年に始まり2019年に終わった「平成時代」は、日本社会の基礎構造を大きく変動させました。本授業では、「政治」「地域」「教育」の3つの視点から「平成時代」の31年間を考察します。時期区分としては、平成13年4月の「小泉内閣（第1次）」の成立を画期に「前期」、「後期」に分けて論じます。日本社会にとって「平成時代」とはいかなる歴史的意義があったのでしょうか。そして、どのような社会を目指していたのでしょうか。受講者の皆さんと一緒に考えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 はじめに－「平成時代」とは何であったのか－ 第2回 「昭和時代」、最後の10年（1980～1989年）を振り返る 第3回 「平成時代」の政治過程（1）－非自民・連立政権の誕生－ 第4回 「平成時代」の政治過程（2）－「小泉改革」の衝撃－ 第5回 「平成時代」の地域変動（1）－少子・高齢化の進展－ 第6回 「平成時代」の地域変動（2）－「地方消滅」の危機－ 第7回 「平成時代」の教育改革（1）－「生涯学習社会」への移行－ 第8回 「平成時代」の教育改革（2）－「コミュニティ・スクール」の現代的意義－</p> <p>【学生へのメッセージ】 本授業では、「少子・高齢化」、「人口減少」、「過疎問題」、「地方再生」など、日本社会が当面する諸課題についてお話しします。日頃から、ニュースや新聞を読むことをお勧めします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容をよく読んで、情報収集や自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	「平成時代」の社会学		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	コガ ノリツグ 古賀 倫嗣 熊本大学名誉教授		
日程実施時間	11月26日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月27日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612402	授 業 概 要	<p>日本建築の歴史に関わる基本的な用語や各時代の建築の概要を把握した上で、古代から近世に至るまでの具体的な建築史に関わる論争をテーマに取り上げて学びます。なぜ論争が起こったのか、論点がどこにあったのか、その後どのような影響を与えたのか、建築の初学者でもわかるように説明します。ただし、講義内容のレベルは決して低くありません、学びたいと思う気持ちの根源にあるもの、研究することの本質的な面白さをお伝えします。後半では、実物の建築として、明治22年竣工の熊本大学五高記念館（第五高等学校本館）を見学します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 日本建築の構造 第2回 法隆寺の再建非再建論争 第3回 天守の意匠と構造の変遷 第4回 安土城天主についての論争 第5回 江戸城本丸御殿の復元について 第6回 二条城二丸御殿の障壁画 第7回 近代の建物をみる 熊本大学五高記念館の見学 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 予備知識は必要ありません。テーマに「研究」を掲げていますが、難しく考えなくて結構です。講師である私が、関心をもったこと、やってきたこと＝「研究」のどこに面白さを感じたのかについてお話しします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 大事な建築、好きな建築、興味のある建築について考えておいてください。そして、それがいつ頃、どうしてできたのか、誰がつくったのか等の情報を整理しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは、『私の好きな身近な建築』です。受講前に調べた情報を基にまとめてください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 第7回授業は、熊本大学五高記念館を見学します。 この授業は、「学生教育研究災害障害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入手続きを行ってください。（開設科目一覧P.17参照）</p>
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	日本建築史研究の エッセンス		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	イトウ リュウイチ 伊東 龍一 熊本大学大学院 先端科学研究部教授		
日程実施時間	11月26日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月27日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター大講義室 と熊本大学五高記念館 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2601311	授 業 概 要	<p>これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 ワードによる文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）</p> <p>【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。） 学生証（授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ち下さい。）</p> <p>【教科書】 新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学）授業当日に配布します。</p> <p>【参考書】 新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF／放送大学）ダウンロード方法は授業で説明します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 『新・初歩からのパソコン』の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。（履修制限）「初歩からのパソコン」の単位を修得済みの方は登録できません。</p>
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	新・初歩からの パソコン		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	12名		
担当講師	ナカノ ヒロシ 中野 裕司 熊本大学 総合情報統括センター教授		
日程実施時間	12月3日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月4日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612305	授 業 概 要	<p>比較的平易で楽しく読むことができる英文を教材にして、英語を読む際のポイント等を学習します。とくに、日本人の学習者がつまづくことが多い文法事項や構文等に焦点を当て、楽しく、そして、正しく英語を読む力の養成を目指します。</p> <p>必要に応じて、文法事項の復習を行いながら、辞書があれば、ある程度、独力でも英文が読めるようになることを目標に、できるだけたくさんの英語に触れましょう。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 辞書は読み物。辞書に詰め込まれた（膨大な）情報の意味や活用の仕方を確認します</p> <p>第2回 辞書を使って、英語と日本語の特徴の違いを確認しましょう</p> <p>第3回 英語を読む際に、つまづくポイントを確認しましょう（その1）</p> <p>第4回 英語を読む際に、つまづくポイントを確認しましょう（その2）</p> <p>第5回 つまづかないで英語を読めるか確認しましょう</p> <p>第6回 いろんな英語にチャレンジしましょう（その1）</p> <p>第7回 いろんな英語にチャレンジしましょう（その2）</p> <p>第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>英語が得意である必要はありません。できるだけ、分かりやすく授業を進めるよう心がけます。分からないことは、積極的にご質問ください。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>授業で辞書を最大限有効に活用するコツを身に付けるためにも、何はともあれ、辞書を使って英語を読んでみてください。どんな英語でも結構です。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況とレポートの評点により行います。レポートは、授業で学んだことが身につけていれば問題なく対応可能な内容を予定しています。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>授業当日は、英和辞書をご持参ください。紙の辞書でも電子辞書でも結構です。最新版である必要はありません。どの出版社でも結構ですが、新たに購入される場合は、『ジーニアス英和辞典』や『ライトハウス英和辞典』などがお勧めです。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】</p> <p>表現のための実践ロイヤル英文法（綿貫陽、マーク・ピーターセン／旺文社／¥1,980／ISBN=9784010312971）購入は必須ではありません。あくまでも「参考」書という位置付けです。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p> <p>この科目は、専門学校麻生看護大学校（看護課通信課程）の「グローバル・コミュニケーション」科目に対応します。</p>
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	英語を楽しく読む		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	30名		
担当講師	サイ トウ ヤスシ 齋 藤 靖 熊本大学 大学教育統括管理運営機構教授		
日程実施時間	12月4日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月11日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612356	授 業 概 要	<p>発達に気になる子どもは保育園児では13%存在するといわれています。地域の保健・福祉・医療・教育現場ではこれらの子どもの早期発見・早期支援が課題です。また、育てにくさから子育てストレス、ひいては虐待に結び付きやすく、親支援も課題です。診断基準閾下児も含めると社会に広く存在するであろう、気になる子どもを適切に評価し、支援するための理論や方策を検討します。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 授業のねらい 気になる子ども概念の時代的変遷、多職種による認識、関連概念</p> <p>第2回 気になる子どもの評価① スクリーニングとしての乳幼児健診、どんなところをみているか</p> <p>第3回 気になる子どもの評価② DSM-5の考え方、スペクトラム概念、検査および尺度</p> <p>第4回 気になる子どもの支援① 感覚過敏・感覚鈍麻をもつ子どもの困りごとと生活支援</p> <p>第5回 気になる子どもの支援② 最新機器を用いた支援、仮想教室（VR classroom）</p> <p>第6回 親支援① ペアレンティングプログラムの理論的背景</p> <p>第7回 親支援② 前向き子育てプログラム トリプルPの考え方に則った演習</p> <p>第8回 二次障害の予防（いじめ、不登校、引きこもり、など）</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>発達に気になる子どもは、診断の有無にかかわらず、社会に広く分布しています。彼らの困りを理解し、児童虐待や不登校を予防するための支援を様々な視点から考えましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>パソコンでレポート作成をしたい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	発達に気になる 子どもの支援		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	オオコウチ アヤコ 大河内 彩子 熊本大学大学院 生命科学研究部教授		
日程実施時間	12月10日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月11日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612380	授 業 概 要	<p>西洋近代ヨーロッパの政治思想を検討することで、「近代」とは何かを考えます。現代の我々の生活は、好むと好まざるとに関わらず、西洋的な近代の影響を強く受けています。したがって、我々の現代の境涯を理解し、その上で我々が進むべき生のあり方を探る上で、この「近代」を学ぶ意義は大きいといえるでしょう。この講義では、主として啓蒙主義の思想を題材として、近代という時代における個人、社会、国家の関係性を、特に理性の観点に注目しながら哲学的に考察します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 政治思想史の方法/テーマとしての「啓蒙主義」 第2回 ロックにおける理性と秩序 第3回 モンテスキューと啓蒙 第4回 モンテスキューと自由な統治 第5回 ヒュームと文明社会 第6回 ルソーの文明社会批判 第7回 近代社会の可能性：スミスとルソー 第8回 カントと啓蒙</p> <p>【学生へのメッセージ】 特に前提とする知識はいりませんが、政治・哲学・歴史に興味のある方のほうが理解しやすいでしょう。思想史の講義では、講義の対象以上に、思想史という営みそのものを学ぶことが（否やむしろその方が）重要です。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【参考書】 西洋政治思想史—視座と論点（川出良枝／山岡龍一／岩波書店／¥3,300／ISBN=9784000289078） よくわかる政治思想（野口雅弘／山本 圭／高山裕二／ミネルヴァ書房／¥3,080／ISBN=9784623090990） 啓蒙とはなにか（ジョン・ロバートソン／白水社／¥2,860／ISBN=9784560096864）</p>
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	近代政治思想史		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ヤマ オカ リュウイチ 山岡 龍一 放送大学教授		
日程実施時間	12月17日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月18日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

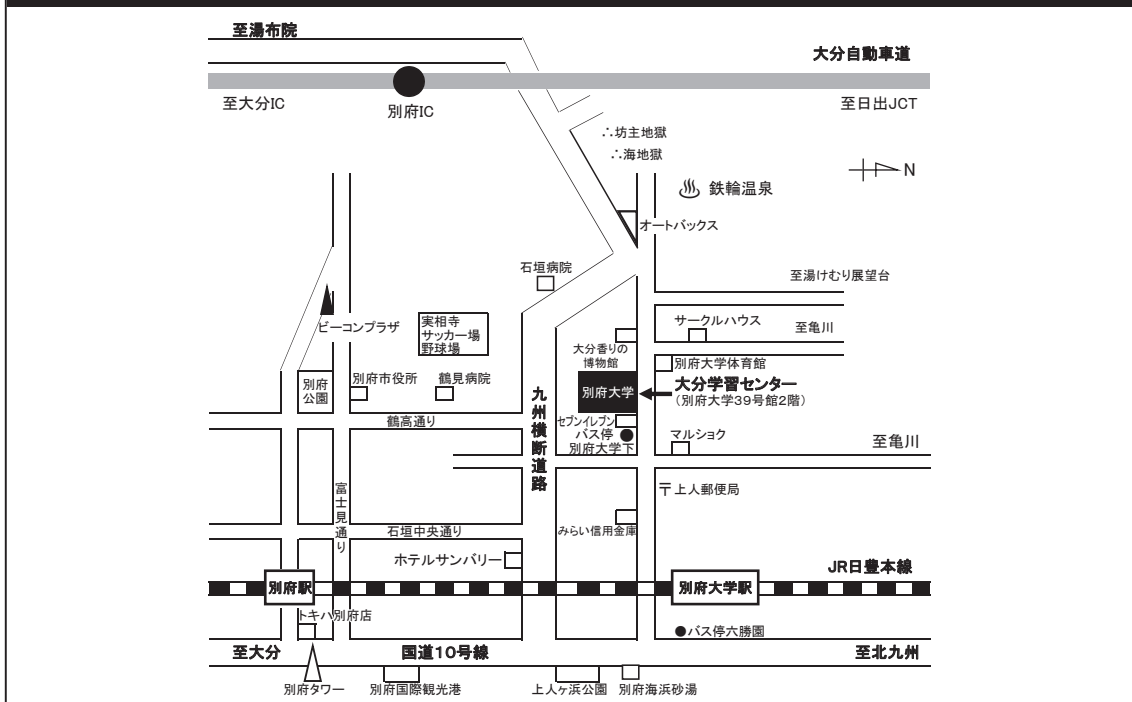
科目コード	2612429	授 業 概 要	<p>高校および大学初年次レベルの数学の問題21問を厳選し、それらの問題の背後にどのような数学が介在しているのか、どのようなテクニックが必要なのかを確認しながら問題の解答を試みることを目的とします。授業では問題を解くためにどのような数学が必要かを確認しつつ数学に対する理解と固有の思考法を学びます。取り上げた問題は「初等整数の問題」「ディオファントスの問題」「複素数の問題」「微積分の問題」「漸化式の問題」「方程式の問題」に関するややレベルの高い問題です。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 整数の問題1（3問） 第2回 整数の問題2（3問） 第3回 デイオファントスの問題1（3問） 第4回 デイオファントスの問題2（3問） 第5回 複素数に関する問題（3問） 第6回 数列や極限に関する問題（3問） 第7回 微積分に関する問題（3問） 第8回 総括および質疑応答</p> <p>【学生へのメッセージ】 問題21問は事前配布します。確実に解けますのでそういう意識で解決に取り組んでください。その上で講義に臨めば有意義な講義になるでしょう。腕に覚えのある方やチャレンジングな数学愛好者の受講を歓迎します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 高校の数学の教科書（数学I、II、III、A、B、C）の関連するところを確認しておくこと。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	43A		
クラスコード	K		
科目名	数学の楽しみ (問題とその背景)		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	フル シマ ミキ オ 古島 幹雄 放送大学 熊本学習センター所長		
日程実施時間	12月17日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月18日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612364	授 業 概 要	<p>解決志向ブリーフセラピーは、心理療法の一つです。このアプローチの特徴は、クライアントが語る問題の中から、「例外」を見つけ拡大したり、クライアントの視点から目標を作りながら、解決の構築を目指すところにあります。クライアントにとっての解決を描く事により、問題に縛られないより良い未来を実現していきます。活用分野も広く、スクールカウンセリングなどの教育分野や医療、福祉、産業など様々な現場で活用されています。本授業では、解決志向ブリーフセラピーについて、その考え方から事例まで、実習を通して学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 解決志向ブリーフセラピー入門 解決構築の概要と枠組み 第2回 解決志向ブリーフセラピーにおける対話と面接、クライアントとの関係性 第3回 リソースとリソース探し 第4回 有益な質問法①例外とミラクル・クエスチョン 第5回 有益な質問法②スケーリング・クエスチョンとコーピング・クエスチョン 第6回 介入の考え方 第7回 解決志向ブリーフセラピーの事例を通して 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 解決志向ブリーフセラピーは、クライアントの持つ問題よりも、肯定的な側面に光を当てるアプローチです。授業では、座学以外にも実習やワークを通してこのアプローチの理解を深めたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 森・黒沢のワークショップで学ぶ解決志向ブリーフセラピー（森俊夫、黒沢幸子／ほんの森出版／¥1,980／ISBN=9784938874278）</p>
学習センター (コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	解決志向 ブリーフセラピー入門		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ハシグチ マサヒト 橋口 真人 熊本県・熊本市 スクールカウンセラー		
日程実施時間	1月7日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 1月8日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

大分学習センター

(コード：44A)

大分学習センター案内図 ☎0977-67-1191



【所在地】〒874-8501 別府市北石垣82(別府大学39号館2階)

【交通アクセス】※平成30年4月より別府市に移転しました。

①JR利用の場合(最寄駅は別府大学駅)

JR日豊本線別府大学駅より徒歩10分

②バス利用の場合(JR日豊本線別府駅から:所要時間20分)

〔東口バス停〕

20 亀の井バス<別府大学経由鉄輪行>「別府大学前」で下車

23 亀の井バス<石垣経由別府医療センター行>「別府大学下」で下車し、徒歩3分

〔西口バス停 2のりば〕

6 亀の井バス<鶴見丘高校経由別府医療センター行>「別府大学下」で下車し、徒歩3分

【その他連絡事項】

【昼食】

昼食は各自でご用意ください。別府大学学生食堂(日曜日休業)、または学習センター近辺のコンビニエンスストア、弁当店等をご利用ください。

【駐車場】

駐車場は駐車台数に限りがございますので、原則公共交通機関をご利用ください。

【宿泊施設】

学習センター周辺には宿泊施設はありません。JR別府駅周辺の宿泊施設案内は、学習センターウェブサイトに掲載しています。

科目コード	2612437	授 業 概 要	<p>グローバル化に対応するためには、コミュニケーションの手段としての語学が必要になってきます。この授業は中国語入門であり、初めて中国語を学習する学生を対象とします。2日間の学習で、中国語の発音、簡単な挨拶、基本文法を身につけることを目指します。</p> <p>1日目:「拼音(ピンイン)」、中国語入門学習で難関となる「声調」を学びます。 2日目:簡単な語彙や文法表現を学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 母音の発音 第2回 子音の発音 第3回 鼻音の発音 第4回 声調変化の発音 第5回 主語+動詞+目的語「我去中国。」(私は中国へ行きます。) 第6回 主語+“是”+目的語「我是日本人。」(私は日本人です。) 第7回 主語+形容詞「他很忙。」(彼は忙しい。) 第8回 主語+動詞+人+物(陳先生が私たちに中国語を教えます。)</p> <p>【学生へのメッセージ】 外国語を学ぶことによって、一つの異文化世界の窓を開くことができます。世界で14億人以上が使用している中国語を話してみませんか?</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 やさしい中国語 基本文型と単語(鈴木晶(陳晶) / 関東図書 / ¥1,980 / ISBN=9784904006221)「別府大学丸善キャンパスショップ」にてお買い求めください。なお、9/15～10/15までの取り扱いとなりますのでご了承ください。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目:外国語」に該当します。</p>
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	やさしい中国語入門		
科目区分	基盤科目:外国語		
ナンバリング	110		
定員	30名		
担当講師	スズキ ショウ 鈴木 晶 別府大学教授		
日程実施時間	10月15日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月16日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター 教室2 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2602164	授 業 概 要	<p>心理学の研究法全般を概観した上で、「自由再生による記憶の系列位置効果」、「メンタルローテーション」、「印象形成(中心特性の働き)」の3つの実験を行います。心理学実験を体験的に学ぶことで、実験の方法・技術を習得し、科学的報告書の形式に従ったレポートにまとめる方法について理解することを目的とします。</p> <p>受講生の皆さんは、8コマの授業全てに出席し、3つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験の概説 第2回 実験のレポートの書き方 第3回 実験①記憶の実験「自由再生による記憶の系列位置効果」 第4回 「自由再生による記憶の系列位置効果」のデータ処理 第5回 実験②イメージの実験「心的回転(メンタルローテーション)」 第6回 「心的回転(メンタルローテーション)」のデータ処理 第7回 実験③印象の実験「印象形成(中心特性の働き)」 第8回 「印象形成(中心特性の働き)」のデータ処理</p> <p>【学生へのメッセージ】 パソコンを使用する実験とデータ処理を行うので、簡単なパソコン操作(エクセル)の経験を有することが望ましいです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、電卓(スマホアプリ可)を準備してください。レポートをパソコンで作成される方は、USBメモリを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 心理学基礎実習マニュアル(宮谷真人・坂田省吾 代表編著 / 北大路書房 / ¥3,080 / ISBN=9784762826658)</p> <p>【その他(特記事項)】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目:心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	17名		
担当講師	モリ シタ サトル 森下 覚 大分大学准教授		
日程実施時間	10月15日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月16日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター 教室1 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612488	授	ウェブブラウザからプレゼンテーションを作成できるGoogleスライド (Microsoft PowerPointと類似のアプリケーションソフトウェア) を用いた、プレゼンテーション資料作成の基礎レベルの内容を扱います。聴き手を説得できるようなシンプルなプレゼンテーション資料を作成できるようになることをめざします。演習や学生同士の意見交換を通じて、学習内容を確かめながら修得できます。
学習センター (コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	プレゼンテーション基礎		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	210		
定員	17名		
担当講師	鈴木 雄清 スズキ ユウセイ 大分大学准教授		
日程実施時間	10月22日 (土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50	概	【授業テーマ】 第1回 問いの設定方法及び聴衆を納得させるための方法の基礎 第2回 問いの設定及び聴衆を納得させる答えの設定の練習 [演習1] 第3回 スライドのデザインの基礎、Googleドライブ 第4回 Googleスライドの基本操作1 (ファイル名設定、スライドの追加とレイアウト、スライド順序変更・削除) 第5回 Googleスライドの基本操作2 (テーマ変更、テキストボックス、図形、図表・動画の挿入) 第6回 プレゼンテーション資料の作成 [演習2] 第7回 発表方法と練習 第8回 プレゼンテーション・相互評価、振り返りとまとめ [演習3]
	10月23日 (日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		【学生へのメッセージ】 プレゼンテーション資料の作成について、初めての方や基礎から学び直したい方を対象とし、前提となる科目はありません。放送大学キャンパスメール (Gmail) を使うことができることを前提条件とします。 【受講前の準備学習等】 放送大学キャンパスメール (Gmail) にログインし、キャンパスメールが使用できることを確認しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び演習の成果 (提出物) により評点します。
実施会場	大分学習センター 教室1	要	【受講者が当日用意するもの】 日頃利用しているノートPCをご持参可能な方はお持ちください。ソフトウェアは最新の状態に更新しておいてください。(学生用PCを貸し出すこともできます。) ノートPCを持参する方で、情報セキュリティ研修を受講されていない方はシステムWAKABAから情報セキュリティ研修を受講し修了証を図書カウンターへ提出してください。 【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【参考書】 プレゼンテーション入門：学生のためのプレゼン上達術 (直江健介 (著)・大出敦 (編)・慶應義塾大学教養研究センター (監修) / 慶應義塾大学出版会 / ¥1,540 / ISBN=9784766425734) 知へのステップ：大学生からのスタディ・スキルズ (学習技術研究会 (編著) / くろしお出版 / ¥1,980 / ISBN=9784874247891)
	※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施		【その他 (特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 後続科目として「プレゼンテーション応用」(10月29日・30日開講) があります。

科目コード	2612542	授	九州の中央部の阿蘇・くじゅうには広大な半自然草原が広がっています。この場所は、そのままでは本来広大な森林地帯となる場所ですが、なぜ広大な草原世界が存在しているのでしょうか。これは現在も続く「野焼き」と呼ばれる草原に火をかけることによって維持されてきた風景です。その歴史はどこまで遡るのでしょうか。この講義では、現地にバスで赴き草原の歴史を解明し、草原の自然、文化、宗教を体感してもらいます。環境歴史学の視点から阿蘇・くじゅうの自然と歴史を探訪する講義です。
学習センター (コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	阿蘇・くじゅうの 草原の歴史探訪		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	飯沼 賢司 イイヌマ ケンジ 別府大学教授		
日程実施時間	10月22日 (土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50	概	【授業テーマ】 第1回 阿蘇・くじゅうの1万年の草原の歴史を読み解く(1)—科学から読み解く1万年— 第2回 阿蘇・くじゅうの1万年の草原の歴史を読み解く(2)—史料と神事から読み解く— 第3回 くじゅうの草原— 現地散策 くじゅうの草原の歴史と文化—長者伝説とタデハラ湿原— 現地散策 第4回 「野」としての直入の歴史、鎮西八郎為朝、猪鹿狼寺の伝説、 現地散策 第5回 阿蘇カルデラの自然と文化的景観 現地散策 第6回 阿蘇神社の歴史と草原 現地散策 第7回 阿蘇神社の神事「下野の狩」を読み解く—野焼きと狩りの関係— 現地散策 第8回 阿蘇における「野」と「森」の関係 現地散策
	10月23日 (日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		【学生へのメッセージ】 参考文献や配布資料で予習、復習をしっかりとってください。 【受講前の準備学習等】 参考文献やシラバスの内容から判断して事前自己学習を進めておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	大分学習センター教室2 (阿蘇神社他)	要	【受講者が当日用意するもの】 ・阿蘇神社などで現地学習を行います。バス代、高速代、入館料、駐車場代などのため、授業料とは別に合計4000円を授業初日の朝、徴収いたします。※授業への参加人数に応じて返金することもあります。 ・昼食は各自で用意してください。 ・現地で研修しますので、野外で活動する支度 (服装、運動靴等) をしてください。 ・長時間のバス移動を伴いますので、酔い止めなどが必要な方は持参してください。また、体力に不安のある方は、科目登録時によくご検討ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 野と原の環境史 (シリーズ日本列島の三万五千年 人と自然の環境史2) (湯本貴和編、責任編集佐藤宏之・飯沼賢司 / 文一総合出版 / ¥4,400 / ISBN=9784829911969)
	※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施		【その他 (特記事項)】 ・面接授業当日の交通状況等に応じて授業時間が多少前後する場合があります。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.17参照)

科目コード	2612518	<p>医療職は生活者を支援する専門職です。しかしその前提として「生きている」生命体である「人間」を観察できるフィジカルアセスメント能力が不可欠です。本講義では、臨床場面での推論・フィジカルアセスメントの進め方と要点をまとめ、生活を支えるために有用な実践的なフィジカルアセスメントを学習していきましょう。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 臨床推論 第2回 アセスメントをどう進めるか 第3回 中枢神経系のみかた～意識レベル 第4回 中枢神経系のみかた～高次脳機能 第5回 脳神経のみかた 第6回 感覚系のみかた 第7回 運動系のみかた～ROM 第8回 感覚系のみかた～MMT</p> <p>【学生へのメッセージ】 臨床実践者として必要となる解剖生理学・病態生理学などの関連分野の知識を統合するため、既知の学習内容を振り返ることも求めます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポート課題は、『本講義を終えて、それまでの自己の臨床実践を振り返りどうであったかと、フィジカルアセスメントを今後の臨床実践にどう活かすかについてまとめよ』といたします。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 お互いの身体を使って演習をする場面がありますので、動きやすい服装でお越しください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 フィジカルアセスメントガイドブック（山内豊明／医学書院／¥2,640／ISBN=9784260013840）</p>
学習センター（コード）	44A	
クラスコード	K	
科目名	身体を診る ～生活を支えるため	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	330	
定員	30名	
担当講師	ヤマ ウチ トヨ アキ 山内 豊明 放送大学教授	
日程実施時間	10月29日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月30日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター 教室2 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2612550	<p>ウェブブラウザからプレゼンテーションを作成できるGoogleスライド（Microsoft PowerPointと類似のソフトウェア）を用いた、プレゼンテーション資料作成・発表構成・口頭発表の応用レベルの内容を扱います。資料デザインの工夫や図表の効果的な利用、発表のストーリー展開などを意識してメッセージが伝わるプレゼンをめざします。演習や発表を通じた学生同士の意見交換により、プレゼンテーションをブラッシュアップしていく手法を修得できます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 プレゼンテーションの構成（発表のストーリーと論証型） 第2回 構成パターンの検討と発表（演習） 第3回 スライドデザインと情報量（デザインの基本ルール、聴衆の理解を優先した情報整理） 第4回 スライドデザインの見直し（演習） 第5回 質問と応答のスキル（質問のパターン、想定質問と応答） 第6回 想定質問への応答準備（演習） 第7回 口頭発表スキル（声の大きさ、話す速さ、表情や態度） 第8回 最終プレゼンテーション・相互評価、振り返りとまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 前提となる科目は「プレゼンテーション基礎」（10月22日・23日開講）です。「プレゼンテーション基礎」等で作成したプレゼンテーション資料が既に履修者の手元にあることを前提とし、その資料をさらにブラッシュアップしながら演習を行います。放送大学キャンパスメール（Gmail）を使うことができることを前提条件とします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 「プレゼンテーション基礎」等で作成したプレゼンテーション資料を準備しておいてください。放送大学キャンパスメール（Gmail）にログインし、キャンパスメールが使用できることを確認しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 日頃利用しているノートPCをご持参可能な方はお持ちください（学生用PCを貸し出すこともできます）。ノートPCを持参する方で、情報セキュリティ研修を受講されていない方はシステムWAKABAから情報セキュリティ研修を受講し修了証を図書カウンターへ提出してください。</p> <p>【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。</p> <p>【参考書】 プレゼンテーション入門：学生のためのプレゼン上達術（直江健介（著）、大出敦（編）、慶應義塾大学教養研究センター（監修）／應義塾大学出版会／¥1,540／ISBN=9784766425734） 知へのステップ：大学生からのスタディ・スキルズ（学習技術研究会（編著）／くろしお出版／¥1,980／ISBN=9784874247891）</p> <p>【その他（特記事項）】 前提科目として「プレゼンテーション基礎」（10月22日・23日開講）があります。「プレゼンテーション基礎」を受講されない方は「プレゼンテーション基礎」の授業内容を確認し、テキストボックス、図形を挿入したGoogleスライド（3ページ以上）をお持ちください。テーマは自由です。</p>
学習センター（コード）	44A	
クラスコード	K	
科目名	プレゼンテーション応用	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	17名	
担当講師	ゴ トウ ヨシ トモ 後藤 善友 別府大学短期大学部教授	
日程実施時間	10月29日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月30日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター 教室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2612496	授	この授業は、香り、特に、フレグランス（化粧品や日用品の香り）とフレーバー（食品の香り）の初歩を取り扱います。受講生の皆さんは、香水の歴史、についての科学、発酵/醸造と香りの講義に加えて、大分香りの博物館の見学と香水の調香、香り分析や試香も体験できます。初めて香りを学ぶ方も興味を持って理解を深められるように、体験学習を織り交ぜて授業を進めていきます。
学習センター（コード）	44A		
クラスコード	K		
科目名	はじめて学ぶ 香りの科学		
科目区分	導入科目：自然と環境		
ナンバリング	210		
定員	30名	業	【授業テーマ】 第1回 香りへの招待（坂本） 第2回 嗅覚のしくみと香りの評価（坂本） 第3回 博物館で学ぶ香りの歴史（坂本/場所：大分香りの博物館） 第4回 香りを創る（坂本/場所：大分香りの博物館） 第5回 フレーバー - 発酵食品と香り -（塩屋） 第6回 フレーバー - お酒の香り -（塩屋） 第7回 においや香りの科学的な分析方法（坂本/場所：別府大学36号館 発酵食品学科実験室） 第8回 においや香りの機能性（坂本）
担当講師	サカモト コウジ 坂本 幸司 別府大学教授 シオヤ コウキ 塩屋 幸樹 別府大学准教授		
日程実施時間	11月12日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50	概	【学生へのメッセージ】 私たちは、たくさんのにおいや香りに囲まれて暮らしています。一方、嗅覚の仕組みがわかってきたのは、比較的、最近のことです。こんなに身近で不思議な側面も持つ香り的一端をいっしょに覗いてみましょう。
	11月13日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	大分学習センター教室1 大分香りの博物館・ 別府大学36号館発酵食品学科	要	【受講者が当日用意するもの】 調香体験料として2,500円（30ml瓶、税込み）を徴収します。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
	※不測の事態発生時は閉講		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。（開設科目一覧P.17参照）

科目コード	2612500	授	大分県は、標高2000m近くの山岳地帯や、県北、県南地域の沿岸地帯、そして湯布院、別府などの有数な地熱・温泉地帯を有しており、自然環境豊かな条件にあります。本授業では、大分の自然の中でも、大分の水環境、大分の温泉について、講義や現地での巡検を通じて理解を深めます。
学習センター（コード）	44A		
クラスコード	K		
科目名	大分の水と温泉		
科目区分	導入科目：自然と環境		
ナンバリング	210		
定員	30名	業	【授業テーマ】 第1回 地球の水循環(1) 地球上の水の循環 第2回 地球の水循環(2) 地球の水資源量 第3回 大分の水(1) 大分県の自然科学的条件 第4回 大分の水(2) 大分県の主な水域について 第5回 大分の温泉(1) 温泉の定義と分類 第6回 大分の温泉(2) 温泉の成因と大分県の温泉について 第7回 温泉の巡検(1) 血の池地獄、龍巻地獄、海地獄 第8回 温泉の巡検(2) 鬼石坊主地獄、白池地獄、かまど地獄、鬼山地獄
担当講師	オオウエ カズトシ 大上 和敏 大分大学教授		
日程実施時間	11月12日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50	概	【学生へのメッセージ】 大分の河川や湖沼、温泉について化学の目で見ていこうと思います。基礎的な化学の内容も一部含まれますが、できるだけ分かり易く授業を行いますので、気軽な気持ちで受講してください。 【受講前の準備学習等】 普段何気なく見ている、身近な河川や温泉等について、少し意識して見ておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
	11月13日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:40 試験・レポート等 16:40～16:50		【受講者が当日用意するもの】 2日目の午後（7、8時限目）は、別府温泉の巡検を予定しています。 別府地獄めぐり共通観覧券・バスレンタル代合計2,000円が必要になります。初日の朝徴収しますので、おつりのないようにご準備ください。なお、受講者数により、金額が変更になる場合があります。 2日目は、動きやすく寒くない服装でご参加ください。 【教科書】 教科書は使用しません。
実施会場	大分学習センター教室2 別府地獄めぐり(海地獄 他) 大分県別府市鉄輪559-1 他	要	【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）
	※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612453	授 業 概 要	<p>リハビリテーションとは「病気やけがが原因で心身の機能と構造の障害、生活上の支障が生じたときに、患者本人や家族に対して、多角的に問題の解決を支援するアプローチ」です。 本講義では、身体の構造や機能を理解した上で、代表的な疾患のリハビリテーションの実際について学修します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 リハビリテーションとは？ 第2回 身体の構造と機能1（神経系） 第3回 身体の構造と機能2（筋・骨格系） 第4回 身体の構造と機能3（呼吸・循環系） 第5回 リハビリテーションの対象となる疾病とリハビリテーションの実際1（神経系） 第6回 リハビリテーションの対象となる疾病とリハビリテーションの実際2（筋・骨格系） 第7回 リハビリテーションの対象となる疾病とリハビリテーションの実際3（呼吸・循環系） 第8回 疾病予防・健康維持のためのリハビリテーション</p> <p>【学生へのメッセージ】 身体の機能と疾病との関係を理解しておくこと、健康維持のポイントが理解しやすくなります。できるだけわかりやすく解説しますので、一緒に頑張りましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業の内容によっては軽い運動を行います。授業当日は軽い運動ができる服装でお越しください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）</p>
学習センター（コード）	44A		
クラスコード	K		
科目名	リハビリテーション入門		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	210		
定員	30名		
担当講師	アサ イ マサ ハル 朝 井 政 治 大分大学教授		
日程実施時間	11月26日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月27日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター 教室2 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612526	授 業 概 要	<p>この授業では、「大人の発達障害の理解と支援（渡辺慶一郎ら、金子書房）」を読み込み、受講者同士で意見交換します。それに関する基本的知識や動向などを担当講師から講述します。そしてインクルーシブ社会を推進するために、我々一人ひとりができることを受講者同士で考えていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 発達障害のある大人への支援の現状と課題 第2回 職場における発達障害のある大人への理解と支援 第3回 継続して働くために必要な理解と支援・環境とは 第4回 成人期の発達障害の人の生活支援 第5回 発達障害の支援でない支援とは？ 第6回 「芸術まつり」による”ゆるやかなネットワーク”づくり 第7回 発達障害のある女性の恋愛・結婚のサポート 第8回 災害時における発達障害のある人への支援</p> <p>【学生へのメッセージ】 インクルーシブ社会を推進するために、我々一人ひとりができることを一緒に考えたい方の受講をお待ちしております。</p> <p>【受講前の準備学習等】 「大人の発達障害の理解と支援（渡辺慶一郎ら、金子書房）」に目を通してきてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業中に調べ学習ができるように、関連する書籍や論文、Webにアクセスできる機器（スマホなど）を持参してください。</p> <p>【教科書】 大人の発達障害の理解と支援（渡辺慶一郎ほか／金子書房／¥1,430／ISBN=9784760895540）</p>
学習センター（コード）	44A		
クラスコード	K		
科目名	発達障害の理解と支援		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	サトウ シン ジ 佐 藤 晋 治 大分大学教授		
日程実施時間	11月26日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月27日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター 教室1 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612461	授 業 概 要	<p>リーマンショック以降、企業経営は株主価値経営から共通価値創造そしてSDGsへと大きく舵を切ろうとしています。本講義では、企業と資本市場、コーポレート・ガバナンス、ベンチャービジネスなど、現代の企業をとりまく課題を8のテーマにまとめ、わかりやすく講義を行います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 コーポレートガバナンスとESG投資 第2回 企業の形態 第3回 企業と資本市場 第4回 貨幣の時間的価値 第5回 収益率とリスク 第6回 企業価値評価と財務諸表分析 第7回 M&Aのための評価 第8回 中小企業とベンチャービジネス</p> <p>【学生へのメッセージ】 この講義では、経営学の基礎の習得とExcelなどのスキルアップを目指そうと思います。一緒に企業の分析などを行いましょ。</p> <p>【受講前の準備学習等】 日経平均株価やドル円レートを聞くことがありますので、事前に新聞やネットの経済欄を読んでおいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 ExcelがダウンロードされたノートPC（学生用PCを貸し出すこともできます）。ノートPCを持参する方で、情報セキュリティ研修を受講されていない方はシステムWAKABAから情報セキュリティ研修を受講し修了証を図書カウンターへ提出してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	44A		
クラスコード	K		
科目名	経営学概論		
科目区分	導入科目：社会と産業		
ナンバリング	220		
定員	17名		
担当講師	ウザキ キョウ タカ 鵜崎 清貴 大分大学教授		
日程実施時間	12月3日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50		
	12月4日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター 教室1		
	※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612445	授 業 概 要	<p>英語が自然に口から出てくるようにするには、言葉を口に出すトレーニングが必要です。また、語彙力を身に付けるにはさまざまな題材を読んだり聞いたりすることが有効です。この授業では、身近なニュースをやさしい英語で読み、それをもとに口頭で作文をすることによって、会話に必要な英語の単語とその組み立ての基本構造を学んでいきます。間違ってもいいので、大きな声で英語を話してみましょ。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 英語の基本構造を復習しよう～基本の文型に情報を付け足す 第2回 ニュースを読んでもみよう①～目ではなく口で読む 第3回 ニュースについてお互いに話してみよう 第4回 英語の基本構造を復習しよう～文と文をつなぐ 第5回 ニュースを読んでもみよう② 第6回 ニュースを要約して伝えてみよう 第7回 自分の関心のあるニュースについて伝えてみよう 第8回 この授業で学んだ内容をもとにスピーチを作成して発表しよう</p> <p>【学生へのメッセージ】 8回のレッスンでできることは限られていますが、普段の学習の中で同じようなプラクティスを続けることで、英語力向上につなげることを目標とします。難しそうな単語や表現も、まずは口に出して話してみましょ。</p> <p>【受講前の準備学習等】 基本的にはプリントを用いて練習をしますが、基本的な語彙や文法についてはできるだけ復習をしておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 英語辞書（英和・和英ともに使えるもの、電子辞書やスマホアプリ、インターネット上の辞書でも可）</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター（コード）	44A		
クラスコード	K		
科目名	声に出して学ぶ 英作文		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	30名		
担当講師	ミエノ ヨシコ 三重野 佳子 別府大学教授		
日程実施時間	12月10日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50		
	12月11日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター 教室1		
	※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2601486	<p>心理学における主要な性格診断の背景となる理論とそれに基づいて作成された検査法を解説、実習します。受講生の皆さんは、それらの実習に検査者あるいは被検査者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して心理学の仮説の検証や信頼性、妥当性などについても適切な理解を深めていきます。</p> <p>それとともに、検査バッテリーの組み方、検査データの整理法や検査所見の書き方、その背景となるテストの倫理を修得することを目標にします。</p> <p>受講生の皆さんは、8コマの授業全てに出席し、4つの主要な検査についての全ての検査について目的、方法、結果、考察を含む標準的レポートにまとめ提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 心理検査の概要 第2回 心理検査における倫理 第3回 検査実習1 ビッグ・ファイブ尺度性格検査 第4回 検査実習2 交流分析の理論とエゴグラム心理検査 第5回 検査実習3 矢田部・ギルフォード性格検査 第6回 検査実習4 バウムテスト 第7回 心理検査の信頼性と妥当性について 第8回 テストバッテリーの組み方と検査結果のまとめ方</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>人間の内面を理解することは、対人援助の仕事をしていく上でとても重要なことですが、最も困難な技でもあります。この講義で学習する心理検査法は、様々な課題や苦悩を抱えて援助を必要としている人たちの内面の特徴や対人関係の在り方について「理解の手がかり」を提供してくれます。また、被検査者体験は、自分自身を知る手がかりにもなります。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容に事前に目を通して、参考文献やインターネット等を利用して準備学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】</p> <p>心理測定尺度集Ⅰ(堀洋道監修、山本眞理子編/サイエンス社/¥2,970/ISBN=9784781909875) 心理測定尺度集Ⅱ(堀洋道監修、吉田富二雄編/サイエンス社/¥3,960/ISBN=9784781909882) 心理測定尺度集Ⅲ(堀洋道監修、松井豊編/サイエンス社/¥3,740/ISBN=9784781909899) 心理測定尺度集Ⅳ(堀洋道監修、櫻井茂男、松井豊編/サイエンス社/¥3,520/ISBN=9784781911670) 心理測定尺度集Ⅴ(堀洋道監修、吉田富二雄、宮本聡介編/サイエンス社/¥3,465/ISBN=9784781912721)</p> <p>【その他(特記事項)】</p> <p>なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ナカ ムラ ヒロ ミツ 中村 廣光 別府大学大学院非常勤講師	
日程実施時間	12月10日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 12月11日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	大分学習センター 教室2 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2612470	<p>博物館には歴史、自然、科学などさまざまなジャンルのものがあり、美術館もその一つです。この授業では、美術館を中心に博物館の理念やそこで働く人たちの仕事の内容、西洋と日本におけるその歴史などについてご説明します。また英国、フランス、日本の代表的な美術館や各地の特色のある美術館を紹介し、その多様性やさまざまな魅力について考えていきます。</p> <p>それらをとおして、地域文化の重要な拠点、担い手である博物館の価値や課題、将来像などについて考察を深める機会を提供します。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 博物館とは：その理念、役割と学芸員の仕事など 第2回 博物館・美術館の歴史：西洋における成り立ち 第3回 大英博物館とルーヴル美術館：美術館を楽しむ① 第4回 英国とフランスの地方の美術館：美術館を楽しむ② 第5回 日本における博物館前史：江戸時代までの状況 第6回 日本における博物館・美術館の歴史：明治期以降 第7回 いろいろな日本の美術館：美術館を楽しむ③ 第8回 美術館の現状と課題、その未来</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>博物館や美術館とは、私たちに新しい世界を見せてくれる“窓”のようなものかもしれません。いろいろな“窓”のさきどんな世界が広がっているか、一緒に眺めてみませんか。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>事前に博物館や美術館を訪れたり、以前に行った、あるいはテレビで見たところを思い出したりして、ご自身の理想の博物館・美術館のあり方を考えておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 この科目は学芸員資格取得のための「博物館に関する科目」には該当しません(「対応科目」ではありません)。</p>
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	博物館・美術館への いざない	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	30名	
担当講師	タ ナカ シュウジ 田中 修二 大分大学教授	
日程実施時間	12月17日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 12月18日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	大分学習センター 教室2 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

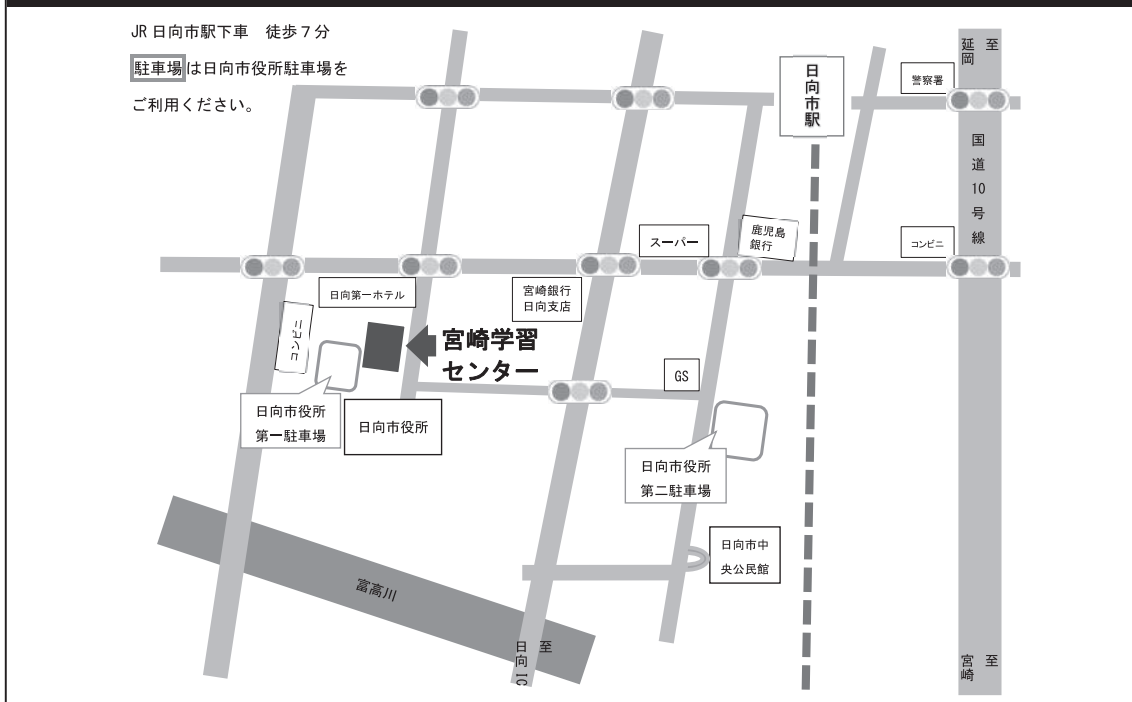
科目コード	2612534	授 業 概 要	<p>企業及び経営活動について、産業分析などを含めケース学習を行います。有価証券報告書や年次報告書（アニュアル・レポート）などの資料を利用しながら、企業環境、企業戦略などをマネージャーの視点から把握します。これらを通じて、企業研究の基本的スキルを学ぶとともに、企業行動や企業環境を多面的に見る能力を身に付けます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 企業研究入門とは—企業研究のための基本的認識、ワークショップ 第2回 企業・組織調査の手掛りについて、産業分析について 第3回 戦略の分析について、ワークショップ 第4回 経営分析、中間プレゼンテーション 第5回 経営分析、ワークショップ 第6回 その他の分析視点、ワークショップ 第7回 振り返りとプレゼンテーションの最終確認 第8回 最終プレゼンテーション、まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 本科目は、学生自らが主体的に企業分析を組み立てる科目です。クラスの中でグループでの議論についても、役割分担などを決め二日間で円滑に運営できるように努力しましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 システムWAKABAからログインし、キャンパスメール（Gmail）が使えることを確認してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 USB・ExcelとPowerPointがダウンロードされたノートPC（学生用PCを貸し出すこともできます）。 ノートPCを持参する方で、情報セキュリティ研修を受講されていない方はシステムWAKABAから情報セキュリティ研修を受講し、修了証を図書カウンターへ提出してください。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【参考書】 「会社四季報」業界地図 2022年版（東洋経済新報社（編集）／東洋経済新報社／¥1,430／ISBN=9784492973301）</p>
学習センター（コード）	44A		
クラスコード	K		
科目名	企業研究入門		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	310		
定員	17名		
担当講師	フジモト タケシ 藤本 武士 立命館アジア太平洋大学教授		
日程実施時間	12月17日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50		
	12月18日（日） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター 教室1 ※不測の事態発生時は閉講		

宮崎学習センター

(コード : 45A)

宮崎学習センター案内図

☎0982-53-1893



【所在地】〒883-8510 日向市本町11番11号(日向市役所隣)

【交通アクセス】

- (1) JR日豊線 日向市駅下車 徒歩7分
- (2) 宮崎交通バス(延岡線・宇納間線)「商工会館通りバス停」下車 徒歩3分
- (3) 駐車場 日向市役所駐車場をご利用ください

【その他連絡事項】

- ・宿泊施設 宮崎学習センターにご相談ください。

科目コード	2612631	授 業 概 要	<p>「生業と信仰（狩猟と焼き畑）」をテーマとして講義を進めます。人々の生活は環境によって、生活形態全般が変わります。人々の生業の形態(山・平野部・海辺)の違いによって、それぞれの土地で育まれる文化にも影響を与えます。今回は山に焦点をあて、特に、狩猟と焼き畑の文化、そこで伝承される神楽や臼太鼓踊りなどの諸芸能について説明します。現代的な課題として、地域の生業や信仰を正しく理解していないと、地域創生にも大きな影響を与えてしまう可能性がありますので、是非参加してください。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 全国の山の民俗 複合生業の世界 狩猟 焼き畑 林業 水田 川漁 第2回 野焼きと牧 阿蘇や富士の裾野はなぜ草原なのか？！ 第3回 宮崎県山間部の焼き畑農耕 第4回 宮崎県山間部の狩猟文化 動物霊の鎮魂の作法 第5回 九州山地の食文化 獣肉 雑穀 在来野菜 第6回 贅と生贅の違い 高千穂神楽・椎葉神楽・銀鏡神楽から読み解く 第7回 十五夜は収穫祭 小正月(旧暦1月15日)と中秋(旧暦8月15日) 第8回 全国山間の平家谷伝説 宮崎平野の平家伝説―景清―</p> <p>【学生へのメッセージ】 山に対してどういうイメージをもっていますか？ この講義を聞けば山にどれほどの資源があり、可能性があるかがわかりますよ！ 最終講義で宮崎平野と絡めるのは、山と都市、そして、海との交流を広く捉えたいからです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 各自、身近な里山にでかけ、山の味覚を味わってください。居住地と同一市内でも探せばあります。山菜、川魚、獣肉など 写真をとって報告してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 環境と神楽 宮崎県の神楽の特色 (OMUPブックレット47 「みやざき自然塾」シリーズ4) (永松敦/大阪公立大学共同出版会/¥550 / ISBN=9784907209230) 授業当日に販売します。宮崎県山間部の狩猟・焼き畑の写真の入ったCD付です。</p> <p>【その他(特記事項)】 受講前に、好きな山村に行き、山の恵みを味わってみてください。お一人ずつお話を伺います。近くの里山でも可。遠くに行く必要はありません。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	生業と信仰 (狩猟と焼き畑)		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ナガ マツ アツシ 永 松 敦 宮崎公立大学人文学部教授/ 宮崎学習センター客員教員		
日程実施時間	10月15日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 10月16日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎県婦人会館3F「さくら」 宮崎市旭1-3-10 (案内図P115参照) ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612569	授 業 概 要	<p>本授業では、英語学習の中でもコミュニケーションに焦点を当て、日常の様々な場面において、英語でシンプルな会話ができるようになることを目指します。基本的な文法事項を振り返りながら、英語をコミュニケーションを取るための道具と捉え、英語を「使う」ことに重きを置きます。そのため授業は座学ではなく、ペアを組んで会話を練習する場面が多く、積極的な参加が求められます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 自分のことを紹介する (Lesson 1-4) 第2回 自分のことを紹介する (Lesson 5-8) 第3回 相手のことを知る (Lesson 9-12) 第4回 相手のことを知る (Lesson 13-15) 第5回 自分の気持ちや要望を伝える (Lesson 16-18) 第6回 自分の気持ちや要望を伝える (Lesson 19-21) 第7回 相手との関係を深める (Lesson 22-27) 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業レベルは、初級から中級です。文法事項は、中学英語を振り返りますが、コミュニケーション重視ですので、英語を実際に使ってみてみたい方、積極的に会話をする意欲のある方に適しています。受講者の人数やレベルに合わせて授業を進めますので、実施スケジュールは目安と考えてください。教科書は必ず事前に購入して授業にお持ちください。教科書をお持ちでない方は、受講できませんので、気をつけてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 教科書、辞書、ノート、筆記用具</p> <p>【教科書】 ミラクル3分英会話 (山田暢彦/永岡書店/¥968 / ISBN=9784522436240)</p> <p>【参考書】 中学3年間の英語を10時間で復習する本(稲田一/KADOKAWA / ¥1,100 / ISBN=9784046026521) 五折とマンガで身につく基本の英文法 (ホンマツタカシ・中野博之/ナツメ社/ ¥1,650 / ISBN=9784816359187) 基本から実践まで英文法使いこなしルールブック (四軒家忍/テイエス企画/ ¥2,200 / ISBN=9784887841833)</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	コミュニケーション 英語		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	20名		
担当講師	フクシマ ミホコ 福 島 三穂子 宮崎大学地域資源創成学部准教授/ 宮崎学習センター客員教員		
日程実施時間	10月22日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 10月23日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎県婦人会館3F「さくら」 宮崎市旭1-3-10 (案内図P115参照) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612593	<p>臨床で使われているさまざまな治療薬について、薬がなぜ効くのか、どんな副作用に注意すべきか、副作用を減らすにはどうしたらいいのかなどについて、主な病気ごとにわかりやすく解説します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 高血圧・高脂血症の治療薬 第2回 糖尿病の治療薬 第3回 不眠症・不安症の治療薬 第4回 認知症・パーキンソン病の治療薬 第5回 喘息・アレルギーなどの治療薬 第6回 がん治療に使う薬 第7回 頻尿・排尿困難などの治療薬 第8回 痛みをとる薬</p> <p>【学生へのメッセージ】 薬に興味のある方に受講をおすすめします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 知らないといけない！病棟でよく使われる「くすり」（荒木博陽【編】愛媛大学医学部附属病院薬剤部【著】／照林社／¥2,420／ISBN=9784796524322）</p>
学習センター（コード）	45A	
クラスコード	K	
科目名	薬の作用と副作用入門	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ヤナ ギタ トシ ヒコ 柳田 俊彦 宮崎大学医学部教授／ 宮崎学習センター客員教員	
日程実施時間	10月22日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月23日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 宮崎市老松2-1-17 （案内図P116参照） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2612666	<p>家畜の飼養管理・繁殖管理・育種改良、飼料作物の栽培管理および畜産施設などに関する実習です。畜産に関する土づくり、草づくり、家畜の利用、副産物の利用、生産物の流通に至るまでの一連の過程を総合的に学びます。国内畜産のみならず世界的な畜産情勢を学習することにより、食品安全や環境への影響、労働者安全、動物福祉などに関する理解も深めます。授業形態は講義及び実習の複合形式とします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 家畜防疫について 第2回 家畜の保定方法 第3回 家畜の飼養管理と繁殖管理 第4回 乳牛の搾乳手法と注意事項 第5回 飼料作物と作業機械について 第6回 養豚について 第7回 家畜の審査と育種改良 第8回 国内外の畜産情勢</p> <p>【学生へのメッセージ】 家畜防疫上、牧場内外での服装を明確に区別する必要があります。着衣のみならず、メガネや帽子、マスクや携帯電話に至るまで、全ての物品について防疫上のリスクを検査します。服装一式は入場時に場内作業着に着替えます。外部から着たまま入れませんので作業着は持参してください。その他、消毒しないと持ち込めないものが多いので、牧場内に持ち込む荷物・携行品は最小限になるように工夫が必要となります。また、搾乳作業は朝の8:40からまたは夕方17:40からとなりますので、自由参加とします。見学を希望する場合はお知らせください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 家畜防疫ではどのような点に注意が必要になるか、インターネット等で調べてみてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 他の農場で使用していない作業着あるいはきれいに洗濯済みの作業着が必要です。作業着としては動きやすい服装であればジャージやTシャツ、トレーナーなど何でもOKです。すぐに汚れるものと考えて、2日間では2着以上持参してください（毎日着替えるという意味です）。作業着としては安全上の理由により半ズボンやスカートは不可です。できれば上半身も長袖が望ましいです。長靴はこちらで準備してあるので不要です。場内用の靴下も持参してください。その他、帽子、タオル、筆記用具、飲み物など、各自必要に応じて用意してください。疑問がある場合はお問い合わせください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（※通学中事故特約付きで6年間有効、140円です。）</p>
学習センター（コード）	45A	
クラスコード	K	
科目名	畜産フィールド実習	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	コ バヤシ イク オ 小林 郁雄 宮崎大学 農学部准教授	
日程実施時間	10月29日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月30日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎大学農学部附属フィールド科学 教育研究センター住吉フィールド(牧場) 宮崎市大字島之内10100-1 （案内図P117参照） ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2612607	<p>食と健康に関する基礎生命科学、特に生命を担うこの身近で不思議な物質「タンパク質」そして「遺伝子」について説明します。免疫は、ウイルスを始めとして外敵をやっつけるのに非常に重要です。生命の設計図から発展したバイオテクノロジーの技術でできた新型コロナウイルスワクチン誕生の話も紹介します。日々の生活で健康に過ごすには食が大事で、特に食品の体に良い機能性が近年よく分かってきました。私たちの研究成果であるきんかん「たまたま」の免疫活性化そして疲労回復、さらに宮崎の誇る本格焼酎の機能性等も紹介します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 タンパク質のルーツと姿と形 第2回 タンパク質は才媛：酵素の働き 第3回 タンパク質はスーパースター：ホルモン、身体内の警察官 第4回 タンパク質と健康：栄養、老化、分子病、生命の設計図 第5回 食品の機能性ときんかん「たまたま」の免疫活性化と疲労回復 第6回 ウイルスとがん：新型コロナウイルスワクチン誕生 第7回 私の研究紹介：ウイルス侵入の鍵となる硫酸化の仕組みの解明 第8回 本格焼酎の魅力：製造からおいしい飲み方・機能性・アルコール体質まで</p> <p>【学生へのメッセージ】 この面接授業は、生命を担う不思議な物質「タンパク質」の働きを説明し、生命科学の面白さを紹介します。私達の食を活用したウイルス感染予防等の研究や本格焼酎の機能性を紹介し、食の重要性を学んでいただきます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 生命科学に関する専門用語が多く出てきますので、シラバスから用語の意味を事前学習していただければ、本科目の理解度が上がります。例えば、酵素、ホルモン、ウイルスなど。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは「タンパク質の働きと食品の機能性について」です。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 タンパク質－生命を担うこの身近で不思議な物質（蛋白質研究奨励会編／東京化学同人／¥1,200／ISBN=9784807901975）</p>
学習センター（コード）	45A	
クラスコード	K	
科目名	食と健康： 食品の機能を活かす	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	スイ コウ マサ ヒト 水光 正仁 宮崎大学名誉教授／ 次世代研究者支援室長	
日程実施時間	11月5日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月6日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 宮崎市老松2-1-17 (案内図P116参照) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2601451	<p>この授業では、4つの基礎的な心理学実験を行い、データをまとめ、そのデータを考察することを学びます。予定している実験は、「イメージ測定（SD法）」、「ストループ効果」、「鏡映描写」「視覚探索」の4種類です。 また、実験終了後は、得られた結果をレポートとしてまとめていきます。受講生の方は、8コマ全ての授業に出席し、4つの実験全てのレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 イメージ測定（SD法） 第2回 データ整理、レポート作成 第3回 ストループ効果 第4回 データ整理、レポート作成 第5回 鏡映描写 第6回 データ整理、レポート作成 第7回 視覚探索 第8回 データ整理、レポート作成</p> <p>【学生へのメッセージ】 心理学実験の初心者を対象としています。実験を実施するにあたってパソコンを使用します。実験手続きや内容について、疑問があればその場で解決していくよう、授業への積極的な参加を求めます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 電卓、定規、色鉛筆（グラフ作成のため）、データを持ち帰りたい場合はUSBメモリを、空き時間にレポートを作成したい場合は、ノートパソコンを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会 認定心理士資格認定委員会／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312）</p> <p>【その他（特記事項）】 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター（コード）	45A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	18名	
担当講師	イノ ウェ ヒロ ヨシ 井上 浩義 宮崎学園短期大学 保育科准教授	
日程実施時間	11月5日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月6日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40	
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2601486	授 業 概 要	<p>心理検査はパーソナリティの測定に用いられるものです。この授業では、まず心理検査の基本的な内容について学びます。その後、各心理検査を体験し、その内容や結果、考察についてレポートにまとめます。また、心理検査を体験すると共に、倫理的配慮や人間理解の奥深さ、難しさについても学んでいきます。受講生の皆さんは、8コマ全ての授業に出席し、すべての検査についてレポート(全3通)を提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理検査についての概説 第2回 「楽観主義尺度・主観的幸福感尺度」実施と結果の整理 第3回 「楽観主義尺度・主観的幸福感尺度」解釈とレポートの書き方・作成 第4回 「YG性格検査」実施と結果の整理 第5回 「YG性格検査」解釈とレポートの書き方・作成 第6回 「バウムテスト」実施と結果の整理 第7回 「バウムテスト」解釈とレポートの書き方・作成 第8回 心理検査における倫理的配慮、まとめ レポート作成</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業内では様々な専門用語がでてきますが、ただそれを覚えるだけではなく、「心」や「行動」の考え方を学ぶという姿勢を心がけてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 鉛筆、消しゴム、データを持ち帰りたい場合はUSBメモリを、空き時間にレポートを作成したい場合は、ノートパソコンを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を習得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	18名		
担当講師	オザワ タク ヒロ 小澤 拓大 宮崎学園短期大学 保育科准教授		
日程実施時間	11月12日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 11月13日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612658	授 業 概 要	<p>この講義では、情報デザインという新しい学問領域を基礎から学んでいきたいと思います。情報デザインとは、「情報をどのように見せたら分かりやすく伝わるのか」と言う点を念頭に、「使いやすさ、分かりやすいとは何か」について考えることです。講義を受ける際注意して欲しい点は、「デザイン」と名前がつくため、一般的にみなさんが思う「デザイン」ではないことです。つまり、意匠としてのデザインではない点にご注意下さい。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 情報デザインとはなにか 第2回 情報デザインの歴史と領域 第3回 社会と情報デザイン 第4回 ヒューマンインタフェースと情報デザイン 第5回 インフォグラフィックスとは 第6回 インフォグラフィックスの実践(1) 第7回 インフォグラフィックスの実践(2) 第8回 インフォグラフィックスのプレゼンテーションおよびまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 情報デザインという新しい学問領域を基礎から学んでいきます。基礎的な概念から始まって、情報デザインの手法についても学ぶことで、体系的な理解を目指します。なお、デザインと名がついていますが、いわゆる「デザイン」(意匠)を対象としていませんのでご注意ください。 講義では、情報デザインの主要な手法の一つであるインフォグラフィックスについて実際に作成を行ってみます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。できたら色鉛筆あるいはサインペン(複数の色)数本。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	情報デザイン		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	モリベ ヨウイチロウ 森部 陽一郎 宮崎公立大学 人文学部教授		
日程実施時間	11月12日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 11月13日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 宮崎市老松2-1-17 (案内図P116参照) ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2601311	授 業 概 要	<p>これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 ワードによる文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティー 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り</p> <p>【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ（市販されている一番安価なもので結構です）及び学生証（授業内でログイン操作を行う実習があります）を必ずお持ちください。</p> <p>【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）「初歩からのパソコン」の単位を修得済みの方は登録できません。</p>
学習センター（コード）	45A		
クラスコード	K		
科目名	新・初歩からのパソコン		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	16名		
担当講師	マツ シタ ヨウ イチ 松 下 洋 一 放送大学宮崎学習センター所長 ／特任教授		
日程実施時間	11月19日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月20日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612640	授 業 概 要	<p>我が国に広く知られている古典文学の一つである「小倉百人一首」について、その成立の経緯や文学史における位置付け等をまず説明します。そのあとで、何首かの和歌を取り上げて、作者の説明をするとともに、歌の解釈についてポイントを絞ってその内容の「深さ」を感じてもらいます。また、各歌が室町時代や江戸時代にはどのように読み継がれていたか、英語圏の人々にはどのように解釈されていたか、宮崎方言ではどのようになるのか等、様々な視点から楽しみながら味わいます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「小倉百人一首」について、「1あきのたの」の歌について 第2回 「2はるすぎて」「3あしびきの」の歌について 第3回 「4たごのうらに」「5おくやまに」の歌について 第4回 「6かささぎの」「7あまのはら」の歌について 第5回 「8わがいはは」「9はなのいろは」の歌について 第6回 「10これやこの」「11わたのはらや」の歌について 第7回 「12あまつかぜ」「13つくばねの」の歌について 第8回 「リクエスト歌」について</p> <p>【学生へのメッセージ】 文法や古典語彙など古典に関する細かい知識等は必要としませんが、百人一首を始め、現代に読み継がれている和歌には様々な技法（掛詞など）が使われており、その説明は必ずします。それを理解した上で一首一首に向き合うと、より深く百人一首の世界を味わうことができます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 百人一首 講談社学術文庫（有吉保／講談社／¥1,562／ISBN=9784061586147） 知識ゼロからの百人一首入門（有吉保／幻冬舎／¥1,430／ISBN=9784344900769）</p>
学習センター（コード）	45A		
クラスコード	K		
科目名	楽しく学ぶ百人一首		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ナガ ヨシ ヒロ ユキ 永 吉 寛 行 宮崎大学大学院 教育学研究科准教授		
日程実施時間	11月26日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月27日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 宮崎市老松2-1-17 （案内図P116参照） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612577	授	<p>1日目は、主に「韓国語の発音と表記」を日本語と比較しながら学びます。簡単なハングル文字が読め、自分の名前などがハングルで書け、初めての人と韓国語であいさつができることを目指します。</p> <p>2日目は、「韓国語で自分のことを話そう」をテーマに、基本的な文型に単語を入れ替えて出身地や趣味などが言えるようにします。最終的には習った韓国語を駆使し簡単な自己紹介ができることを目標にして学んでいきます。</p>	
学習センター(コード)	45A			
クラスコード	K			
科目名	韓国語入門			
科目区分	基盤科目：外国語			
ナンバリング	110			
定員	20名			
担当講師	ハン ス ヨン 韓 壽 燕 宮崎大学非常勤講師			
日程実施時間	12月3日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40	業	【授業テーマ】	
	12月4日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【学生へのメッセージ】	
	実施会場		宮崎県婦人会館3F「さくら」 宮崎市旭1-3-10 (案内図P115参照)	【受講前の準備学習等】
				【受講者が当日用意するもの】
※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施			【成績評価の方法】	
			【教科書】	
			【参考書】	
			【その他(特記事項)】	

科目コード	2612585	授	<p>統計的な見方や考え方について説明します。統計とは、統計的なデータの特徴を調べて、それを活用する方法論です。活用の方法には、未知の値を推定すること、将来のことを予測すること、将来に向けてデータに基づいて判断をすることなどがよく用いられています。この講義では、具体的な例を挙げながら、そのベースになっている概念や考え方を紹介していきます。</p>	
学習センター(コード)	45A			
クラスコード	K			
科目名	統計的な考え方の基礎			
科目区分	導入科目：自然と環境			
ナンバリング	220			
定員	16名			
担当講師	フジ イ ヨシ ノリ 藤 井 良 宜 宮崎大学教育学部教授/ 宮崎学習センター客員教員			
日程実施時間	12月10日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40	業	【授業テーマ】	
	12月11日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【学生へのメッセージ】	
	実施会場		宮崎学習センター 第1講義室	【受講前の準備学習等】
				【受講者が当日用意するもの】
※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施			【成績評価の方法】	
			【教科書】	
			【参考書】	
			【その他(特記事項)】	

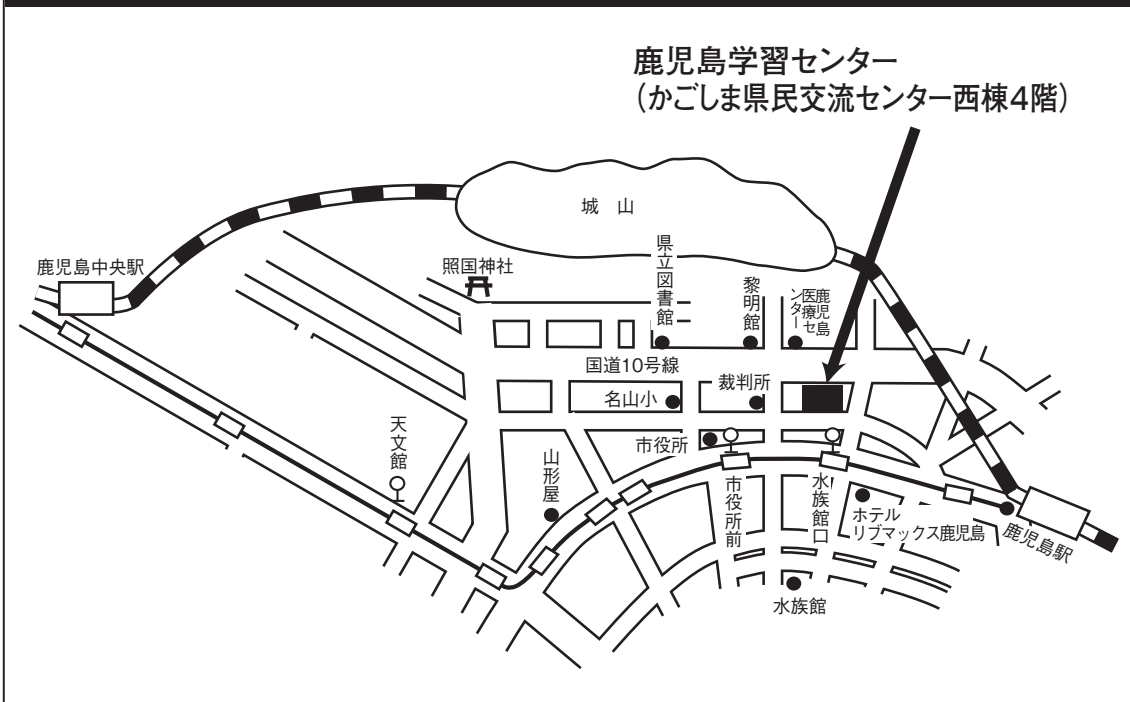
科目コード	2612623	授 業 概 要	<p>本講義の目的は、臨床心理学における学派について理解した上で、行動療法、行動分析、認知行動療法、森田療法等についての理論と技法の知識を習得することです。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 臨床心理学の学派とは何か 第2回 学習理論1 第3回 学習理論2 第4回 行動療法 第5回 認知行動療法 第6回 森田療法 第7回 行動論的カウンセリングの実践 第8回 まとめと振り返り</p> <p>【学生へのメッセージ】 本講義では、エビデンスに基づいた臨床心理学の内容について学習するため、論理的な思考が求められます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めて下さい。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	行動論的 カウンセリング		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	18名		
担当講師	マエダ ナオキ 前田 直樹 九州保健福祉大学 臨床心理学部教授		
日程実施時間	12月17日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 12月18日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612615	授 業 概 要	<p>社会生活を送るための精神の働きが、ライフサイクルに沿って、どのように発達していくのかを理解します。精神の発達、身体発達や変化、その人の社会関係のあり方の中で影響されていくことをイメージし、さらにそれぞれのライフサイクルにおける発達課題を踏まえて心の危機管理についての見識も深めます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 精神とは何か 乳児期の精神発達 第2回 幼児期の精神発達 第3回 学童期の精神発達 第4回 思春期の精神発達 第5回 青年期の精神発達 第6回 壮年期の精神発達 第7回 老年期の精神発達 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 知識の獲得に終始する科目ではなく、人間とは？精神とは？健康とは？を問い続けながら受講していただきます。これまでの自己の生活体験で得たことと重ねながら受講してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	精神発達学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	カワムラ ミチコ 川村 道子 宮崎県立看護大学看護学部教授 ／宮崎学習センター客員教員		
日程実施時間	12月24日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 12月25日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎県立看護大学多目的ホール 宮崎市まなび野3丁目5番地1 (案内図P118参照) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

鹿児島学習センター

(コード：46A)

鹿児島学習センター案内図 ☎099-239-3811



【所在地】〒892-8790 鹿児島市山下町14-50(かごしま県民交流センター西棟4階)

【交通アクセス】

- (1) JR九州
鹿児島駅から徒歩10分
鹿児島中央駅から電車・バス約15分
- (2) 電車・バス
水族館口下車徒歩4分

【駐車場】

- ・かごしま県民交流センターの地下1階、2階が駐車場になっています。
(館内の行事等によっては、満車になる場合もあります。)
- ・放送大学鹿児島学習センター事務室(西棟4階)で学生証を提示し、駐車券の認証を受けると、駐車料が無料になります。
(無料の取り扱いは、放送大学鹿児島学習センター事務室の閉所後、30分までです。)

【その他連絡事項】

面接授業は鹿児島会場(※かごしま県民交流センター内)と奄美会場(県立奄美図書館4階)で開講しています(一部例外あり)。面接授業時間割表をよく確認し、受講会場を間違えないように注意してください。

- ※かごしま県民交流センター内会場
鹿児島学習センター講義室(西棟4階)
かごしま県民交流センター大研修室第3(東棟4階)
かごしま県民交流センター大研修室第4(東棟4階)

科目コード	2612755	授 業 概 要	<p>私たちは視覚を使って外界から情報を取り込みますが、交通標識のように一目でわかるものと、文章のようにより時間をかけて理解しなければならないものを使い分けています。皆さんが使っているスマホやパソコンでは、「一目でわかる」シンプルな絵（アイコン）でアプリを表現しているので、使いたいアプリをすぐに選び出すことができます。アイコンなどの画像的なシンボル（画像記号）を多用したコンピュータの操作法を、グラフィカル・ユーザー・インターフェイス(GUIと略す)といいます。このGUIの基礎を中心に学びます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 コンピュータの操作法：ヒューマン・インターフェイスとは？</p> <p>第2回 コンピュータ本体の進歩の歴史</p> <p>第3回 コンピュータの操作法の歴史</p> <p>第4回 画像記号による操作法を用いるコンピュータの特徴</p> <p>第5回 私たちはどのように見て、どのように考えるのか：ヒトの視知覚と認知機能の特性</p> <p>第6回 画像記号を用いたコンピュータの操作法の特徴（1）</p> <p>第7回 画像記号を用いたコンピュータの操作法の特徴（2）</p> <p>第8回 コンピュータの操作法の未来</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>スマホやパソコンの仕組みやインターフェイスのことについて知らなくても理解できるように、その設計思想を基礎から解説します。授業を受けると、スマホやパソコンの使用者が世界中で爆発的に増加した理由がわかります。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>特に予備知識は必要ありませんが、パソコンやスマホの使用経験が望ましいです。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	画像記号による 計算機操作の基礎		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220		
定員	27名		
担当講師	ウチヤマ ヒロユキ 内山 博之 鹿児島大学名誉教授		
日程実施時間	10月15日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月16日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第3（東棟4階） 鹿児島市山下町14-50 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612780	授 業 概 要	<p>心理アセスメント（心理査定）は、心理的な援助を必要としている人を多角的・多層的に理解するだけでなく、生活環境等との関係性も含めて全体的に把握して、支援に役立てていく営みです。また、そのための方法として、観察法や面接法、心理テスト（質問紙法・投映法等）があります。本講義では、それらの基本的な考え方や仕組みについて学んでいきます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 心理アセスメントに臨む姿勢（科学性・共感性）と倫理</p> <p>第2回 収集すべき情報とその整理の仕方</p> <p>第3回 心理テスト（1）：パーソナリティの考え方と質問紙法の仕組み</p> <p>第4回 心理テスト（2）：知能の考え方と知能検査の仕組み</p> <p>第5回 心理テスト（3）：投映法の考え方とその仕組み</p> <p>第6回 心理テスト（4）：投映法を用いたパーソナリティ等の理解</p> <p>第7回 観察法・面接法の考え方と仕組み</p> <p>第8回 総合的なアセスメント：初回面接（インテーク面接）をめぐる</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>本講義では、個別の心理テスト等の実施法を伝えるのではなく、心理的に苦しんでいる人の支援に役立つアセスメントはいかにあるべきかを第一に考えながら、科学性と共感性の両方を大切にしながら進めていきます。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】</p> <p>心理アセスメントの理論と実践：テスト・観察・面接の基礎から治療的活用まで（高瀬由嗣・関山徹・武藤翔太（編著）／岩崎学術出版社／¥3,960／ISBN=9784753311668）</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	心理アセスメントの 基礎		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	27名		
担当講師	セキヤマ トオル 関山 徹 鹿児島大学 学術研究院教育学系准教授		
日程実施時間	10月15日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月16日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612771	<p>現在、本邦は高齢化率が25%を越える超高齢社会ですが、今後ますます高齢化は進行し、これに伴い「認知症の人」も増加していくと予想されています。認知症の症状、病気、その治療法などを学習するとともに、現在、実施されている施策である新オレンジプランへの理解を深めていただきたいと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 老化 第2回 認知症とは 第3回 認知症を呈する病気 第4回 認知症との鑑別を要する高齢者のこころの病気 第5回 認知症の治療と対応 第6回 介護家族の心理 第7回 認知症対策の社会的資源 第8回 認知症の予防</p> <p>【学生へのメッセージ】 本邦はこれから「認知症の人」がますます増加していきます。これらの人々を住み慣れた地域で支えていくためにも、本講義を通じて、認知症の正しい理解を深めてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	認知症と高齢者のこころの病気	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	27名	
担当講師	ナガトモ イ ツギ 長友 医 継 社会福祉法人中江報徳園理事長	
日程実施時間	10月21日(金) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 10月28日(金) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2612674	<p>中国語を初めて学ぶ人のための授業です。発音の基礎から学び、初歩的な中国語能力を身につけます。国内での中国語圏からの観光客や滞在者との交流を想定した実践的な練習を行い、ごく簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目指します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 中国・中国語とは。発音の基礎(中国語の声調、ピンインの読み方①) 第2回 発音の基礎(中国語の声調、ピンインの読み方②) 第3回 名前や出身地、仕事について話そう 第4回 身の周りのものや人について話そう 第5回 数字を覚えて使ってみよう 第6回 一日の行動について話そう 第7回 趣味や好みについて話そう 第8回 中国語で話してみよう</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業では、社会の中でコミュニケーションの「道具」として、中国語をいかに使うかを考えながら学習に取り組んでください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 自分がどんな場面で中国語を使う可能性があるのかを想像し、中国語の基礎を学ぶことで、自分に“何ができるようにになりたいか”を考えておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、筆記試験(口述試験を含みます)により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	中国語で話してみよう	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	110	
定員	24名	
担当講師	テラ ニシ ミツ テル 寺西 光輝 鹿児島大学 学術研究院総合教育学系講師	
日程実施時間	10月22日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 10月23日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第3(東棟4階) 鹿児島市山下町14-50 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2612801	<p>建築のカタチはどの様にして決められるのでしょうか？(本講義の「カタチ」は思想、技術、法則などを経て得られた形態を指しています) 建築の形態を決める要因は、施設の機能性や安全性、室内の快適性、工法や構造、コスト、関連法規、人体寸法、人の行動や認識、更に芸術性などと非常に多岐に亘ります。本講義では、建築計画学や建築の構造形式、人の行動や認識、建築における寸法、日本住宅の変遷、美学に関する項目を取り上げ、建築のカタチを考える上での基礎知識を習得することを目的とします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 建築をデザインすること 第2回 建築における計画学 第3回 建築の構造と形 第4回 建築の中の寸法 第5回 空間の認識と人の行動 第6回 日本における住宅の変遷 第7回 海外現代建築の形態的多様性 第8回 建築における視覚的快適性</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業では講義と実例のスライド写真などを用いて解説し、建築のカタチを考える上で基本となる事柄を学びます。修得した知識によって建築の理解が深まるように頑張りましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 建築のしくみ 住吉の長屋/サヴォワ邸/ファンズワース邸/白の家 (安藤直見・柴田晃宏・比護結子/丸善出版/¥3,960 / ISBN=9784621079614) 空間要素—世界の建築・都市デザイン (日本建築学会/井上書院/¥3,300 / ISBN=9784753017393)</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	建築のカタチを考える	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	27名	
担当講師	シバタ アキヒロ 柴田 晃宏 鹿児島大学 学術研究院工学系准教授	
日程実施時間	10月22日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 10月23日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2612704	<p>科目名のとおり、みなさんの普段の日常生活に役に立つ法律知識を、色々な場面での具体的な事案を通してわかりやすく解説していきたいと思ひます。また、新聞やニュースに出てくる話題のうち法律や裁判に関する時事問題をとりあげたり、あまり馴染みのない弁護士の実務についてもお伝えしたいと思ひます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 買い物編~契約、解除、時効など 第2回 仕事編~解雇、セクハラ、パワハラなど 第3回 交通事故編~賠償責任、保険のしくみなど 第4回 家庭の事情編(1)~離婚など 第5回 家庭の事情編(2)~相続など 第6回 刑事事件編~逮捕、公判など 第7回 弁護士業編~弁護士の仕事や裁判所 第8回 時事問題編と総まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 法律の初心者向けの講義です。法律や弁護士を敬遠されていたような方に興味をもってもらふことが目的です。新聞を読むときに今までと違う目線で楽しむことができるかもしれません。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めて下さい。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	日常生活に役立つ 法知識	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	27名	
担当講師	クロサワ サワミ 黒沢 佐和美 鹿児島県弁護士会弁護士	
日程実施時間	10月29日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 10月30日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2612739	授 業 概 要	<p>2019年5月、天皇の代替りによって平成から令和へと改元しました。明治期以降、初となる天皇の生前退位をうけ、改めて天皇制や皇室への国民の注目が集まっています。この講義では、幕末期から明治維新のさなかに誕生した近代天皇制から敗戦後の新憲法制定にともなって成立した象徴天皇制につき、主に昭和期における天皇制の変遷と実態、そして現状を学んでいきます。</p> <p>この授業は、鹿児島学習センター（鹿児島市）と県立奄美図書館（奄美市）の2ヶ所をインターネットで結んで、鹿児島学習センター（鹿児島市）で行う授業を、県立奄美図書館（奄美市）へ配信します。（96頁参照）</p> <p>【授業テーマ】 第1回 明治維新と「万世一系」の皇統 第2回 近代皇室制度の整備（典憲体制の成立） 第3回 天皇制慈悲主義（日英君主制の比較から） 第4回 「終戦工作」の内幕（遅すぎた聖断の考察） 第5回 象徴天皇制の成立 第6回 “象徴”となった昭和天皇の実態 第7回 大衆天皇制論とミッチー・ブーム 第8回 象徴天皇制のゆくえ</p> <p>【学生へのメッセージ】 歴史学の視点から客観的に天皇制の仕組みを学んでいきます。導入科目ですので、映像資料を交えながら分かりやすい授業を心がけていきます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から各自で参考となる文献などを読んで自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 象徴天皇制のゆくえ（茶谷誠一 編／志学館大学出版会／¥1,650／ISBN=9784860742850）</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	近代天皇制から象徴天皇制へ		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	27名		
担当講師	チャ ダニ セイ イチ 茶 谷 誠 一 志学館大学 人間関係学部教授		
日程実施時間	11月4日（金） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月11日（金） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612798	授 業 概 要	<p>本格的な人口減少社会の到来や少子高齢化、グローバル化など、時代の転換期を迎えるなか、コロナ禍を契機とした地域社会のしくみづくりも新たなテーマになっています。鹿児島県は、“地域課題のデパート”と称されるように、高齢化の進行、離島・半島の存在、自然災害の発生、交通基盤などの課題を抱えている一方、多様な自然・観光資源、豊かな農林水産物や焼酎など加工品、歴史や文化などに恵まれています。</p> <p>時代の転換期に当たり、自治体として、どのように地域課題を認識・解決し、多様な可能性を活かして豊かな地域社会を作っていくかを考えることにより、広く政策についての理解を深めます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 県勢・県政の基礎知識① （はじめに／鹿児島県の特性・経済社会の概要）〔西〕 第2回 県勢・県政の基礎知識② （行政組織と税財政のしくみ）〔本田〕 第3回 かごしま未来創造ビジョン （目指す姿や取組の方向性、個別プロジェクトの状況）〔桑代〕 第4回 鹿児島における稼ぐ力の向上 （農林水産業、観光関連産業の振興と海外戦略）〔桑代〕 第5回 人口減少社会における活力確保 （少子高齢化、子育て支援など）〔片野田〕 第6回 グローバル化と政策 （国際交流、多文化共生、外国人材活用）〔片野田〕 第7回 共生・協働社会の実現に向けて （多様な主体による地域づくり、行政の役割）〔本田〕 第8回 地域課題解決の具体事例／まとめ （砂の祭典企画、救急医療体制づくりなど）〔西〕</p> <p>【学生へのメッセージ】 鹿児島県の課題や政策を中心に、県庁の実務家（大学教員経験者も含む）が授業を担当します。講義のほか、なるべく質疑応答や意見交換の時間も確保したいと考えます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容やテーマを参考に、県やお住まいの市町村の取組を新聞記事、広報紙などで調べるなど、事前の学習をお勧めします。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 2019～2021年度の第2学期に開講した「自治体行政論1」、「自治体行政論2」、「自治体行政論3」の内容を一部含みます。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	鹿児島の地域課題と政策1		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	27名		
担当講師	ニシ ケイ イチ ロー 西 啓 一 郎 鹿児島県人事委員会委員長 クワ シロ タケ ヒコ 桑 代 毅 彦 鹿児島県総合政策部次長 ホン ダ トヨ ヒロ 本 田 豊 洋 鹿児島県総務部学事法制課法制・審査監 カタノダ タクヨウ 片野田 拓洋 鹿児島大学学術研究院法文学系准教授		
日程実施時間	11月5日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月6日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2602164	授 業 概 要	<p>本科目では、4つの心理学実験および関連する補助実験を取り上げます。心理学の基礎実験の体験を通して、第一に心理学における実験的研究法の意義について理解し、その手法を習得すること、第二には心理学における諸現象を体験的に学習し、その背景となる理論について考察することを目的とします。受講生は8コマ全ての実験に実験者及び実験対象者として出席し、4つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 知覚の実験：大きさの錯視（大きさの恒常性） 第2回 実験結果の分析と解説、および補助実験（知覚） 第3回 情動の実験：要求水準 第4回 実験結果の分析と解説、および補助実験（情動） 第5回 記憶の実験：系列位置効果 第6回 実験結果の分析と解説、および補助実験（記憶） 第7回 学習の実験：運動技能学習におけるフィードバックの効果 第8回 実験結果の分析と解説、および補助実験（学習）</p> <p>【学生へのメッセージ】 実験を通して心理学における諸現象を体験します。実験結果を他の心理学の授業内容に関連づけながら考察するとより学びが深くなります。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、電卓と30cm定規を持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会認定心理士資格認定委員会／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312）</p> <p>【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	タヅメ ヒロツグ 田 爪 宏 二 京都教育大学 教育学部教授		
日程実施時間	11月12日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月13日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612690	授 業 概 要	<p>私たちは日常生活のなかで、周りの人とどう関わっていけばよいのか分からなくなる時があります。そんな時に目の前の出来事や自分自身について新たな発見や気づきに出会い元気になれるよう、本講義ではコミュニケーションやセルフマネジメントについて学びます。また、自己のコミュニケーションの特徴について理解を深め、他者と良好なコミュニケーションをとることができ、自分自身の精神的健康が高まるよう演習などを取り入れながら実践的に学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 精神的健康のためのセルフマネジメントとは 第2回 コミュニケーションとは 第3回 コミュニケーションスキル（傾聴） 第4回 リフレーミング（出来事の枠組みを変える） 第5回 感情と認知 第6回 元気回復行動プラン① 第7回 元気回復行動プラン② 第8回 元気回復行動プラン③</p> <p>【学生へのメッセージ】 日常からテレビや新聞などから精神保健に関する情報に関心を持つようにしてください。授業では、自分でつくる自分のための元気回復行動プランも行いたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	46A		
クラスコード	K		
科目名	精神的健康の セルフマネジメント		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	24名		
担当講師	ヤマシタ アヤコ 山 下 亜 矢 子 鹿児島大学 学術研究院医学系教授		
日程実施時間	11月19日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月20日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第3（東棟4階） 鹿児島市山下町14-50 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2601451	<p>心理学における実験的研究を4つ（鏡映描写、触二点閾、囚人のジレンマ、SD法）取り上げます。</p> <p>心理学実験3では、心理学の初学者が最低限知っておきたい実験をいくつか紹介したいと考えています。この授業をとおして、心理学の基礎知識、方法を身につけ、様々な視点からの人間理解を進めてもらいたいと思います。受講生の皆さんは、8コマの授業すべてに出席し、4つの実験全てについてのレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 心理学実験の基礎（以下の実験で用いる統計処理の方法、レポートの書き方など）</p> <p>第2回 SD（セマンティック・デファレンシャル）法（key word：SD法、因子分析、評定法）</p> <p>第3回 鏡映描写（知覚－運動学習）（1）（key word：知覚運動学習、両側性転移）</p> <p>第4回 鏡映描写（知覚－運動学習）（2）</p> <p>第5回 触二点閾の測定（1）（key word：触二点閾、精神物理学的測定法、弁別閾、極限法）</p> <p>第6回 触二点閾の測定（2）</p> <p>第7回 囚人のジレンマ（1）（key word：囚人のジレンマ、応報戦略、信頼）</p> <p>第8回 囚人のジレンマ（2）</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>心理学の基礎的な実験の方法を経験することで、科学的な視点で人間行動を理解できるようになってもらいたいと思います。なお、授業時間については、進み具合によって多少変わることをご了承ください。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>実験の説明に時間をとりたいので、統計処理の考え方と手法（平均、標準偏差、推測統計（分散分析）、因子分析）についてはあらかじめ学習しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】</p> <p>心理学基礎実習マニュアル（宮谷真人、坂田省吾／北大路書房／¥3,080／ISBN=9784762826658）本書は、鹿児島学習センター図書室でも閲覧できます。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>内容の一部は、2010年度に開講した「心理学基礎実験A」、2011・2012年度に開講した「社会心理学基礎実験」と重複しています。</p> <p>心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p> <p>なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において、心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター（コード）	46A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ユウクラ ミ ユキ 有倉 巳幸 鹿児島大学 学術研究院教育学系教授	
日程実施時間	11月19日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月20日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2612682	<p>身近な場面を題材にして、対人関係に配慮した効果的な英語コミュニケーション能力を習得します。単に表現例を暗記するのではなく、英語の文化的な背景などをもとに、それぞれの表現の使い方のコツを学習します。「ほめる」、「答えたくないとき」といった場面ごとの表現を学ぶことでよりスマートな会話ができるようになります。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 導入、ほめるときの表現</p> <p>第2回 聞き返すときの表現</p> <p>第3回 あいづちをうつときの表現</p> <p>第4回 お礼を述べるときの表現</p> <p>第5回 苦情を述べるときの表現</p> <p>第6回 謝るときの表現</p> <p>第7回 応えたくない質問へ答えるときの表現</p> <p>第8回 復習 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>英語のレベルは初級から中級者を対象としています。</p> <p>英語コミュニケーションの潤滑油となるような表現を学びます。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>Keep Talking (New Edition) 今まで気づかなかった会話のコツ（村田和代、大谷麻美、村田泰美、重光由加／桐原書店／¥2,090／ISBN=9784342550027）※本書は、鹿児島学習センターで販売します。販売時期については、受講者へ別途詳細をお知らせします。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター（コード）	46A	
クラスコード	K	
科目名	日常で使える 英語表現	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	24名	
担当講師	ヤマサキ ミチコ 山崎 美智子 有限会社アイエス通訳システムズ 代表取締役社長	
日程実施時間	11月26日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月27日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2612810	<p>宮沢賢治の童話作品は、子供のための楽しい読み物でありつつ、大人が読むと鋭い社会批判や哲学が語られていて、きわめて多面的な魅力を持っています。童話作家、詩人にして自然科学者、教育者、宗教者、音楽家でもあった、宮沢賢治というクリエイターを取り上げることで、「文学的」な作品の「鑑賞」に限定されない、分野を超えた様々な問題を考えるきっかけを作っていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「どんぐりと山猫」(1) —「黄金いろの草地」での体験は一郎にとってどんな意味を持っていたか 第2回 「どんぐりと山猫」(2) —学校教育の寓話としての「どんぐりと山猫」 第3回 「どんぐりと山猫」(3) —権力構造のメカニズム 第4回 「どんぐりと山猫」(4) —「塩鮭の頭」と「黄金のどんぐり」 第5回 「なめとこ山の熊」(1) —成立しない三すくみ 第6回 「なめとこ山の熊」(2) —人間・文明・自然：宮崎駿『もののけ姫』との比較 第7回 「なめとこ山の熊」(3) —小十郎と熊との関係の変化 第8回 「なめとこ山の熊」(4) —星が示すもの</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業はテキストを読みながら話を進めていきますので、すでに取り扱う作品を他の本でお持ちの場合も、必ず指定されたテキストを購入して持ってきてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 特別な予備知識は必要ありませんが、事前に作品を読んで、授業に臨んでください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、各日最後に行うレポートにより行います。</p> <p>【教科書】 注文の多い料理店(改版)(宮沢賢治/新潮社/¥484/ISBN=9784101092065) ※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。</p> <p>【参考書】 宮沢賢治ハンドブック(新装版)(天沢退二郎 編/新書館/¥1,980/ISBN=9784403251092)</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	宮沢賢治の童話を読む	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	27名	
担当講師	ムラセ シロウ 村瀬 士郎 鹿児島国際大学 国際文化学部教授	
日程実施時間	12月3日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:40 試験・レポート等 16:40~17:00 12月4日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:35 試験・レポート等 16:35~17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2612836	<p>鹿児島は自然の豊かな所です。世界自然遺産に登録された屋久島をはじめとして沢山の島々があり、また桜島などの多くの火山が分布しています。県土は火山噴出物に覆われ、その代表がシラスです。一方で台風や大雨が多く、自然災害の多い所です。近年、自然災害の中で大きな被害をもたらしているのは山崩れ・土石流による土砂災害です。本講義では鹿児島島の自然を知り、自然がもたらす土砂災害とその対策について考えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 鹿児島島の自然環境(気候、地形、地質) 第2回 土砂災害とは(土砂災害の種類、発生原因、発生機構) 第3回 鹿児島島の土砂災害を振り返る(1993年鹿児島豪雨災害、1997年出水市針原川土石流災害など) 第4回 最近の土砂災害の特徴(2020年7月豪雨災害、2017年九州北部豪雨、2016年熊本地震など) 第5回 火山噴火と土砂災害(1914年桜島大正大噴火、2011年霧島新燃岳噴火など) 第6回 土砂災害対策(ハード対策、ソフト対策) 第7回 土砂災害研究の最前線(大規模土砂災害の予測) 第8回 災害地形の判読(地形図で危険箇所を抽出する演習)</p> <p>【学生へのメッセージ】 「鹿児島島は土砂災害が多い、なぜ？」を考えます。鹿児島島の自然を知り、土砂災害を引き起こす「土砂移動現象」を理解します。「災害に遭いませぬように」を科学的な根拠に基づいて考えてみましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	鹿児島島の自然と土砂災害	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	27名	
担当講師	ジ トウ ソノ タカシ 地頭 蘭 隆 鹿児島大学 学術研究院農学系教授	
日程実施時間	12月3日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 12月4日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第3(東棟4階) 鹿児島市山下町14-50 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2612720	授 業 概 要	<p>日本経済はデフレ不況が続いており、「失われた30年」といわれる状況です。これほど長期にわたって経済が成長しない状況が続いている理由を戦後の日本経済の歩みを振り返り、日本経済を概観することによって考えていきます。さらに、デフレ不況を脱却するための処方箋としての経済政策についても議論していきます。また、トピックとして消費税増税が日本経済に与える影響やグローバル化が地域経済に与える影響、さらにはコロナ禍後の日本の経済社会について考えてみます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 GDPと景気 第2回 日本経済のマクロ経済学的概観① 第3回 日本経済のマクロ経済学的概観② 第4回 戦後の日本経済の歩み (①第2次世界大戦後～1980年代、②1980年代～現在) 第5回 財政政策と金融政策の現状と問題点 第6回 (トピック①) 消費税増税の日本経済への影響 第7回 (トピック②) グローバル化の進展と地域経済への影響 第8回 (トピック③) コロナ禍後の社会経済の動向 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 経済学の基礎知識は必要ありません。日本経済の概観をイメージする能力が身につく、戦後の日本経済の変遷も理解できるようになり、新聞やテレビの時事問題や経済問題に対して自分の意見を持つことができます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 日ごろから、新聞、雑誌に目を通して、時事問題や経済問題に関心を持つように努力してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 経済学は誰のためにあるのか 市場原理至上主義批判 (内橋克人 編/岩波書店/¥1,870 / ISBN=978400006487)</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	日本経済の概観 －現状と課題－		
科目区分	導入科目：社会と産業		
ナンバリング	220		
定員	27名		
担当講師	イシ ヅカ ヨシ ノブ 石塚 孔信 鹿児島大学 学術研究院法文学系教授		
日程実施時間	12月10日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月11日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612828	授 業 概 要	<p>「人新世」という概念に注目が集まり、グローバルに展開する人類の活動が地球に与える影響によって人類の存続可能性が脅かされる可能性が、地球温暖化や生物多様性の激減やパンデミックなどの衝撃的な事実を通して、広く認識されるようになった今日、「近代」という私たちの生き方に警鐘が鳴らされています。この授業では、この「人新世」時代にあって、人類学という学問に何が求められるか、カナダ極北圏の先住民イヌイトの間での講師のフィールドワークの現場から考えます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 「人新世」時代：岐路に立つ人類 第2回 「人新世」時代の文化人類学の挑戦 第3回 カナダ・イヌイトの現在 第4回 カナダ・イヌイトの歴史：二度の危機を乗り越えて 第5回 イヌイトの先住民運動 第6回 二重に生きる：イヌイトの選択 第7回 イヌイトの生業システム 第8回 イヌイトから問う人類の未来</p> <p>【学生へのメッセージ】 この科目は放送授業「人新世」時代の文化人類学」を補完する面接授業です。その印刷教材の第1章と第2章と第11章を事前にお読みいただくと、本授業の内容の理解の助けになります。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 レポート課題：今日の世界において「二重に生きること」の重要性について、自らの経験に基づく事例を一つ以上あげながら、授業の内容に基づいて、1,600字以上3,200字以内で論じてください。 授業終了約10日後の12月24日(土)が締め切りです。それまでに鹿児島学習センターに提出してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 「人新世」時代の文化人類学 (大村敬一&湖中真哉編/放送大学教育振興会/¥3,630 / ISBN=9784595321917) カナダ・イヌイトの民族誌：日常実践のダイナミクス (大村敬一/大阪大学出版会/¥7,480 / ISBN=9784872594553)</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	「人新世」時代の イヌイトの挑戦		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	27名		
担当講師	オオ ムラ ケイ イチ 大村 敬一 放送大学教授		
日程実施時間	12月13日(火) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月14日(水) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612763	授	博物館法によって水族館が博物館の1つであるとされる立場から見た「水族館学」という視点で水族館を学ぶ授業です。かごしま水族館の施設概要や経営、情報発信、展示コンセプト、調査研究、学習交流事業等の講義を受講します。その後、海水取入れ施設等の現場を見学し、水族館らしい「楽しく学ぶ」教育プログラムを体験学習します。また、魚類や海獣類の飼育を職員の指導のもと実習します。
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	水族館学入門		
科目区分	導入科目：自然と環境		
ナンバリング	220		
定員	16名		
担当講師	ササキ アキラ 佐々木 章 公益財団法人鹿児島市水族館公社館長 ケンミ サキ ハルヒサ 検見崎 温久 公益財団法人鹿児島市水族館公社総務課課長 クボ ノブ タカ 久保 信隆 公益財団法人鹿児島市水族館公社展示課主幹	業	<p>【授業テーマ】 第1回 水族館とは何か、かごしま水族館の展示内容 第2回 水族館経営学・施設管理学 第3回 水族館教育プログラム(1) 第4回 水族館教育プログラム(2) 第5回 魚類飼育実習(1) 第6回 魚類飼育実習(2) 第7回 海獣飼育実習(1) 第8回 海獣飼育実習(2)</p> <p>【学生へのメッセージ】 水族館は飼育する力、調査・研究する力、教育する力、情報発信する力、展示する力が合わさって生きた水族館へ発展します。かごしま水族館が20年以上かけて、漁業者や水族館ボランティア、大学や研究機関、来館者の皆様、その他の多くの応援によって進めてきたことを「水族館学」としていっしょに学んでいきたいと思っています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 書籍等から海洋や環境、生物多様性に関する基本学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p>
日程実施時間	12月17日(土) 第1時限 9:55~11:25 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:45~17:15 12月18日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:45~13:15 第3時限 14:05~15:35 第4時限 15:50~16:35 試験・レポート等 16:35~17:20	概	<p>【受講者が当日用意するもの】 かごしま水族館施設入館料(各日1,500円)、または年間パスポート(3000円、1年間有効)が必要です。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
実施会場	いおワールドかごしま水族館 鹿児島市本港新町3番地1 (案内図P120参照) ※不測の事態発生時は閉講	要	<p>【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 ・2日間とも、いおワールドかごしま水族館で実施し、現地集合・現地解散となります。受講者には別途詳細をお知らせいたします。 ・通常の時間を変更して実施します。 ・動きやすい服装でお越しください(2日目は、濡れた場合に備えて着替えを準備してください)。 ・長靴を準備します(受講生は事前にサイズを連絡していただきます)。 ・魚介類に触るとアレルギー反応がある方は事前にお知らせください。 ・水族館内は滑りやすい場所や階段での移動が多いため、健康で階段の昇降に支障の無い方に限ります。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください(別冊子「開設科目一覧」P.17参照)。 ・いおワールドかごしま水族館ホームページ(http://ioworld.jp/)</p>

科目コード	2612747	授	中国唐代の詩は、日本人に特に好まれ、日本文学にも大きな影響を与えてきた文学です。皆さんも、今回、ご紹介する唐詩については、これまでどこかで読んだことがあったり、テレビなどで視聴したことがあるでしょう。この授業では唐詩の中でも特に著名な詩人、王維、李白、杜甫、白居易らの作品を取り上げ、唐王朝の歴史や詩人の経歴、詳しい語句の解釈について説明し、より深く唐詩を理解する手助けをします。この授業を通じて、唐詩が身近なものになります。
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	唐詩へのいざない		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	27名		
担当講師	タカ ツ タカシ 高 津 孝 放送大学 鹿児島学習センター所長	業	<p>【授業テーマ】 第1回 唐という時代と詩人たち：王翰・涼州詞 第2回 山水詩の世界：王維・鹿柴 第3回 別れの歌：李白・黄鶴樓の詩 第4回 戦争と詩歌：杜甫・春望 第5回 寒山寺の鐘：張継・楓橋夜泊 第6回 孤独を詠む：柳宗元・江雪 第7回 住めば都：白居易・香炉峰の詩 第8回 杜牧・江南春</p> <p>【学生へのメッセージ】 特に準備は必要ありません。唐詩に興味を持ち、勉強してみようという意欲のある方は是非受講してみてください。唐詩を味わいつつ、一緒に勉強して行きましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p>
日程実施時間	12月24日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 12月25日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	概	<p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 漢詩への招待(石川忠久/文藝春秋/¥803/ISBN=9784167679613) ビギナーズ・クラシックス 中国の古典 唐詩選(深澤一幸/角川学芸出版/¥817/ISBN=9784044072162)</p>
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	要	<p>【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。</p>

鹿児島学習センター奄美会場実施科目 (46A)

※ 奄美会場で開講する科目は以下の2科目です。鹿児島学習センターでは実施しませんので、実施会場を間違えないようご注意ください。
以下の面接授業会場は、案内図 (P119) を参照してください。

科目コード	2612712	授 業 概 要
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	発酵食品のひみつ	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	15名	
担当講師	タカ ミネ カズ ノリ 高 峯 和 則 鹿児島大学 学術研究院農学系教授	
日程実施時間	10月29日 (土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 第5時限 16:50~18:05 試験・レポート等 18:05~18:20 10月30日 (日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:10 第3時限 13:00~14:30 試験・レポート等 14:30~15:00	
実施会場	鹿児島県立奄美図書館第1研修室 奄美市名瀬古田町1-1 (案内図P119参照) ※不測の事態発生時は閉講	
<p>発酵食品といえば、味噌、醤油、清酒、お酢、ヨーグルトそして焼酎等、食卓には欠かすことのできない食品です。これらの発酵食品に関わる微生物がなぜアルコールや乳酸、酢酸、芳香成分などを作るのか、なぜ美味しさや栄養価、保存性が向上するのか、それに関わる微生物の役割やその製造法、健康機能性等から発酵食品のひみつを解き明かします。また、今回の会場である奄美地域ならではの発酵食品についても紹介します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 発酵食品に関わる微生物 (麹菌、酵母、乳酸菌など) 第2回 発酵食品の健康機能性 第3回 香の科学 第4回 奄美特産の発酵食品1 (黒糖焼酎) 第5回 酒の功罪 第6回 発酵食品いろいろ (乳酸菌飲料、味噌、醤油、酢) 第7回 黒糖焼酎工場見学 (西平本家、奄美県立図書館から徒歩5分) 第8回 奄美特産の発酵食品2 (ミキ・なり味噌)</p> <p>【学生へのメッセージ】 発酵食品とそれに関わる微生物、健康機能性などについて、基礎的なことから実際の応用まで幅広く講義したいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 発酵食品に欠かすことのできない微生物について参考書等で自己学習に努めて下さい。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 発酵食品学 (小泉武夫/講談社/¥4,180 / ISBN=9784061537347) 焼酎の科学 発酵、蒸留に秘められた日本人の知恵と技 (鮫島吉廣、高峯和則/講談社/¥1,100 / ISBN=9784065268070)</p> <p>【その他 (特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入してください(別冊子「開設科目一覧」P.17参照)。</p>		

科目コード	2612739	授 業 概 要
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	L	
科目名	近代天皇制から 象徴天皇制へ	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	6名	
担当講師	チャ ダニ セイ イチ 茶 谷 誠 一 志学館大学 人間関係学部教授	
日程実施時間	11月4日 (金) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 11月11日 (金) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	
実施会場	鹿児島県立奄美図書館 放送大学学習室 奄美市名瀬古田町1-1 (案内図P119参照) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	
<p>この授業は、鹿児島学習センター (鹿児島市) と県立奄美図書館 (奄美市) の2ヶ所をインターネットで結んで、鹿児島学習センター (鹿児島市) で行う授業を、県立奄美図書館 (奄美市) へ配信します。(90頁参照) 2019年5月、天皇の代替りによって平成から令和へと改元しました。明治期以降、初となる天皇の生前退位をうけ、改めて天皇制や皇室への国民の注目が集まっています。この講義では、幕末期から明治維新のさなかに誕生した近代天皇制から敗戦後の新憲法制定にもなって成立した象徴天皇制につき、主に昭和期における天皇制の変遷と実態、そして現状を学んでいきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 明治維新と「万世一系」の皇統 第2回 近代皇室制度の整備 (典憲体制の成立) 第3回 天皇制慈恵主義 (日英君主制の比較から) 第4回 「終戦工作」の内幕 (遅すぎた聖断の考察) 第5回 象徴天皇制の成立 第6回 “象徴” となった昭和天皇の実態 第7回 大衆天皇制論とミッチャー・ブーム 第8回 象徴天皇制のゆくえ</p> <p>【学生へのメッセージ】 歴史学の視点から客観的に天皇制の仕組みを学んでいきます。導入科目ですので、映像資料を交えながら分かりやすい授業を心がけていきます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から各自で参考となる文献などを読んで自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 象徴天皇制のゆくえ (茶谷誠一 編/志学館大学出版会/¥1,650 / ISBN=9784860742850)</p> <p>【その他 (特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。</p>		

沖縄学習センター

(コード：47A)

沖縄学習センター案内図

☎098-895-5952



【所在地】〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1
(琉球大学地域国際学習センター棟4・5階)

【交通アクセス】

97番 琉大線(那覇バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ー儀保ー琉大附属病院前ー琉大東口で下車、徒歩約10分

98番 琉大線(琉球バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ーおもろまち駅前ー興南高校前ー真栄原ー冲国大前ー琉大北口駐車場(終点)で下車、徒歩約15分

●沖縄都市モノレール

(経路)那覇空港駅ー……ー首里駅ー石嶺駅ー経塚駅ー浦添前田駅ーてだこ浦西駅(終点)

※「那覇空港駅」から「てだこ浦西駅」までの標準時間37分。

てだこ浦西駅下車、沖縄学習センターまでタクシーで約15分

【その他連絡事項】

(昼食について)

・土曜日については、琉球大学内の学食をご利用いただけます。

(利用時間:土 11:30~14:30 ※日曜日は休み)

・沖縄学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

科目コード	2612852	扇風機の羽根を逆に取り付けると、いくら羽が回転しても風は吹いてきません。同じように、英語の学習法を間違えると、いくら努力しても、その効果は表れません。そこで、この授業では、まず、英語の効果的な学習法について理解を深めます。次に、実際にいくつかの学習法を体験します。この授業のみで英語の力をつけることは不可能です。この授業を通して、授業の後も、自分なりに効果的な学習法を続けていくことができるようになることを目指しています。 【授業テーマ】 第1回 日本の英語教育の現状と課題 第2回 第二言語習得研究からどんなことが言えるのか 第3回 第二言語習得研究を踏まえた教授法（学習法）はどんなものか 第4回 自分のことを英語で話してみよう 第5回 英語のVTRを視聴して英語で語り合おう 第6回 英語の本を読んでみよう 第7回 テーマを決めて英語で書いてみよう 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 受講生の英語レベルは英検準2級～2級を想定しています。講義は英語と日本語で進めます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 英語辞書（電子辞書でも可）を持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	英語総合演習	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	16名	
担当講師	オオ シロ ケン 大 城 賢 琉球大学名誉教授	
日程実施時間	10月15日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月16日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2602164	本講義では、代表的な心理学実験を3つ取り上げます。「心的回転」、「自由再生」そして「ドット・プローブ課題」です。受講生の皆さんは、実験者、実験参加者、そしてレポート（論文）作成者の3つの立場を兼ねて参加してください。実験は各自パソコンを操作して、実験の実施（データ収集）、レポート作成を行います。受講生の皆さんは、8コマの授業すべてに出席し、すべての実験についてレポートを提出する必要があります。 【授業テーマ】 第1回 心理学実験とレポートの書き方 第2回 実験1「心的回転」の実施 第3回 実験1「心的回転」のデータ分析とレポート作成 第4回 実験2「自由再生」の実施 第5回 実験2「自由再生」のデータ分析とレポート作成 第6回 実験3「ドット・プローブ課題」の実施 第7回 実験3「ドット・プローブ課題」のデータ分析とレポート作成 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 パソコンを使用して実験、データ分析、レポート作成を行います。エクセル、ワード、パワーポイントを使いますので、あらかじめ操作に慣れておいた方が望ましいです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、USBメモリ（実験のデータ保存用）及び学生証、指定した教科書「心理学実験を遊ぼう！」を持参してください。また、可能な場合は、各自のノートパソコンを持参して来てもよいです。 【教科書】 心理学実験を遊ぼう！（小河妙子・斉藤由里・大澤香織／金剛出版／¥2,420／ISBN=9784772411608） 【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	14名	
担当講師	フル カワ タカシ 古 川 卓 琉球大学 保健管理センター教授	
日程実施時間	10月15日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月16日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2612917	<p>導入としてグスク時代から戦後までの通史を概観します。次に、琉球国の基軸となっていた外交・貿易関係の仕組みについて、対明清中国との関係、対日本（江戸幕府・薩摩藩）との関係などを検討します。そして、琉球社会について、首里城修築の問題、感染症対策、民衆史の諸相などを具体的に史料を用いて講義します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 グスク時代（10世紀頃）から沖縄戦後史までを概観する 第2回 明清帝国と琉球の関係－冊封と評価貿易を素材に－ 第3回 徳川帝国と琉球の関係史①キシリタン禁令・手札改めの諸相 第4回 徳川帝国と琉球の関係史②漂流・漂着民送還体制の実相 第5回 琉球国の感染症対策（天然痘・麻疹） 第6回 首里城修築をめぐる問題－百浦添御普請日記を読み解く 第7回 琉球民衆史の諸相 第8回 抵抗と自律の琉球史を考える（「智ヲ闘ハシメ、カヲ以テ争ハズ」）</p> <p>【学生へのメッセージ】 琉球の前近代史（14世紀～19世紀）を対象に、初級より少し上のレベルの講義を行います。新しい琉球史論の捉え方を提起したいと思いますので、事前に簡単な琉球の通史を一読しておいて下さい。</p> <p>【受講前の準備学習等】 受講前に参考書の『《新版県史》47 沖縄県の歴史』などを一読しておくことで理解が深まります。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 《新版県史》47 沖縄県の歴史（安里進・豊見山和行他／山川出版社／¥2,640／ISBN=9784634324718）</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	史料から読み解く 琉球史	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	トミヤマ カズユキ 豊見山 和行 琉球大学名誉教授	
日程実施時間	10月15日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月16日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2612860	<p>この講義は、「ハングル」の読み書きが出来るように学習します。また、韓国語と日本語の語順がほぼ同じである利点を活かして、簡単な文が書けるように練習します。さらに、丁寧な語尾を使用し、韓国語で道案内などができ、沖縄を訪れる韓国人の方々に韓国語でおもてなしをするという気持ちで使える韓国語を学習します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 母音発音の確認と書き方、簡単な自己紹介 第2回 子音発音の確認と書き方、ハングルで名前書き 第3回 末音の発音、カルタで読み練習 第4回 助詞の使い方と連音について、韓国の食べもの 第5回 ～です/ますの語尾、文作り 第6回 ～でいらっしゃいますの語尾、疑問詞 第7回 漢数詞と固有数詞の使い方、誕生日の歌 第8回 道案内</p> <p>【学生へのメッセージ】 「韓国語でおもてなし」は、「韓国語にチャレンジ」の講義を履修した学生にお勧めですが、ある程度韓国語を知っている方でも、受講が可能です。</p> <p>【受講前の準備学習等】 ハングルは、子音と母音の組み合わせで出来ていますので、参考書『日本人のためのチャレンジ韓国語1』14頁～15頁の反切表の発音を、QRコードを通して練習することをお勧めします。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日に、学習するプリントの冊子を配付しますので、筆記用具を持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 日本人のためのチャレンジ韓国語1（長嶺聖子／沖縄教販／¥1,210／ISBN=9784863650077）※必要な方は、各自、沖縄県内書店・インターネット等で購入が可能です。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	韓国語でおもてなし	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	16名	
担当講師	ナガ ミネ セイ コ 長嶺 聖子 琉球大学非常勤講師	
日程実施時間	10月22日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月23日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2601451	授 業 概 要	<p>心理学における実験的研究を3つ（ストループ効果、短期記憶検索、SD法）取り上げます。</p> <p>受講生の皆さんは、それらの実験に実験者および参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、8コマの授業全てに出席し、3つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 心理学の研究法 第2回 ストループ効果の実験1 第3回 ストループ効果の実験2 第4回 心理学的なレポートの作成 第5回 短期記憶検索の実験1 第6回 短期記憶検索の実験2 第7回 SD法1 第8回 SD法2</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>心理学的な研究法を習得するというこの中には、単に実験や調査に参加するだけでなく、得られたデータをパソコンで集計・分析すること、科学的な形式でレポートにまとめることも含まれます。やることは非常に多いので、積極的な参加意図を持って受講してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>実習課題の内容については、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>授業当日は、USBメモリ（実験データの保存用）を持参してください。また、システムWAKABAにログインする際には、ご自身のログインID及びパスワードが必要となりますので、忘れないでおいてください。</p> <p>また、可能な場合は、各自のノートパソコンを持って来てもよいです。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p> <p>心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験3		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	14名		
担当講師	ヒロセ ヒトシ 廣瀬 等 琉球大学 教育学部教授		
日程実施時間	10月22日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10		
	10月23日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		
実施会場	沖縄学習センター 実習室		
	※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612925	授 業 概 要	<p>16・17世紀は、日本の歴史が中世から近世へと大きく転換する時代であると同時に、日本が初めてヨーロッパ世界と出会う時代でもあります。本講義では、古文書や古記録などの文字史料だけでなく、絵画を史料として捉え、この時代に日本で制作された初期洋風画という絵画の諸作品を通して、日本とヨーロッパとの交流の歴史について考えます。本講義を受講する上で、歴史や美術に関する専門的な知識は必要ありません。16・17世紀の日本の歴史、日本とヨーロッパの交流の歴史、この時期の絵画に関心のある方の受講を歓迎します。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 16・17世紀の日本 第2回 16・17世紀の日欧交流 第3回 初期洋風画の性格と歴史的意義 第4回 初期洋風画の作品紹介と分析① 第5回 初期洋風画の作品紹介と分析② 第6回 初期洋風画の作品紹介と分析③ 第7回 初期洋風画の作品紹介と分析④ 第8回 まとめ－16・17世紀の日欧交流と初期洋風画－</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>本講義では、絵画を歴史研究の素材、すなわち史料として用います。皆さんがこれまで学んできた日本史や世界史とはやや違った方法で、16・17世紀の日本とヨーロッパとの交流の歴史について考えてみたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】</p> <p>描かれた近世都市（杉森哲也／山川出版社／¥880／ISBN=9784634544406）</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	16・17世紀の 日本と欧州		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	スギモリ テツヤ 杉森 哲也 放送大学教授		
日程実施時間	10月22日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10		
	10月23日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		
	※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612895	<p>アンガーマネジメントについての基礎知識を習得して自分自身の怒りを分析します。さらに、怒りをコントロールして 解消する方法について理解を深め、自分自身で怒りのマネジメントができるようになり日常生活の実践に活かれます。快適に過ごせるチャンスにもなりますので、一緒に学びましょう。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 アンガーマネジメントに関する基礎知識・用語の定義 第2回 怒りの諸問題と怒りのスタイル 第3回 隠された怒りスタイル (怒り回避・危険な怒り) 第4回 隠された怒りスタイル (内に向けられる怒り) 第5回 習慣的な怒りスタイル 第6回 突然の怒り解消のアンガーマネジメント 第7回 道徳的な怒り解消のアンガーマネジメント 第8回 怒り解消のアンガーマネジメントのまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 怒りは、私たちが生きている中で自分自身が「問題である」という捉え方で生じます。その時の問題について、多角的な見方をしたり、活力が湧き出るパワーアップにより、うまく怒りを解消できることを学びましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 受講前に自分が怒る時は、どういう場合 (いつ、どこで、だれに、どのように、なぜ) か、どのように解消したのかをノートに書いて授業で自己分析に努めましょう。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 自分自身の怒りを箇条書きに列挙して書いたノートを持参してください。当日、自己分析に役立てられます。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 アンガーマネジメント 11の方法—怒りを上手に解消しよう (ロナルド T. ボッターエフロン, パトリシア S.ボッターエフロン著; 藤野京子監訳/ 金剛出版/ ¥3,740 / ISBN=9784772415132) 自分の「怒り」タイプを知ってコントロールするはじめての「アンガーマネジメント」実践ブック (安藤俊介/ ディスカヴァー・トゥエンティワン/ ¥1,650 / ISBN=9784799319574)</p>
学習センター (コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	怒り解消の アンガーマネジメント	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	オオ ワン トモ コ 大 湾 知 子 琉球大学 医学部准教授	
日程実施時間	10月29日 (土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10	
	10月30日 (日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施	

科目コード	2602164	<p>本講義では、代表的な心理学実験を3つ取り上げます。「心的回転」、「自由再生」そして「ドット・プローブ課題」です。受講生の皆さんは、実験者、実験参加者、そしてレポート (論文) 作成者の3つの立場を兼ねて参加してください。実験は各自パソコンを操作して、実験の実施 (データ収集)、レポート作成を行います。</p> <p>受講生の皆さんは、8コマの授業すべてに出席し、すべての実験についてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験とレポートの書き方 第2回 実験1 「心的回転」の実施 第3回 実験1 「心的回転」のデータ分析とレポート作成 第4回 実験2 「自由再生」の実施 第5回 実験2 「自由再生」のデータ分析とレポート作成 第6回 実験3 「ドット・プローブ課題」の実施 第7回 実験3 「ドット・プローブ課題」のデータ分析とレポート作成 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 パソコンを使用して実験、データ分析、レポート作成を行います。エクセル、ワード、パワーポイントを使いますので、あらかじめ操作に慣れておいた方が望ましいです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、USBメモリ (実験のデータ保存用) 及び学生証、指定した教科書「心理学実験を遊ぼう!」を持参してください。 また、可能な場合は、各自のノートパソコンを持参して来てよいです。</p> <p>【教科書】 心理学実験を学ぼう! (小河妙子・斉藤由里・大澤香織/ 金剛出版/ ¥2,420 / ISBN=9784772411608)</p> <p>【その他 (特記事項)】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター (コード)	47A	
クラスコード	L	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	14名	
担当講師	フル カワ タカシ 古 川 卓 琉球大学 保健管理センター教授	
日程実施時間	10月29日 (土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10	
	10月30日 (日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10	
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2601311	授 業 概 要	<p>これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 ワードによる文書作成とPDF保存 第3回 Web とメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）</p> <p>【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートしますので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講できます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です）及び学生証（授業内でログイン操作を伴う実習があります）を必ず持参してください。</p> <p>【教科書】 新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学）を授業当日に配布します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）「初歩からのパソコン」の単位を修得済みの方は登録できません。 「新・初歩からのパソコン」の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	新・初歩からのパソコン		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	10名		
担当講師	クニ タ イツキ 國 田 樹 琉球大学 工学部准教授		
日程実施時間	11月5日（土） 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月6日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612887	授 業 概 要	<p>本講義では奄美・沖縄諸島を中心に琉球列島の先史・原史時代を紹介します。本講義の特徴はいかにして人々が「島」の環境で生存してきたのかという点に焦点を当てるものです。この視点からこの地域の先史・原史時代を考察し、世界の他の島々との事例を比較すると、奄美・沖縄諸島では世界的に大変珍しい文化現象があったことがわかってきています。これらの文化現象は島の宝であり、誇れるものです。世界自然遺産や古代文明に匹敵するのではないのでしょうか。講義終了後、生徒のみなさんはどう感じられるのでしょうか。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ヒトにとって「島」の環境とは 第2回 ヒトの歴史：いつごろヒトは島に適応したか（住みはじめたか） 第3回 ヒトの歴史：いつごろヒトは奄美・沖縄諸島に適応したか（住みはじめたか） 第4回 狩猟採集民について（奄美・沖縄を含み、ヒトの歴史のほとんどは狩猟採集だったので） 第5回 奄美・沖縄諸島先史時代の人々は何を食べたか 第6回 狩猟採集民のいた島、奄美・沖縄諸島 第7回 奄美・沖縄諸島の先史時代の社会について 第8回 奄美・沖縄諸島における農耕のはじまり</p> <p>【学生へのメッセージ】 奄美・沖縄諸島にはヒトが出現して以降文字のない時代があり、それを先史・原史時代と呼びます。奄美・沖縄諸島の歴史の95%以上で、この時代理解することにより、より一層深く多角的にこの地域を知ることができると思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 いつごろから奄美・沖縄諸島にヒトが住み始め、どのような時代や文化があったか、についての予備知識があると授業に入りやすいと思います。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	先史・原史時代の奄美・沖縄諸島		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	30名		
担当講師	タカ ミヤ ヒロ ト 高 宮 広 土 鹿児島大学 学術研究院総合研究学系教授		
日程実施時間	11月5日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月6日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612933	授 業 概 要	<p>先ず沖縄を特徴づける「島」をキーワードに、琉球列島の成り立ちやそこに生息する様々な生物などから、東洋のガラパゴスとも呼ばれる沖縄の自然環境の特性を概観します。さらに、沖縄の人たちが、どのように自然を上手く利用しながら暮らしてきたのかを、植物利用を中心に紹介します。そして、今、なぜ沖縄が世界自然遺産に登録されようとしているのか、また登録に向けての様々な課題について、自然環境の保全と観光の両面から解説します。第7、8回は、琉球大学博物館で授業に関連した実物標本を見ながら、それまでの学習内容を振り返ります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 沖縄の自然環境の特性 第2回 沖縄の希少生物とその保全1 第3回 沖縄の希少生物とその保全2 第4回 沖縄の外來生物 第5回 沖縄の昆虫と人とのかかわり 第6回 沖縄の世界自然遺産とこれからの課題 第7回 琉球大学博物館での沖縄の自然と文化の解説1 第8回 琉球大学博物館での自然と文化の解説2</p> <p>【学生へのメッセージ】 受講に際して、沖縄が世界自然遺産に登録されたことを受け、登録によるメリットとデメリット（課題）についてみなさんで考えてみてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 第7、8回に琉球大学博物館で解説します。「学生教育研究災害傷害保険(100円)」及び「通学中等傷害危険担保特約」(40円)の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。(開設科目一覧P.17参照)</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	沖縄の自然環境と世界自然遺産		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	16名		
担当講師	ササキ タケシ 佐々木 健志 琉球大学博物館助教		
日程実施時間	11月5日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月6日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25		
実施会場	1日目(11月5日) 沖縄学習センター中講義室 2日目(11月6日) 第3・4時限 琉球大学博物館 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612941	授 業 概 要	<p>人生100年時代。健康長寿であるために、食べ物への関心は今後ますます高まることでしょう。日本では社会的状況を反映して、数年前には、ある目的をもって新たな機能性食品制度が発足しました。こうした時代背景を踏まえた上で、この授業では農水産物中に含まれる生体機能調節作用を有する化学成分の働きを中心に見ていきます。解明が進められるこれらの成分が私たちの体にどういった作用をもたらすのか、エビデンスを交えながら解説します。後半では沖縄の伝統野菜を中心に、その機能性について私たちの研究成果なども紹介します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 人生100年時代とは？世界の平均寿命及び健康寿命 第2回 機能性食品概要：既存の機能性食品制度および新制度導入の背景 第3回 機能性表示食品各論：機能性関与成分の生体機能調節作用(1) 第4回 機能性表示食品各論：機能性関与成分の生体機能調節作用(2) 第5回 全国都道府県別の製品開発状況及び機能性表示文言(ヘルスクレーム) 第6回 ゲノム編集食品の誕生及び人生100年時代に向けた日本政府の取り組み 第7回 おきなわ伝統野菜の生体機能調節作用：エビデンス(実験データ)の紹介 第8回 総括</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容を参考の上自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	やさいの機能性		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ウエチ シュントク 上地 俊徳 一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター参与		
日程実施時間	11月12日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月13日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612950	授 業 概 要	<p>脳と神経の仕組みを理解することによって、自分の脳を上手く活用できるかその方法について考えていきます。私たちの生活にどのような恩恵をもたらすかについても解説します。また、最先端の脳研究の成果についても紹介します。パソコンを用いた、実験プログラムを用いることによって、脳や神経の機能を体験してもらうことも考えています。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 脳と神経の仕組みについて (1) 神経細胞とグリア細胞 第2回 脳の神経の仕組みについて (2) シナプス伝達と可塑性について 第3回 脳の神経の仕組みについて (3) 記憶のメカニズム 第4回 脳の神経の仕組みについて (4) 最新の研究成果について 第5回 脳と神経の仕組みを体験する (1) 神経細胞の活動電位の発生機構を実験によって体験する 第6回 脳と神経の仕組みを体験する (2) 記憶のメカニズムを実験によって体験する 第7回 脳のメカニズムの産業応用 (1) 臨床分野への応用 第8回 脳のメカニズムの産業応用 (2) 工業分野への応用</p> <p>【学生へのメッセージ】 脳をしっかりと働かせることができるように、体調を整えて、ご参加ください。 教科書の内容をそのまま解説するのでは、図書館で本を読んでいるのと同じになってしまいます。教科書には書いてない最近の知見をできるだけ紹介します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 もっとよくわかる! 脳神経科学? やっぱ脳はスゴイのだ! (実験医学別冊) もっとよくわかる! シリーズ) (工藤佳久/羊土社/¥4,620 / ISBN=9784758122016)</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	神経科学入門		
科目区分	専門科目: 自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	14名		
担当講師	タカギ ヒロシ 高木 博 琉球大学大学院 医学研究科准教授		
日程実施時間	11月12日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月13日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2612879	授 業 概 要	<p>テーマは「荒れる子どものナゾを解く」であり、子どもたちがなぜ反抗するのか、落ち着かないのか、暴力を振るうのか等について、幼児期から思春期までの事例をもとに、ナゾを解く視点を明らかにします。視点として、①荒れる子どもたちの背景、ライフヒストリー ②子どもをケアする関わり方 ③友だち、仲間づくりの3点が重要であることをおさえ、ペア、グループを使いアクティブラーニング的に活動を入れ、子どもの見方、子ども理解の仕方を学びながら、荒れる子どものナゾを解いていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 子ども理解、飛び出す子とアイドル女子。私はなぜ殴られた? 第2回 ネコが友だち、すれ違う大人と子どもの幸せ。子どもにとっての幸せとは? 第3回 異化と同化、やってみよう学級の歌づくり (ワークショップ) 第4回 発達障害の傾向、生きづらさを抱えた子 第5回 否定の中の肯定、荒れるという言葉 第6回 少女の叫び、詩を書くことでモニタリング。表現してみよう! 第7回 自己肯定感を高める、キーワードはエンパワメント 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 自分の経験や考えを交流し、楽しく学んでいきましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 事前に教科書を購入し読んでみてください。当日はこの本を使い説明します。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 教科書を当日持って来てください。</p> <p>【教科書】 子どもの願い いじめVS 12の哲学 (丹野清彦/高文研/¥1,650 / ISBN=9784874986479) 書店やインターネットで事前に購入してください。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 ペアや3人組などを作り、アクティブラーニング的に活動する場面もありますが、できる範囲で気楽に参加してください。ゆったりと参加者同士の交流も図りながら進める予定です。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	荒れる子どもの ナゾを解く		
科目区分	導入科目: 心理と教育		
ナンバリング	220		
定員	30名		
担当講師	タン ノ キョ ヒコ 丹野 清彦 琉球大学大学院 教育学研究科教授		
日程実施時間	12月3日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月4日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2601761	授 業 概 要	<p>心理学の基礎的な実験の中から3つの実験（社会的促進、ミューラー・リヤー錯視、心理尺度）を行います。皆さんはそれらの実験に実験者や参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。それらを行うことによって、実験の方法、結果のまとめ方、研究レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験、記述統計、レポートの書き方等の説明 第2回 実験1「社会的促進」の実施 第3回 実験1「社会的促進」のデータ整理とレポート作成 第4回 実験2「ミューラー・リヤー錯視」の実施 第5回 実験2「ミューラー・リヤー錯視」のデータ整理とレポート作成 第6回 実験3「心理尺度（一対比較法、評定尺度法）」の実施 第7回 実験3「心理尺度（一対比較法、評定尺度法）」のデータ整理とレポート作成 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等に、パソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（エクセル、ワード等）を習得されていることを望みます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、USBメモリ（実験データ保存用）及び学生証を持参して下さい。また、可能な場合は、各自のノートパソコンを持参して来てよいです。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2008年度以前「専門科目：発達と教育」に該当します。心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済であることが望ましいです。</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験1		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	14名		
担当講師	エンドウ ミツオ 遠藤 光男 琉球大学名誉教授		
日程実施時間	12月3日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10		
	12月4日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2612909	授 業 概 要	<p>誰でも、試験前日には、自分の記憶力の悪さを嘆いたことがあったと思います。そして歳をとると記憶力が悪くなったと実感することも多くなります。また、私達は、多くのストレスにさらされながら生活しています。時には、心が晴れないこともあるかもしれません。さらに体の動きも昔と違うと嘆くこともあると思います。そんな時、脳のことを少し勉強していると不安が和らぐかもしれません。この講義では、脳について、私がこれまで研究や講義をしてきた中から、いくつかのテーマを選び、わかりやすく説明させて頂く予定です。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 記憶とその異常1（記憶の種類と記憶に関わる脳の部位） 第2回 記憶とその異常2（記憶の科学的理解） 第3回 記憶とその異常3（認知症とアルツハイマー病の概説） 第4回 精神・神経疾患の物質的理解1（うつ病と躁うつ病の概説） 第5回 精神・神経疾患の物質的理解2（うつ病と躁うつ病の治療） 第6回 精神・神経疾患の物質的理解3（統合失調症の概説） 第7回 精神・神経疾患の物質的理解4（パーキンソン病の概説） 第8回 麻薬性鎮痛薬と脳内の鎮痛に関わる物質</p> <p>【学生へのメッセージ】 心理学的な話題については触れません。治療薬は、それぞれの病気の原因を理解するために説明し、診療の場での投与量などについては触れません。脳の細かい解剖やCTなどの画像診断についても触れない予定です。</p> <p>【受講前の準備学習等】 できるだけわかりやすく話す予定ですが、大脳皮質、海馬、神経細胞、神経伝達物質、シナプス、受容体という言葉の漠然とした意味は知っておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	脳の機能と その異常の物質的理解		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	16名		
担当講師	ヤマ モト ヒデ ユキ 山本 秀幸 沖縄リハビリテーション福祉学院院長		
日程実施時間	12月3日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10		
	12月4日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2602334	<p>環境情報は、それが知覚できるか否かを問わず、脳を介して私たちの心身に大きな影響を及ぼしています。環境音や音楽に含まれる知覚限界をこえる「聴こえない超高周波」が人間に及ぼす影響についての研究、音を可視化する分析手法、音楽と社会との関連など、情報学の最新の成果を学びます。それらを通して、「音」という情報環境についての理解を深め、情報学がもつ超領域型問題解決指向アプローチを理解することをめざします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 音環境と人間 第2回 文化によって異なる環境音と音楽 第3回 知覚限界をこえる超高周波の基幹脳活性化効果 第4回 音を可視化する情報学の手法 第5回 メディアと超知覚情報 第6回 身近な音を可視化する 第7回 共同体が作り出す音楽 第8回 音と音楽における「本来と適応」</p> <p>【学生へのメッセージ】 音響学、脳科学、民族芸術学などさまざまな領域を架橋するのが情報学のひとつの特徴です。多様な領域にわたる内容を、予備知識が無くても理解出来るよう平易に講義します。各回の時間配分は変更することがあります。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ハイパーソニック・エフェクト（大橋力／岩波書店／¥7,370／ISBN=9784000244848） 音楽・情報・脳（仁科エミ、河合徳枝／放送大学教育振興会／¥2,970／ISBN=9784595140938）</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	音と音楽への情報学的アプローチ	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ニシナ 仁科 エミ 放送大学教授	
日程実施時間	12月10日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月11日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2601761	<p>心理学の基礎的な実験の中から3つの実験（社会的促進、ミューラー・リヤー錯視、心理尺度）を行います。皆さんはそれらの実験に実験者や参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。それらを行うことによって、実験の方法、結果のまとめ方、研究レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験、記述統計、レポートの書き方等の説明 第2回 実験1「社会的促進」の実施 第3回 実験1「社会的促進」のデータ整理とレポート作成 第4回 実験2「ミューラー・リヤー錯視」の実施 第5回 実験2「ミューラー・リヤー錯視」のデータ整理とレポート作成 第6回 実験3「心理尺度（一対比較法、評定尺度法）」の実施 第7回 実験3「心理尺度（一対比較法、評定尺度法）」のデータ整理とレポート作成 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等に、パソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（エクセル、ワード等）を習得されていることを望みます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、USBメモリ（実験データ保存用）及び学生証を持参して下さい。また、可能な場合は、各自のノートパソコンを持参して来てもよいです。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2008年度以前「専門科目：発達と教育」に該当します。心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済であることが望ましいです。</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	L	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	14名	
担当講師	エンドウ ミツオ 遠藤 光男 琉球大学名誉教授	
日程実施時間	12月11日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月18日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2612844	<p>奄美大島から与那国島に至る島々の連なりを「琉球弧」といい、そこで用いられているさまざまなことばを総称して「琉球語（琉球方言）」と言います。最近では方言で「しまくとぅば」とも呼ばれます。琉球語は「水が変われば言葉が変わる」と言われるほど、シマ≒集落によるコトバの違いが大きいです。この授業では、琉球語が言語的に豊かな多様性を持つことを知ると同時に、今まさに直面している様々な問題について考えることを目標とします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 琉球語とは？ 「ウチナーグチ」とは？ 第2回 琉球語のパラエティーしまくとぅばの多様性－ 第3回 北琉球のことば：首里方言概説、小テスト 第4回 南琉球のことば：多良間方言概説 第5回 「しまくとぅば」をめぐる諸問題① 第6回 「しまくとぅば」をめぐる諸問題②－ディスカッション－ 第7回 「しまくとぅば」の書き方 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 2日目の授業の後半にディスカッションを予定しています。積極的な参加を期待いたします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 しまくとぅばルネサンス（沖縄国際大学公開講座委員会編／編集工房 東洋企画／¥1,650／ISBN=9784905412700）</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	琉球語概説－ しまくとぅばを識る	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	120	
定員	30名	
担当講師	シモジカヨコ 下地 賀代子 沖縄国際大学 総合文化学部教授	
日程実施時間	12月17日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月18日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2611740	<p>製造業やサービス業における生産活動のマネジメントについて、重要な意思決定の基本構造と手法について講義し、いくつかの代表的な事例を用いてグループ討論とクラス討論を行いながら、基礎概念の習得を目指します。取り上げるトピックは、オペレーションズ・マネジメントの基礎概念、オペレーションズ・マネジメントとオペレーション戦略、プロセスの設計、品質管理、在庫管理、サプライチェーン・マネジメントなどです。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 オペレーションズ・マネジメント入門 第2回 オペレーション戦略の考え方 第3回 品質マネジメント 第4回 プロセスの分析と設計 第5回 オペレーション戦略に関するケース討論 第6回 在庫のマネジメント 第7回 サプライチェーン・マネジメント入門 第8回 授業のまとめと試験</p> <p>【学生へのメッセージ】 企業、団体等での実務経験をお持ちの方が望ましいですが、実務経験のない方でも理解できるような事例をいくつか盛り込みます。また、高校水準の数学を用いてモデルの説明する部分もあります。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験（記述式）の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 グローバル化と日本のものづくり [改訂新版]（藤本隆宏・新宅純二郎／放送大学教育振興会／¥3,080／ISBN=9784595319532） サプライチェーン・マネジメント（松井美樹／放送大学教育振興会／¥3,520／ISBN=9784595322716）</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	オペレーションズ・ マネジメント	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	310	
定員	15名	
担当講師	マツイヨシキ 松井 美樹 放送大学教授	
日程実施時間	12月17日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月18日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

IV. 学習センター外面接授業の会場案内図

○福岡学習センター開設科目 「大宰府出土の木簡」

会場【九州歴史資料館】案内図



【所在地】：〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL：0942-75-9575 FAX：0942-75-7834

【交通案内】

○西鉄電車

西鉄天神大牟田線三国が丘駅から徒歩約 10 分

西鉄三国が丘駅までの交通

- ・西鉄福岡天神駅から急行で約 27 分
- ・西鉄久留米駅から急行で約 13 分

○JR

JR 鹿児島本線原田駅からタクシーで約 10 分

JR 原田駅までの交通

- ・JR 博多駅から快速で約 26 分、JR 久留米駅から快速で約 15 分

○自動車

・九州自動車道 九州道筑紫野 IC から鳥栖筑紫野道路経由で約 15 分

・大分自動車道 大分道筑後小郡 IC から国道 500 号線・県道 88 号線経由で約 15 分

・福岡都市高速 水城出口から国道 3 号線経由で約 25 分

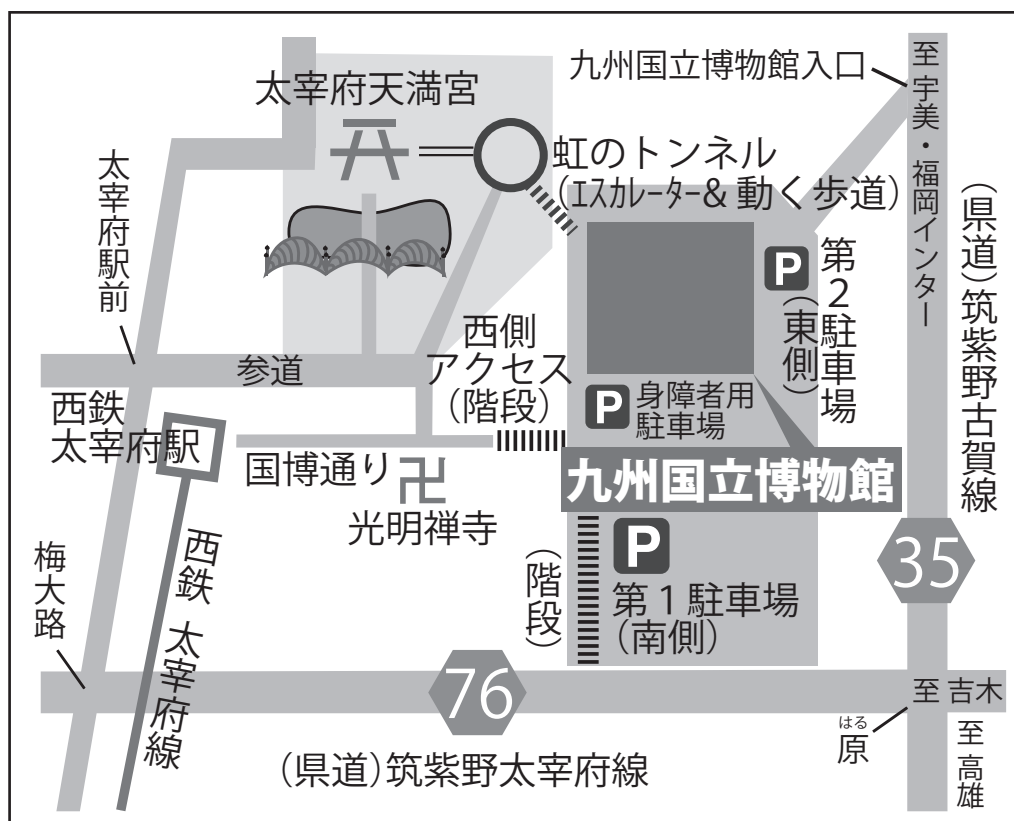
○飛行機

・福岡空港より、地下鉄空港線で地下鉄博多駅下車後、JR 博多駅へ（< JR > 参照）

・福岡空港より、地下鉄空港線で地下鉄天神駅下車後、西鉄福岡天神駅へ（< 西鉄電車 > 参照）

○福岡学習センター開設科目
「博物館を学ぶ」

会場【九州国立博物館】案内図



【所在地】：〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
電話 092-918-2807 (代表)

【交通案内】

- 西鉄電車利用
西鉄福岡（天神）駅から西鉄天神大牟田線（特急約16分／急行約18分）で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線（約5分）で太宰府駅下車、徒歩約10分
*特急／急行料金不要
- JR利用
JR博多駅からJR鹿児島本線（快速約15分）でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅（徒歩約12分、西鉄バス約6分）、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線（約5分）で太宰府駅下車、徒歩約10分
- 西鉄バス利用
博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(所要時間約40分)、徒歩約10分
- 車を利用
九州自動車道「太宰府」ICまたは「筑紫野」ICから高雄交差点経由で約20分
九州国立博物館の駐車場(有料)は利用できる台数に限りがありますので、予めご了承ください。

○佐賀学習センター開設科目 「日本の城と城下町の歴史」

会場【佐賀城公園・佐賀大学】案内図



【所在地】 佐賀城公園 〒840-0041 佐賀市城内1
佐賀大学 〒840-8502 佐賀市本庄町1
連絡は佐賀学習センター 0952-22-3308

【交通アクセス】

- バス利用 佐賀駅バスセンター 4番乗り場（佐賀市営バス 佐賀女子短大・高校線）乗車、県庁前（お堀前）下車 **《集合場所》**（10分 160円）
- 車利用 佐賀城本丸歴史館駐車場（無料）から集合場所まで、徒歩7分
- 徒歩 佐賀城公園会場から佐賀大学講義室への移動は徒歩で15分

○佐賀学習センター開設科目 「まちを読み解く」

会場【旧乗田家住宅】案内図



旧乗田家住宅

【所在地】

〒849-1321 佐賀県鹿島市大村方甲115 TEL 0954-69-8004

【交通アクセス】

JR佐賀駅から長崎行き（長崎本線）に乗車しJR肥前浜駅で下車（所用時間 約40～60分
料金 660円、特急利用、肥前鹿島駅で乗換えの場合は1,410円）

JR長崎本線 肥前浜駅より徒歩10分

長崎自動車道 武雄北方インターから車で 約30分

○佐賀学習センター開設科目 「微生物による発酵とは？」

会場【合資会社 基山商店】案内図



【所在地】

〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町宮浦 151 TEL 0942-92-2300

【交通アクセス】

JR佐賀駅から博多行き（長崎本線→鹿児島本線）に乗車しJR基山駅で下車（所用時間約40～50分 料金 660円、鳥栖駅まで特急利用の場合は1,160円）

JR鹿児島本線 基山駅より徒歩10分

高速筑紫野 鳥栖インターから車で約10分

- 宮崎学習センター開設科目
- 「生業と信仰（狩猟と焼き畑）」
- 「コミュニケーション英語」
- 「韓国語入門」

会場【宮崎県婦人会館「さくら」】案内図



【所在地】 〒880-0803 宮崎市旭1-3-10

【交通案内】

■JR利用の場合

- ・「宮崎駅」から徒歩で約15分、又は、バスかタクシーをご利用ください。

■バス利用の場合（宮崎駅から約15分）

- ・宮崎交通「薫る坂」行き「橋通2丁目」下車後、バス停から徒歩で約5分
- ・宮崎交通「生目台3丁目」行き「県庁前」下車後、バス停から徒歩で約2分

■タクシー利用の場合

- ・宮崎駅から約5分

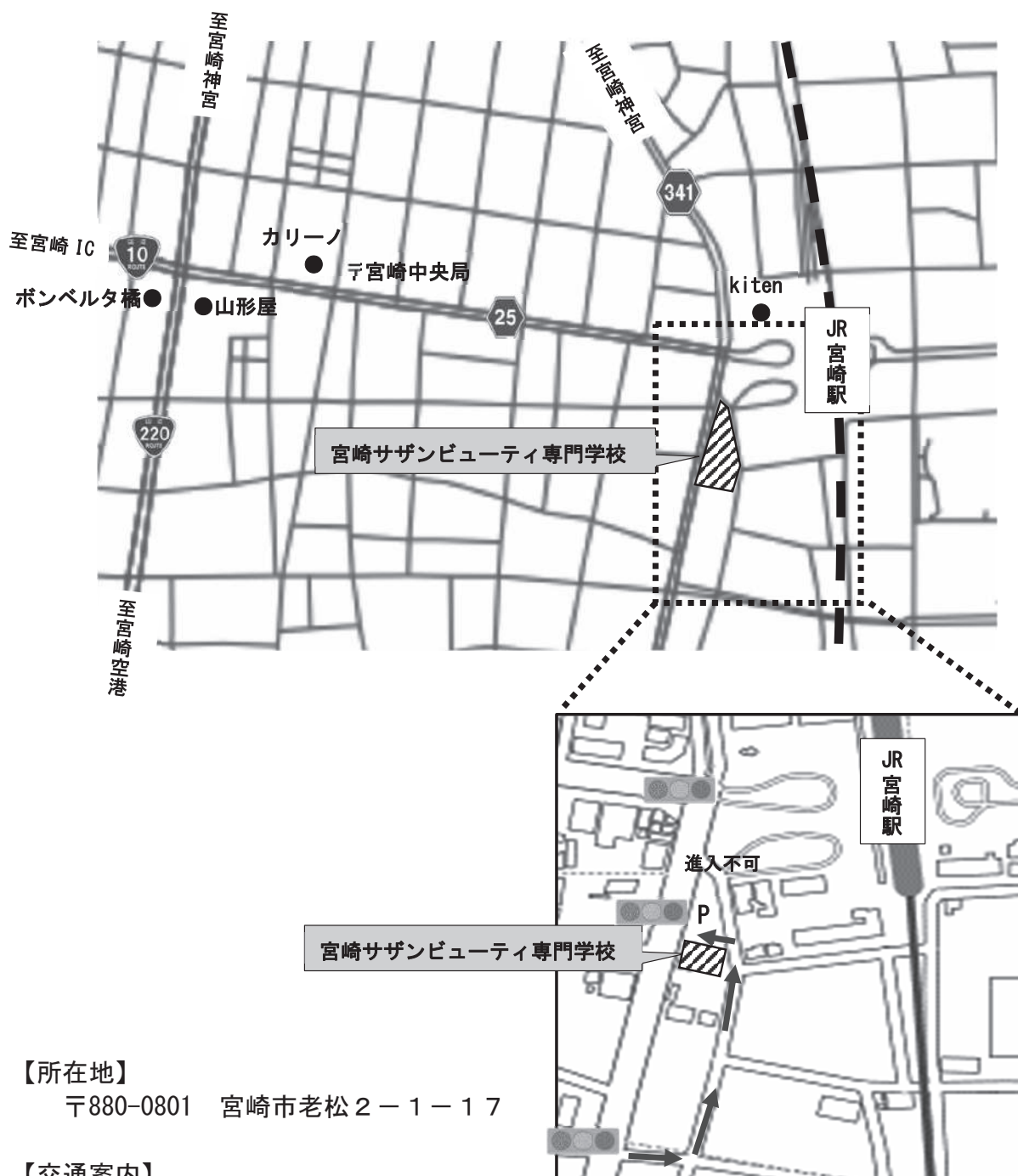
【駐車場】

宮崎婦人会館には駐車場がありません。付近の有料駐車場をご利用ください。

○宮崎学習センター開設科目

「薬の作用と副作用入門」 「食と健康：食品の機能を活かす」
「情報デザイン」 「楽しく学ぶ百人一首」

会場【宮崎サザンビューティ専門学校 501号室】案内図



【所在地】

〒880-0801 宮崎市老松2-1-17

【交通案内】

JR 「宮崎駅」西口から徒歩で3分

バス 宮崎交通「宮崎駅」下車 徒歩で3分

【駐車場】

施設の駐車場を利用できます。駐車許可証を車のダッシュボードに置いてください。

ただし、満車の場合は近くの有料駐車場をご利用ください。

駐車場入口は拡大図をご覧ください。

○宮崎学習センター開設科目 「畜産フィールド実習」

会場【宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター住吉フィールド(牧場)】案内図

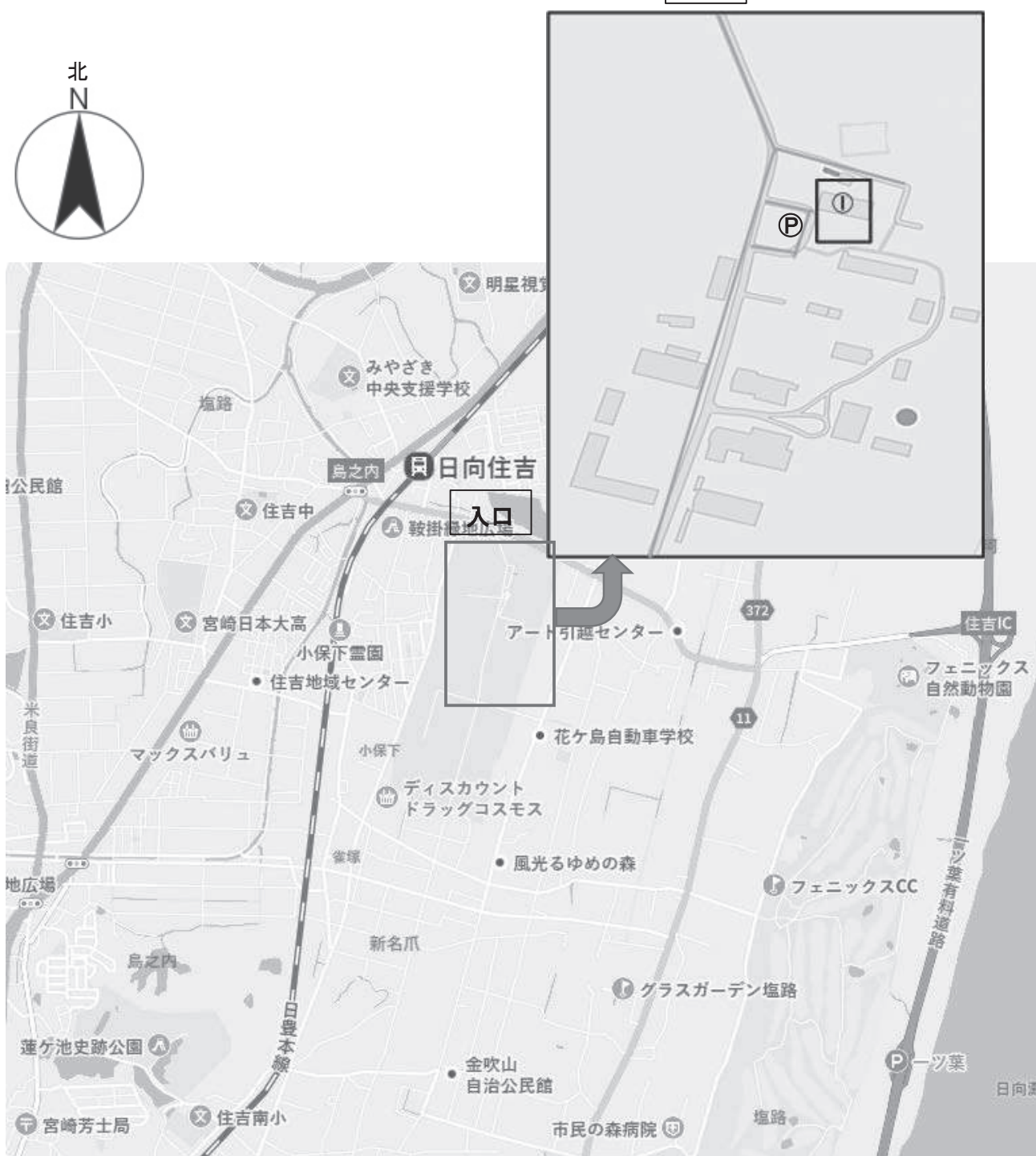
【所在地】 宮崎市大字島之内10100-1 (※ 面接授業会場は実験研究棟①です。)

【交通案内】 JR「宮崎駅」より北へ8キロ、「日向住吉駅」から徒歩で約10分の位置です。

JR「宮崎駅」で下車の場合は、タクシーかバスをご利用ください。

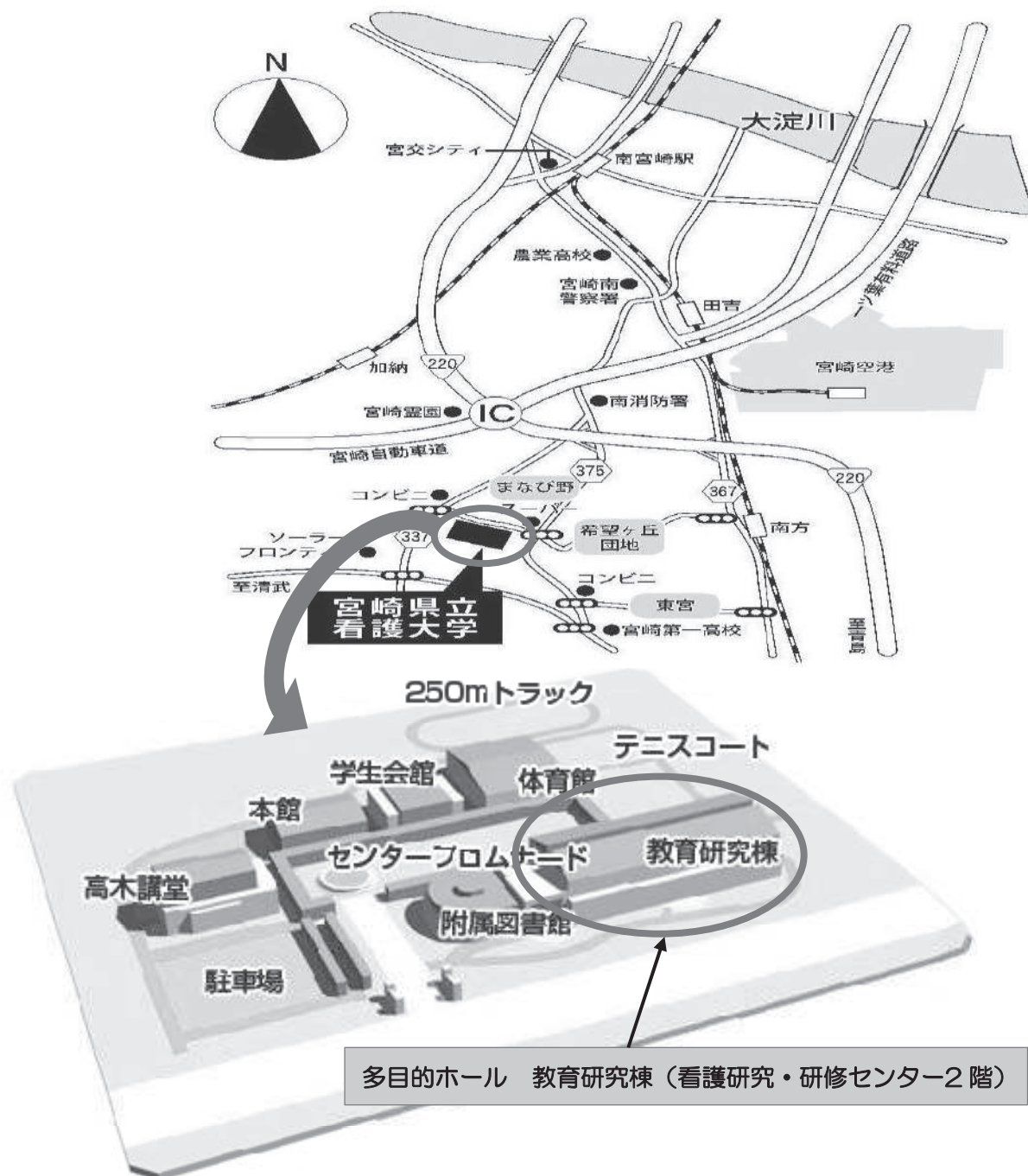
タクシーでは、「宮崎駅」から約15分です。

入口



○宮崎学習センター開設科目
「精神発達学」

会場【宮崎県立看護大学 多目的ホール】案内図



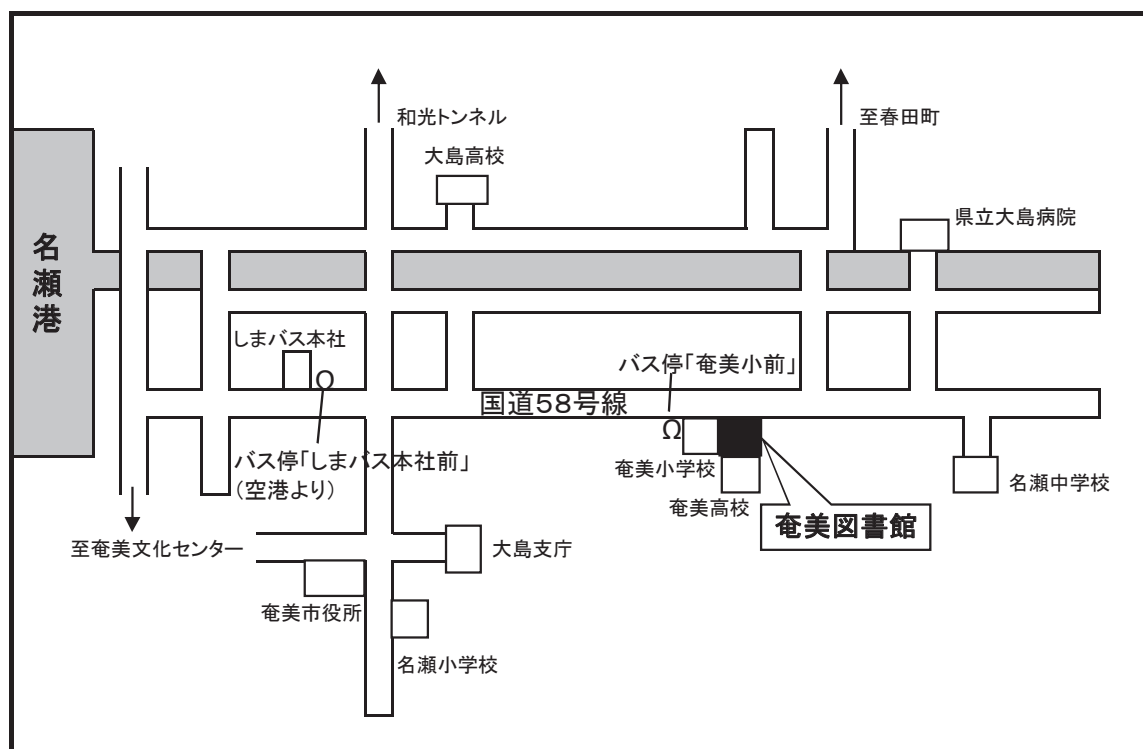
【所在地】 宮崎市まなび野3丁目5番地1

【交通案内】 宮崎交通バス

- ・ 820番線「看護大学行き」高鍋温泉めいりんの湯～県立看護大学下車
- ・ 821番線「大学病院行き」宮崎駅発(まなび野経由)～県立看護大学下車
- ・ 822番線「宮崎大学行き」宮崎駅発(まなび野経由)～県立看護大学下車

○鹿児島学習センター開設科目
「発酵食品のひみつ」
「近代天皇制から象徴天皇制へ」

会場【鹿児島県立奄美図書館】案内図



【所在地】

奄美市名瀬古田町1-1

【交通アクセス】

○名瀬港からタクシー利用(約10分)

○奄美空港からバス利用:「しまバス本社前」(約50分)下車、徒歩約10分
乗換え、「奄美小前」(約10分)下車すぐ

○鹿児島学習センター開設科目 「水族館学入門」

会場【いおワールド かがしま水族館】案内図



【所在地】

鹿児島市本港新町 3-1

【アクセス】

鹿児島中央駅から市電・バスを利用

(1) 市電

「鹿児島駅前」行き→「水族館口」下車、徒歩8分

(2) 市営バス

「かがしま水族館前」行きまたは「ドルフィンポート」行き→「かがしま水族館前」下車、徒歩3分



 **放送大学**
教養学部